

学生の確保の見通し等を記載した書類

(東京農業大学 農学部 デザイン農学科)

■ 目 次 ■

ア 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
1. 学生確保の見通し	1
(1) 入学定員設定の考え方	1
(2) 定員充足の見込みと根拠	1
1) 本学及び他大学等の入試動向	1
2) 新設学科に対する入学意向調査	3
(3) 学生納付金設定の考え方	3
2. 学生確保に向けた具体的な取組状況	4
(1) 学生確保に向けた具体的な取組状況（予定含む）	4
(2) 学生確保についての具体的な取組状況及びその効果、反応等	5
イ 人材需要の動向等社会の要請	5
1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	5
2. 上記が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	6
(1) 養成する人材像の基礎となる人材需要	6
(2) 卒業生に対する採用意向調査	8

ア 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1. 学生確保の見通し

(1) 入学定員設定の考え方

本学科の教育研究上の目的は以下のとおりである。

作物の栽培や家畜の飼養に基づく食料生産だけでなく、農畜産物の加工・利用、食品の機能や特性と品質などの解析、食の利用法を探る技術、生物の持つ機能や生産物の利用、農産物や製品の流通、生物を活用した人の心身の健康への貢献などの知識や技術を習得する。その上で、新たな機能の開発、利活用、食農問題を含めた社会のあり方を設計（デザイン）する能力を養成する。

この目的を達成するため、演習、実験、実習科目を多く取り入れ、さらに、研究室での教育研究活動における様々な体験や経験を通じ、学生の主体的な学修を促す質の高い学士課程教育を編成している。

中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」には、予測困難な時代において高等教育段階で培うことが求められる「学士力」の重要な要素が示されている。

本学科では、特に研究室での教育研究活動や集団生活を「学士力」の重要な要素を育む源として位置付けている。本学における教育研究組織の最小ユニットは研究室であり、教員は学生への専門教育指導や課外活動のサポートの他、学生生活指導や就職支援も行っている。そのため、学生は研究室での集団生活を通じて、社会生活を送る上で重要な教養や専門知識のみならず、他者とのコミュニケーション能力等も身に付けることができる。

このような研究室を中心とした教育システムを有効に機能させ、掲げた「教育研究上の目的」を達成可能とする適正な入学定員等について、本学の資源を最大限に活用することを前提に、①後述する本学及び他大学の入試動向、②本学科と類似する近隣大学の入学定員資料1、③教員一人当たりの学生数、④利用する教育研究施設、⑤学生納付金等の面から次のとおり設定した。

- ① 入学定員 123 人（収容定員 492 人）
- ② 教員数 15 人
- ③ 初年度学生納付金 1,485,600 円

（入学金、授業料、実験実習演習費、施設設備費及び学生厚生費の合計）

(2) 定員充足の見込みと根拠

1) 本学及び他大学等の入試動向

内閣府が文部科学省の資料を基に作成した「18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」資料2によると、18 歳人口は、平成 21～32 年頃までほぼ横ばい（120 万人前

後) で推移するが、平成 33 年頃から減少（114 万人）し、高等教育機関への進学率はここ数年頭打ちの傾向が示されている。

一方、日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、平成 24 年度に 72,512 人であった農学系の志願者数は、平成 28 年度には 83,540 人となり、5 年間で 11,028 人増（約 15% 増）となった。資料 3

また、下表の示すとおり、農学系を志望する受験生の多くは本学を志願先として認知しており、農学系の志願者数の増加は本学の学生確保の見通しを担保する大きな要因といえる。

志願者数（平成 24 年度から平成 28 年度）の推移

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
農学系(学部系統) (注)	72,512	77,662	82,167	85,235	83,540
東京農業大学	31,834	33,076	34,153	31,231	29,815

(注) 出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」に基づき、平成 24 年～28 年までの 5 年間ににおける大学のカテゴリー別志願倍率を示したものである。これによると、本学と農学系の志願倍率は、他に比べいずれも高く、全国的な 18 歳人口の減少にかかわらず、本学は受験生から高い志願を維持している。

カテゴリー別志願倍率（平成 24 年度から平成 28 年度）の推移

カテゴリー	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
全大学 (注 1)	7.02	7.39	7.53	7.58	7.76
入学定員(1500～3000 人) (注 1, 2)	8.07	8.52	9.07	9.07	9.47
東京都(所在地) (注 1)	9.67	9.75	9.68	9.63	9.84
農学系(学部系統) (注 1)	10.42	11.16	11.81	11.34	11.12
東京農業大学 (注 1)	13.15	13.67	13.77	12.39	11.83

(注 1) 出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」

(注 2) 本学の入学定員は 2,800 人（平成 30 年度予定）

志願倍率は次式による。志願者数 ÷ 入学定員

また、本学における直近 5 年間の入学志願動向をみると、志願者数は約 30,000 人、志願倍率（志願者数 ÷ 入学定員）は 12 倍前後で推移しており、いずれも全国平均を上回っている。資料 4、資料 5

平成 28 年度入試を例に確認すると、志願者数の合計は 29,815 人であり、これは入学定員の 2,520 人の約 12 倍であり、過去の入試実績からも学生確保の見通しについて、

充分に担保できる状況にある。

以上、一般的な志願動向及び本学のこれまでの入試実績から、本学科の設置にあたり、充分に学生確保の見込みがあると判断した。更に、本学科に対する高校生の入学意向を把握するために、次の通りアンケート調査を行った。**資料6**

2) 新設学科に対する入学意向調査

① 調査対象者

アンケート調査は平成28年9月～平成28年11月に、学科を新設する本学厚木キャンパスの近隣に所在する高等学校、または、本学に進学実績のある高等学校を中心に1都1道15県（北海道、青森県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県）に所在する高等学校の在学者で、平成30年度大学進学対象となる高校2年生を対象に行つた。

② 調査方法

アンケート調査は、学科を新設する本学厚木キャンパスの近隣に所在する高等学校、または本学に進学実績のある高等学校に対して、新設する各学科の概要を示したリーフレット及びアンケート用紙を送付し、アンケート用紙に記入する方法により実施した。

アンケート用紙は高等学校から第三者機関へ直接郵送し、集計結果を第三者機関がとりまとめた。

③ 調査結果

高校卒業後の進路について調査した結果、高校2年生39,205人のうち、30,518人(77.8%)が「4年制大学進学」を希望しており、「短期大学進学」は1,079人(2.8%)、合わせて31,597人(80.6%)が国内の高等教育機関への進学を希望している。さらに、「専門学校進学」3,419人(8.7%)を合わせると、35,016人(89.3%)が高等学校卒業後、進学を希望している。

進学を希望すると回答した35,016人のうち、本学科に入學を希望すると回答した高校2年生は合計972人となり、入学定員123人に対し、約8倍の入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外からの高校生の進学も考えられることから、本学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものと考える。

(3) 学生納付金設定の考え方

本学科の教育目的を達成するため必要となる学生納付金について、本学の資源を最大限に利用することを前提に、設定した学生数と教員数及び必要となる施設設備等を基礎とし、初年度学生納付金（入学金、授業料、実験実習演習費、施設設備費及び学生厚生費の合計）を1,485,600円に設定した。

本学科の初年度学生納付金の多寡について検討するために、ホームページ等の公開情報から本学科と類似する他大学の学科を特定し、日本私立大学団体連合会による「学生納付金等調査」をもとに比較調査を行った資料1。その結果、他大学（5大学6学科）は、本学科の初年度学生納付金を全て上回っていた。また、類似する5大学6学科の平均は1,657,367円であり、本学科より171,767円高い設定となっている。

これらから、設定した学生納付金により、競合大学に対して学生確保の面における競争力が低下することはないと考える。

2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

（1）学生確保に向けた具体的な取組状況（予定含む）

本学は建学の精神「人物を畠に還す」と教育の理念「実学主義」に基づき、教育研究活動に取り組んでいる。これを踏まえ、本学や農学系分野の特色及び各学科の教育内容等について、高校教員、保護者、受験生、予備校関係者等の理解を得るために様々な媒体を利用して広報活動を実施している。本学科における平成29年度の学生募集活動は既設学部が例年行う内容と同様に実施する予定である。また、農学系及び関連分野にも積極的に参加予定である。

- ① 進学相談会（首都圏私立大学進学相談会 15大学 資料7、農学・獣医学・生物環境系進学ガイダンス、大学フェア等）（動員数約1,443名）
- ② 高校訪問（訪問高校数 513校）
- ③ 出張講義（出張高校数 37校）
- ④ 大学見学（来学高校数 47校、 参加者967名）
- ⑤ 大学案内（学科、研究室、キャリア、入試日程等を紹介）
- ⑥ 新聞等（朝日、読売、日経新聞、高校生新聞、東進タイムス等） 資料8
- ⑦ 看板広告（本厚木駅）
- ⑧ 受験雑誌等（萤雪時代、大学発見ナビ、マナビジョンブック（保護者版）等）
- ⑨ WEB 広報等（進学ネット、マナビジョン、パスナビ、マイナビ進学U-17等）、大学HP
- ⑩ 山手線新型車両「E235系」ADトレイン等 資料9

※（）内数字は平成27年度実績

毎年開催している大学独自の各種イベント

- ① キャンパス見学ツアー（年2回開催） 資料10・・・（世田谷 2,411名、厚木 521名、オホーツク 153名）
- ② オープンキャンパス（各キャンパスごとに開催） 資料11・・・（世田谷 9,234名、厚木 2,837名、オホーツク 480名）
- ③ 収穫祭・進学相談会（各キャンパスごとに開催） 資料12・・・（世田谷 919名、厚木 240名、オホーツク 94名）

④ ユメナビ資料13 (263名) ミライガク資料14 (450名)

北九州ゆめみらいワーク資料15 (500名)

※ () 内数字は平成28年度参加者数

(2) 学生確保についての具体的な取組状況及びその効果、反応等

各種広報活動の実施により、入学定員を確保している。

充実した学生生活のため、アドミッションポリシーの発信や、学科の教育内容や特徴、ディプロマポリシー等を明確に説明することで、学生が希望に沿った学科を選択できるように取り組み、不本意入学をできるだけ防ぎ、卒業時に高い満足度が得られるように配慮している。

このような取り組みが、以下の入学定員に対する志願者の倍率に示されるとおり、効果がでているものと考える。

全学部の志願者の推移（入学定員・志願者数（全入試制度）・志願倍率）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入学定員	2,420名	2,420名	2,480名	2,520名	2,520名
志願者数	31,834名	33,076名	34,153名	31,233名	29,815名
志願倍率	13.15倍	13.67倍	13.77倍	12.39倍	11.83倍

イ 人材需要の動向等社会の要請

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

(1) 養成する人材像

現在、急ぎ解決が求められている食料問題、環境問題、資源エネルギー問題は相互に密接に関連しており、個別課題を解決しても全体システムの最適化にはつながらないため、この三つの課題を俯瞰して持続的社会を構築することが求められている。農学は食料や生活資材、生命、環境を対象とした「設計科学」と定義（日本学術会議）されており、これらの課題の解決に効果的な役割を果たすことが期待されている。本学科は、農学を基盤として農の多面的機能に関する幅広い知識と知恵を活かしながら、豊かで持続的な社会を設計（デザイン）することを目指す。そこで、これら三つの課題の総合的解決に寄与する意欲を持ち、以下の項目に貢献する人材を養成する。

- 1) 生物が多面的な機能を持つことを理解し、農学的な発想・知識・技術を基に、生物とその生産物の新しい機能や利用技術を開発すること。
- 2) 生物の持つ食料や生活資材としての機能についての知識を持ち、それらの潜在的な新機能を活用するための加工・利用技術や製品をイノベーション農学の視点に基づき開発すること。

- 3) 農業の多面的な機能に関する幅広い理解を踏まえた食農システムの構築を通じ、豊かで持続的な社会・地域・生活をサスティナビリティ農学の視点に基づき設計（デザイン）し社会に還元していくこと。

(2) 教育研究上の目的

作物の栽培や家畜の飼養に基づく食料生産だけでなく、農畜産物の加工・利用、食品の機能や特性と品質などの解析、食の利用法を探る技術、生物の持つ機能や生産物の利用、農産物や製品の流通、生物を活用した人の心身の健康への貢献などの知識や技術を習得する。その上で、新たな機能の開発、利活用、食農問題を含めた社会のあり方を設計（デザイン）する能力を養成する。

そのため、現場から課題を発見し、解決策を考案して発信し、それを自ら実践していくことができる能力を身につける。具体的には次の能力を有する人材の養成を目指す。

- 1) 幅広い知識と深い思考力を総合化する能力。
- 2) 農業の多面的機能に係る現実社会の課題に対応できる能力。
- 3) 環境や生命に対する倫理などの視点をもって行動する能力。
- 4) 持続的な食農システムの構築と福祉農学や ESD (Education for sustainable development) の実践に係る能力。
- 5) 農学領域において利用されている自然科学、人文科学や社会科学を総合的に考察し、バランスの取れた判断を下すことができる能力。
- 6) 主体的な学習や研究を行い、その成果を発信して相手を説得していくためのプレゼンテーション能力。

(3) 卒業後の進路

本学科の卒業生は、農林水産業、食品産業、外食産業だけでなく、健康・医療・福祉関係、環境系産業、エネルギー産業、情報・通信業などで、また政策提言や政策決定に係るシンクタンク・コンサルタントや行政関係、サイエンスコミュニケーターとして、食や農と社会をつなぐ様々な場面での活躍が期待される。

2. 上記が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(1) 養成する人材像の基礎となる人材需要

上述の 1. (1) 「養成する人材像」 1)、 2)、 3)のそれぞれについて、人材需要の動向を各種資料により検証する。

1) 「生物が多面的な機能を持つことを理解し、農学的な発想・知識・技術を基に、生物とその生産物の新しい機能や利用技術を開発する人材」について

① バイオエコノミーの展開に貢献する人材の需要

環境問題や資源・エネルギー問題に配慮しながら食料問題を解決していく必要があることはいうまでもないが、バイオリソースとバイオテクノロジーとを利用して経済を活性化していくという動き、すなわちバイオエコノミーが世界的に注目されている (www.oecd.org/futures/bioeconomy/2030)。このような世界的動きに伴って、この分野の人材需要が期待されている。

② バイオ関連産業の発展に貢献する人材の需要

日本国内においても、科学技術基本計画やBT戦略大綱の策定を通じて、バイオテクノロジーは国家戦略目標としての4つの重点科学技術分野の1つに位置づけられており、関連の展示会が数多く開催されている。例えば、BIotech2016 (www.bio-t.jp/) や BioJapan2016 (www.ics-expo.jp/biojapan/ja/) の会場においては数多くの商談が行われており、この業界を支える人材の需要が大きいことを示している。

2) 「生物の持つ食料や生活資材としての機能についての知識を持ち、それらの潜在的な新機能を活用するための加工・利用技術や製品をイノベーション農学の視点に基づき開発する人材」について

① バイオテクノロジーの活用に貢献する人材の需要

バイオテクノロジー関連産業の動向をみると、バイオ関係の特許出願数が近年、急激に増加している (www.jftc.go.jp/cprc/reports/index.files/cr-0606..pdf)。このことは、直接の製造業だけでなく、それを支える関連作業や、特許・制度等のソフトに係るような分野を含めて、今後の人材需要の伸びが想定される。

② 機能性表示食品の関連産業に貢献する人材の需要

現在、わが国では食の安全と安心に対する関心が高まるとともに、さらに健康な生活を志向する動きが大きく、それを受けた食品に関する制度や政策も充実が進んでいる。その代表例として、機能性表示食品を上げることができる。消費庁は、機能性表示食品の開発に基づく届け出に関するデータベース (www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/) を構築して対応を図っている。今後、機能性表示食品の企画、制作、製造、流通、販売に関する人材の需要が増大すると考えられる。

3) 「農業の多面的な機能に関する幅広い理解を踏まえた食農システムの構築を通じ、豊かで持続的な社会・地域・生活をサステイナビリティ農学の視点に基

「**生き設計（デザイン）し社会に還元していく人材**」について

① 少子高齢化社会への対応に貢献する人材の需要

現在、日本の高齢者（65歳以上）は3400万人を超え、全人口に占める割合も27.3%と過去最高となり、世界的にみても先進国の中で最も高くなっている（www.stat.go.jp/data/topics/topi971.htm）。すなわち、日本は既に超高齢社会となり、様々な側面で課題先進国といえる。初めて直面する課題は、分野横断的なものであり、これらを解決するための社会・地域・生活をデザインするための農学が果たす役割は非常に大きいと考えられる。例えば、すなわち新設される学科の卒業生が果たすべき役割は大きいことが予想される。要介護人口は年々増加しており（www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/zenbun/s1_2_3.html）、介護食品の販売額は増加しているが、潜在的なニーズは大きく、この分野の人材需要に応えることは喫緊の課題といえる

（<https://www.alic.go.jp/content/000107177.pdf>）。

② 持続的社会と well-being をデザインする人材の需要

また、認知症対策としての園芸療法も、今後の拡大が期待され、障害者の農業分野での就労は徐々に増加しており、農業と福祉との連携は、持続的社会の構築、そして well-being を実現していくために新学科の卒業生が活躍することが期待される分野である（www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kourei.html）。この他、人口減少社会における地域振興や、東日本大震災のような大災害における復旧復興において社会・地域・生活をデザインする能力が今後、広く求められる。さらに、学術研究と現実社会をつなげる役割として、今後、サイエンスコミュニケーターが重要な役割を果たしていく

（www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/02.html、www.miraikan.jst.go.jp/aboutus/sciencecommunicator.html）。このような分野において本学科の卒業生は、コンサルタント、行政関係などの政策決定の支援や、実務者としての活躍が期待されている。

以上のように、本学科の卒業生の進路として想定される分野、業界、職種において、新たな人材需要および社会的貢献に関する期待が高まっており、本学科の新設により養成された学生の進路は十分確保できると考えられる。

（2）卒業生に対する採用意向調査

本学科の卒業生に対する人材需要の動向をみるために、本学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる企業等3,262社の採用担当者に対してアンケート調査を実施した。調査はアンケート用紙及び新設する各学科の概要を示したリーフレットを送付し、回答を依頼したものである。アンケート用紙は第三者機関へ企業等から

直接郵送し、集計結果を第三者機関がとりまとめた。調査実施期間は、平成28年9月～11月であり、有効回答数627件で、有効回収率は約19.2%である。資料21

はじめに、本学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等627件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が342件（54.5%）と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」202件（32.2%）、「わからない」55件（8.8%）、「あまり必要性を感じない」16件（2.6%）、「無回答」10件（1.6%）、「必要性はない」2件（0.3%）の順になっている。なお、本学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、544件（86.7%）となっている。

続いて、本学科の卒業生の採用意向調査の結果、回答のあった企業等627件のうち、「採用を検討したい」が302件（48.2%）と最も多く、次いで「採用したい」231件（36.8%）、「採用を考えない」74件（11.8%）、「無回答」20件（3.2%）の順になっている。なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、533件（85.0%）となっている。

肯定的な採用意向を示した533件に対して、本学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が362件（67.9%）と最も多く、次いで「1人」110件（20.6%）、「2人」25件（4.7%）、「5人以上」23件（4.3%）、「3人」11件（2.1%）、「4人」2件（0.4%）の順になっている。

本学科の卒業生の採用に肯定的な回答数に、将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上（5人として計算）」、「人数は未確定（1人として計算）」）を乗じ、これを合計した結果、採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、357人分となる。入学定員は123名であるため、約3倍の採用意向を確保できている。

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、本学科の卒業生の進路は十分に確保できるものと考える。

新学科と類似する近隣の大学・学部・学科との初年度学生納付金の比較

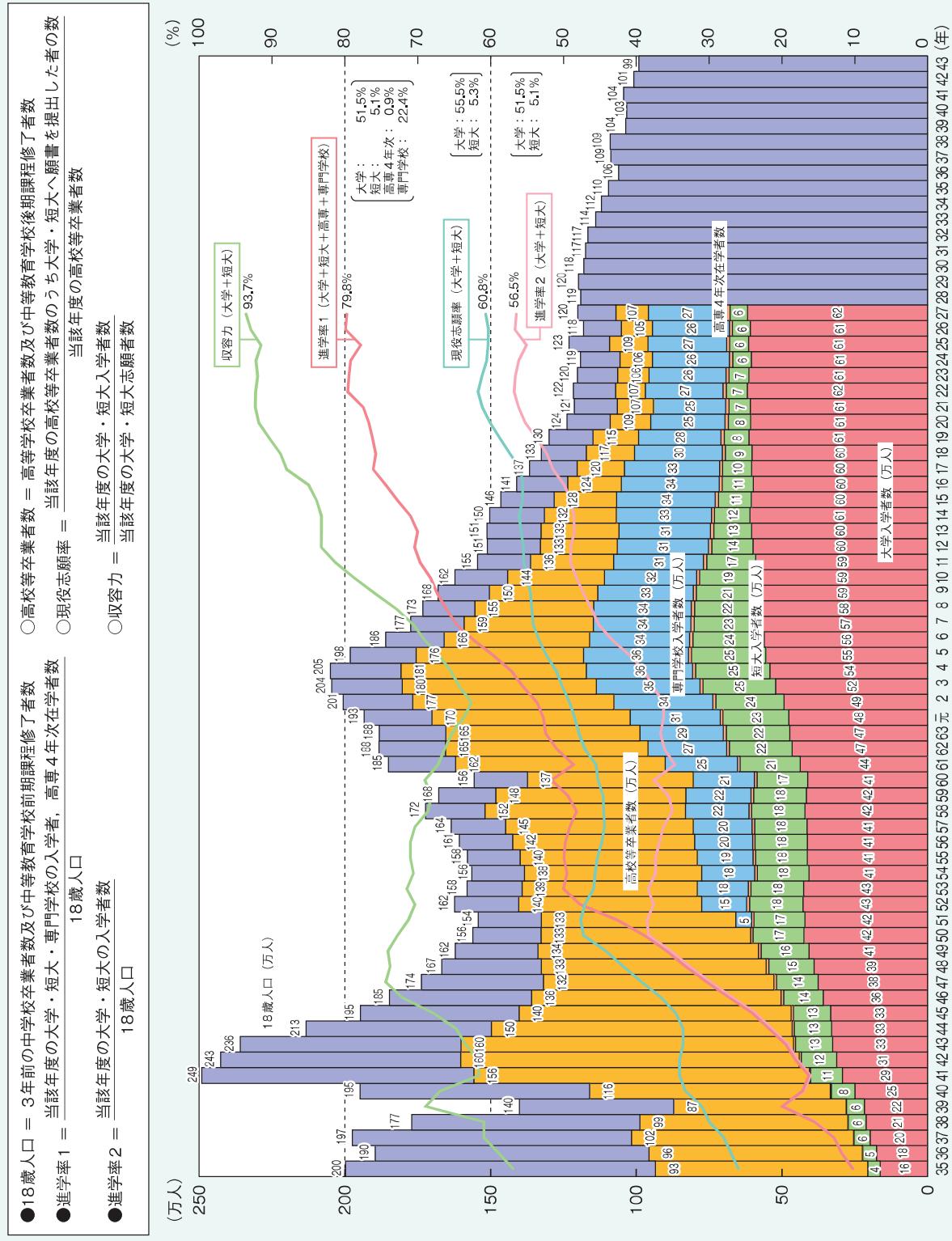
学部 所在地	区分	大学名	学部名	学科名	専攻(コース) 名	入学定員	入学金	授業料	施設設備費	実験・実習・体育費	教育充実費	特別納付金	維持費他	合計
農学部 生物資源開発学科 (仮称)														
青森県	私立	北里大学	獣医学部	動物資源科学科		120	250,000	830,000	270,000	0	0	0	0	1,350,000
青森県	私立	北里大学	獣医学部	生物環境科学科		80	250,000	830,000	270,000	0	0	0	0	1,350,000
東京都	私立	玉川大学	農学部	生物資源学科		105	250,000	1,032,000	250,000	275,200	0	0	0	1,807,200
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	応用生物科学科		120	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	0	1,660,000
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	動物資源科学科		130	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	0	1,660,000
東京都	私立	法政大学	生命科学部	応用植物科学科		78	180,000	1,111,000	312,000	147,000	0	0	0	1,750,000
東京都	私立	法政大学	生命科学部	生命機能学科		72	180,000	1,111,000	312,000	87,000	0	0	0	1,690,000
神奈川県	私立	明治大学	農学部	農学科		130	200,000	1,129,000	0	80,000	312,000	0	0	1,721,000
神奈川県	私立	明治大学	農学部	生命科学科		130	200,000	1,129,000	0	80,000	312,000	0	0	1,721,000
上記5大学9学科の平均						225,556	1,030,222	201,556	107,689	69,333	0	0	0	1,634,356
神奈川県	私立	東京農業大学	農学部	生物資源開発学科 (仮称)		125	270,000	760,000	230,000	200,000	0	25,600	1,485,600	
農学部 デザイン農学科 (仮称)														
神奈川県	私立	麻布大学	生命・環境科学部	食品生命科学科		80	250,000	850,000	300,000	200,000	100,000	0	0	1,700,000
東京都	私立	玉川大学	農学部	生物環境システム 学科		70	250,000	1,032,000	250,000	275,200	0	0	0	1,807,200
群馬県	私立	東洋大学	食環境科学部	フードサイエンス専攻		70	250,000	970,000	260,000	70,000	0	0	0	1,550,000
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	くらしの生物学科		80	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	0	1,660,000
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	食品生命学科		130	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	0	1,660,000
神奈川県	私立	明治大学	農学部	食料環境政策学科		130	200,000	1,020,000	0	40,000	307,000	0	0	1,567,000
上記5大学6学科の平均						245,000	995,333	201,667	147,533	67,833	0	0	0	1,657,367
神奈川県	私立	東京農業大学	農学部	デザイン農学科 (仮称)		123	270,000	760,000	230,000	200,000	0	25,600	1,485,600	

注1) 各大学情報については、学生納付金等調査（平成28年度入学生（日本私立大学団体連合）および平成27年度全国大学一覧（公益財團法人人文教育会）より転載。

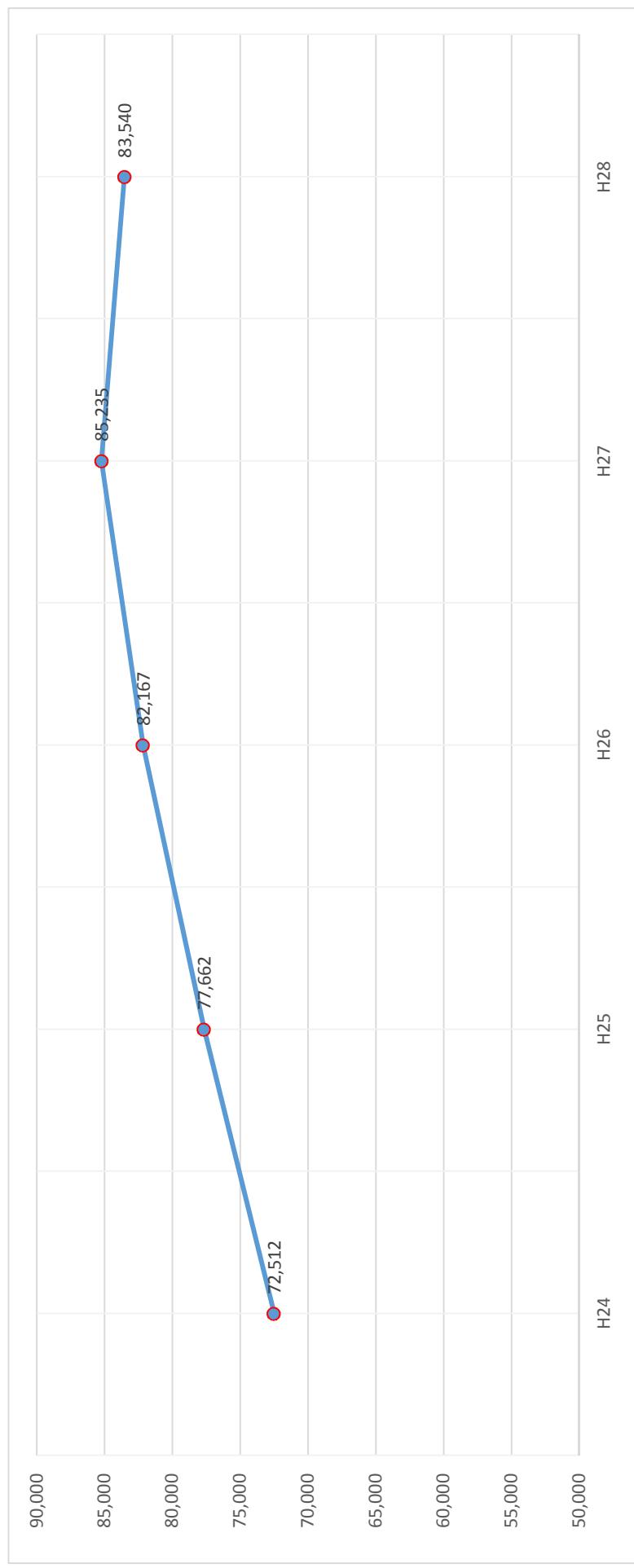
注2) 各大学の学費については、諸会費などを含んでいない場合があるため、概算として参考にして下さい。

注3) 東京農業大学の学費及び入学定員は予定であり、変更する場合があります。

図表2-5-2 18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



平成24年度～平成28年度 農学系大学 志願者数の推移



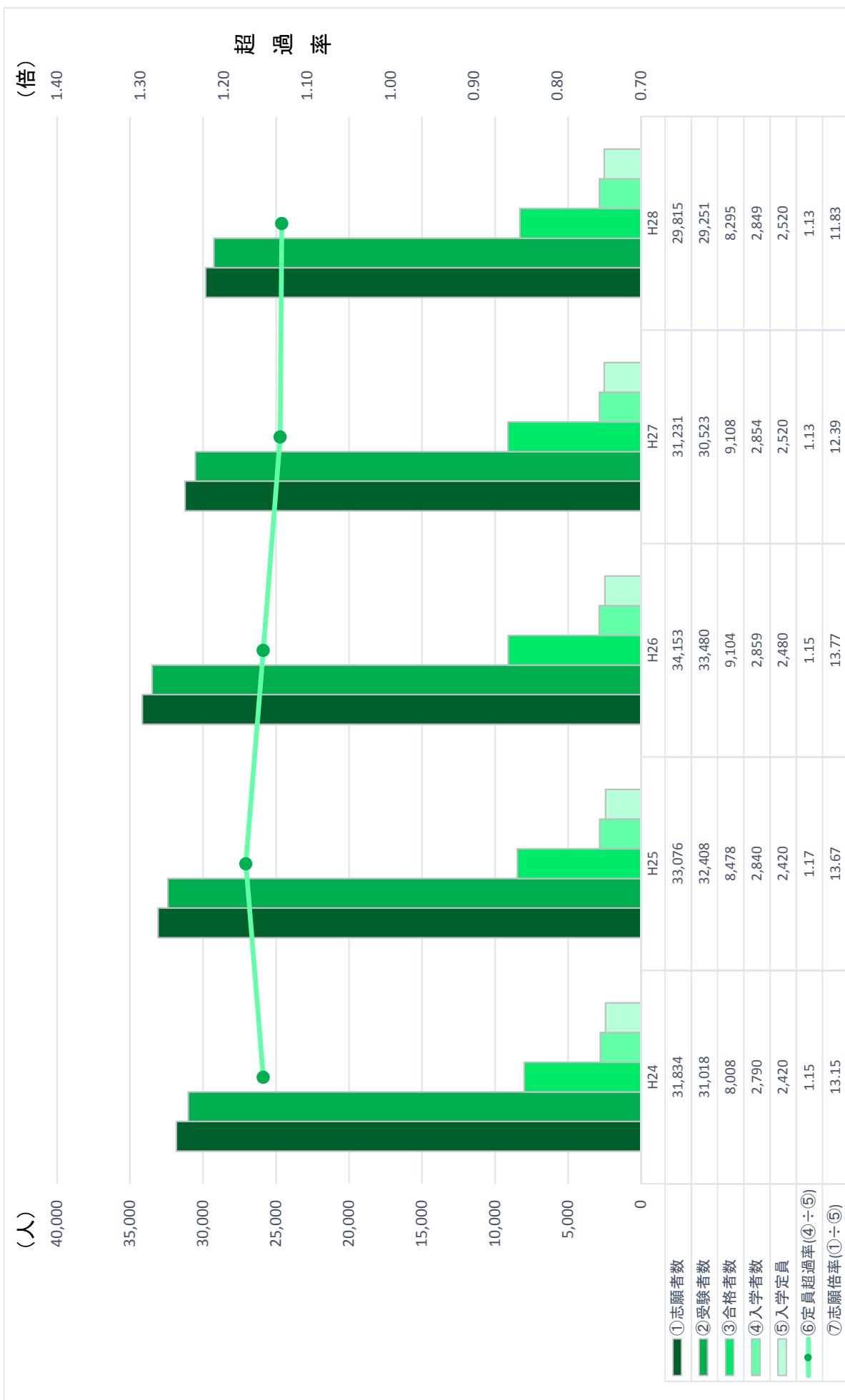
年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
H24	17	6,960	72,512	69,536	20,988	7,921	10.42	30.18	37.74	113.81
H25	17	6,960	77,662	74,596	20,640	7,814	11.16	27.67	37.86	112.27
H26	17	6,960	82,167	78,620	21,842	7,789	11.81	27.78	35.66	111.91
H27	18	7,515	85,235	81,261	24,459	8,491	11.34	30.1	34.72	112.99
H28	18	7,515	83,540	79,288	24,805	8,416	11.12	31.28	33.93	111.99

平成24年度～平成28年度 カテゴリー別志願倍率の推移



*志願倍率は志願者数を入学定員で除して算出した。
※本学以外の数値は日本私立学校振興・共済事業団が発行する「私立大学・短期大学等 入学志願動向」から算出している。

平成24年度～平成28年度 東京農業大学 入試動向



東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、
デザイン農学科（仮称）への
高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

平成 28 年 12 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）への 高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

平成 30 年 4 月に予定している東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）の開設に向けて、設置年度の進学対象層に対する東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）への入学意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象高校及び対象者

近隣に所在する高等学校、または、東京農業大学に進学実績のある高等学校を中心に、1 都 1 道 15 県（東京都、北海道、青森県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県）に所在する高等学校の在学者で平成 30 年度大学進学対象となる高校 2 年生。

(3) 調査方法

近隣に所在する高等学校、または、東京農業大学に進学実績のあるものを中心とした高等学校 241 校に 60,045 人分のアンケート用紙及び東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）の概要を示したリーフレットを送付し、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法により実施。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ高校から直接郵送。

この結果、高校 2 年生 39,205 人から有効回答（有効回収率約 65.2%）があった。

集計結果より、東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）への入学意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 28 年 9 月～平成 28 年 11 月

(5) 有効回収率等

調査対象者数：高等学校 241 校 60,045 人

有効回答者数：高等学校 213 校 39,493 人の回答のうち、高校 2 年生 39,205 人

有効回収率：約 65.2%（有効回答者 39,205 人÷調査対象者 60,045 人）

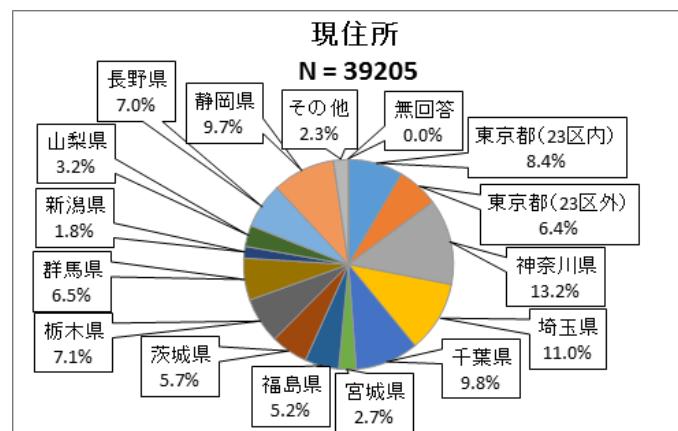
※東京農業大学にて設置を構想している農学部生物資源開発学科、デザイン農学科は仮称であるが、その旨の表示を本文中では省略した。

2. 調査結果

(1) 現住所について

現住所について調査した結果、高校2年生39,205人のうち、7.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「神奈川県」が5,187人(13.2%)と最も多く、次いで「埼玉県」4,309人(11.0%)、「千葉県」3,827人(9.8%)、「静岡県」3,790人(9.7%)、「東京都(23区内)」3,308人(8.4%)、「栃木県」2,768人(7.1%)、「長野県」2,744人(7.0%)の順になっている。

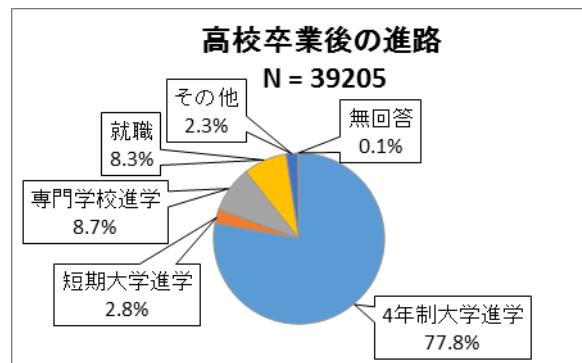
現住所			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	東京都(23区内)	3,308	8.4
2	東京都(23区外)	2,512	6.4
3	神奈川県	5,187	13.2
4	埼玉県	4,309	11.0
5	千葉県	3,827	9.8
6	宮城県	1,050	2.7
7	福島県	2,053	5.2
8	茨城県	2,237	5.7
9	栃木県	2,768	7.1
10	群馬県	2,539	6.5
11	新潟県	706	1.8
12	山梨県	1,274	3.2
13	長野県	2,744	7.0
14	静岡県	3,790	9.7
15	その他	892	2.3
	無回答	9	0.0
N (%ベース)		39,205	100



(2) 高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路について調査した結果、高校2年生39,205人のうち、30,518人(77.8%)が「4年制大学進学」を希望しており、「短期大学進学」は1,079人(2.8%)、合わせて31,597人(80.6%)が国内の高等教育機関への進学を希望している。さらに、「専門学校進学」3,419人(8.7%)を合わせると、35,016人(89.3%)が高等学校卒業後、進学を希望している。

高校卒業後の進路			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年制大学進学	30,518	77.8
2	短期大学進学	1,079	2.8
3	専門学校進学	3,419	8.7
4	就職	3,242	8.3
5	その他	889	2.3
	無回答	58	0.1
N (%ベース)		39,205	100

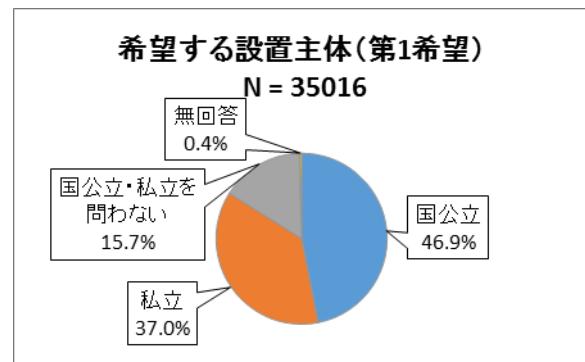


(3) 希望する設置主体について

3-1 希望する設置主体（第1希望）について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 35,016 人に、希望する設置主体（第1希望）について調査した。その結果は、「国公立」が 16,424 人（46.9%）と最も多く、次いで「私立」 12,973 人（37.0%）、「国公立・私立を問わない」 5,485 人（15.7%）、「無回答」 134 人（0.4%）の順になっている。

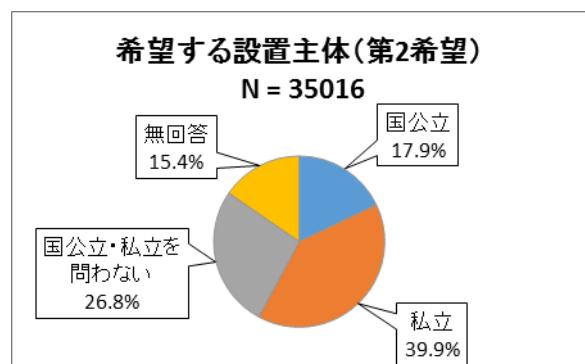
希望する設置主体(第1希望)			
No.	カテゴリ	件数	
		(全体)%	
1	国公立	16,424	46.9
2	私立	12,973	37.0
3	国公立・私立を問わない	5,485	15.7
	無回答	134	0.4
	N (%ベース)	35,016	100



3-2 希望する設置主体（第2希望）について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 35,016 人に、希望する設置主体（第2希望）について調査した。その結果は、「私立」が 13,977 人（39.9%）と最も多く、次いで「国公立・私立を問わない」 9,376 人（26.8%）、「国公立」 6,272 人（17.9%）、「無回答」 5,391 人（15.4%）の順になっている。

希望する設置主体(第2希望)			
No.	カテゴリ	件数	
		(全体)%	
1	国公立	6,272	17.9
2	私立	13,977	39.9
3	国公立・私立を問わない	9,376	26.8
	無回答	5,391	15.4
	N (%ベース)	35,016	100



(4) 興味のある分野について

4-1 興味のある分野（第1位）について

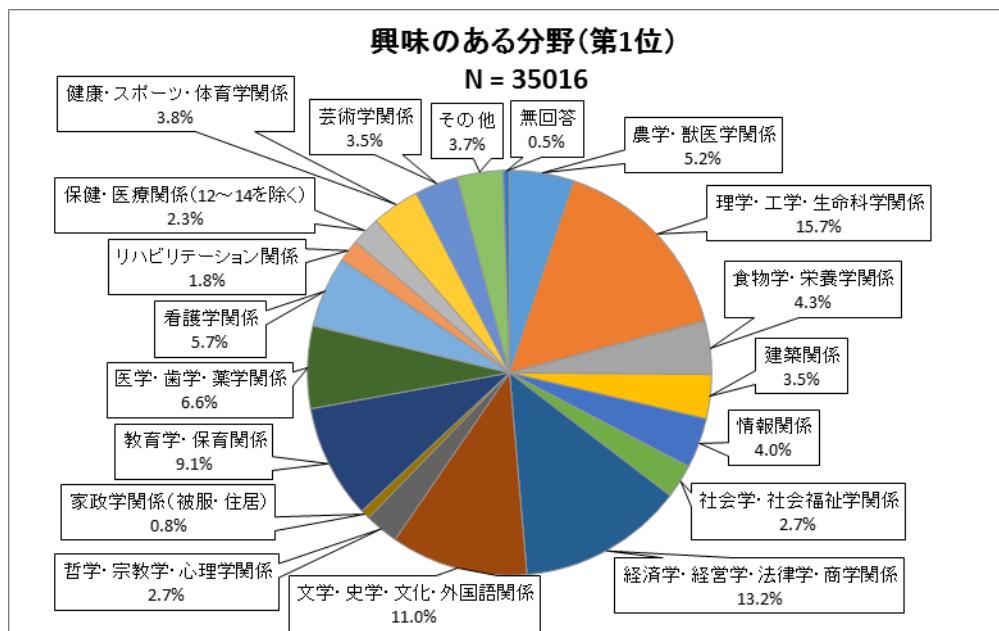
「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 35,016 人に、興味のある分野（第1位）について調査した。その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が 5,502 人（15.7%）と最も多く、次いで「経済学・経営学・法律学・商学関係」4,638 人（13.2%）、「文学・史学・文化・外国語関係」3,838 人（11.0%）、「教育学・保育関係」3,189 人（9.1%）、「医学・歯学・薬学関係」2,304 人（6.6%）、「看護学関係」1,990 人（5.7%）、「農学・獣医学関係」1,807 人（5.2%）の順になっている。

興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農学・獣医学関係	1,807	5.2
2	理学・工学・生命科学関係	5,502	15.7
3	食物学・栄養学関係	1,489	4.3
4	建築関係	1,234	3.5
5	情報関係	1,402	4.0
6	社会学・社会福祉学関係	956	2.7
7	経済学・経営学・法律学・商学関係	4,638	13.2
8	文学・史学・文化・外国語関係	3,838	11.0
9	哲学・宗教学・心理学関係	948	2.7
10	家政学関係(被服・住居)	265	0.8
11	教育学・保育関係	3,189	9.1
12	医学・歯学・薬学関係	2,304	6.6
13	看護学関係	1,990	5.7
14	リハビリテーション関係	623	1.8
15	保健・医療関係(12~14を除く)	814	2.3
16	健康・スポーツ・体育学関係	1,346	3.8
17	芸術学関係	1,210	3.5
18	その他	1,286	3.7
	無回答	175	0.5
	N (%ベース)	35,016	100

興味のある分野(第1位)

N = 35016



4-2 興味のある分野（第2位）について

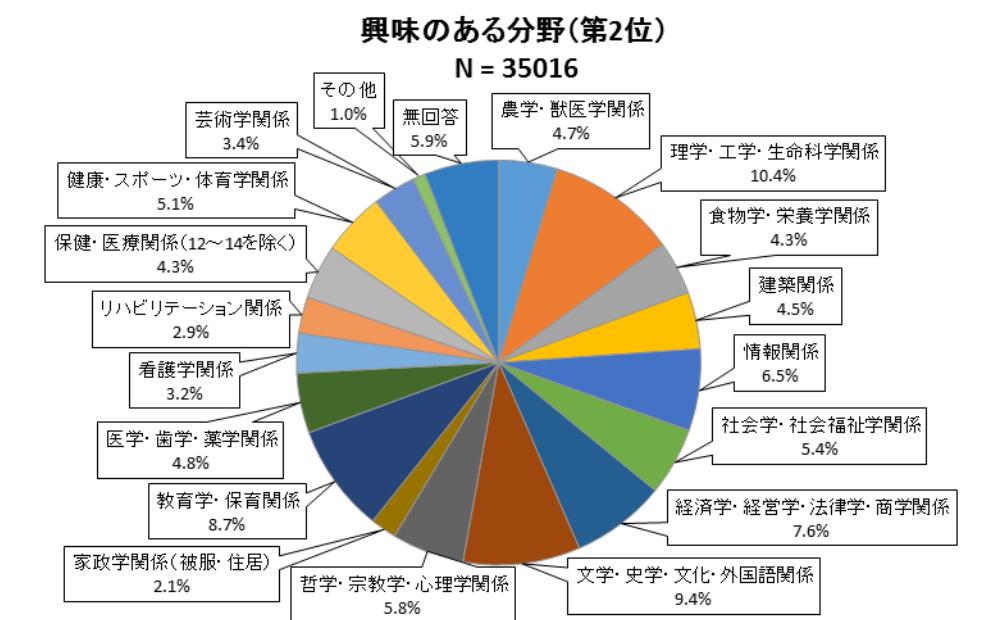
「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する35,016人に、興味のある分野（第2位）について調査した。その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が3,635人（10.4%）と最も多く、次いで「文学・史学・文化・外国語関係」3,281人（9.4%）、「教育学・保育関係」3,037人（8.7%）、「経済学・経営学・法律学・商学関係」2,648人（7.6%）、「情報関係」2,290人（6.5%）、「無回答」2,077人（5.9%）、「哲学・宗教学・心理学関係」2,028人（5.8%）、「社会学・社会福祉学関係」1,908人（5.4%）、「健康・スポーツ・体育学関係」1,773人（5.1%）の順になっている。

興味のある分野(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農学・獣医学関係	1,642	4.7
2	理学・工学・生命科学関係	3,635	10.4
3	食物学・栄養学関係	1,508	4.3
4	建築関係	1,587	4.5
5	情報関係	2,290	6.5
6	社会学・社会福祉学関係	1,908	5.4
7	経済学・経営学・法律学・商学関係	2,648	7.6
8	文学・史学・文化・外国語関係	3,281	9.4
9	哲学・宗教学・心理学関係	2,028	5.8
10	家政学関係(被服・住居)	732	2.1
11	教育学・保育関係	3,037	8.7
12	医学・歯学・薬学関係	1,678	4.8
13	看護学関係	1,106	3.2
14	リハビリテーション関係	1,013	2.9
15	保健・医療関係(12~14を除く)	1,522	4.3
16	健康・スポーツ・体育学関係	1,773	5.1
17	芸術学関係	1,202	3.4
18	その他	349	1.0
	無回答	2,077	5.9
	N (%ベース)	35,016	100

興味のある分野(第2位)

N = 35016



4・3 興味のある分野（第3位）について

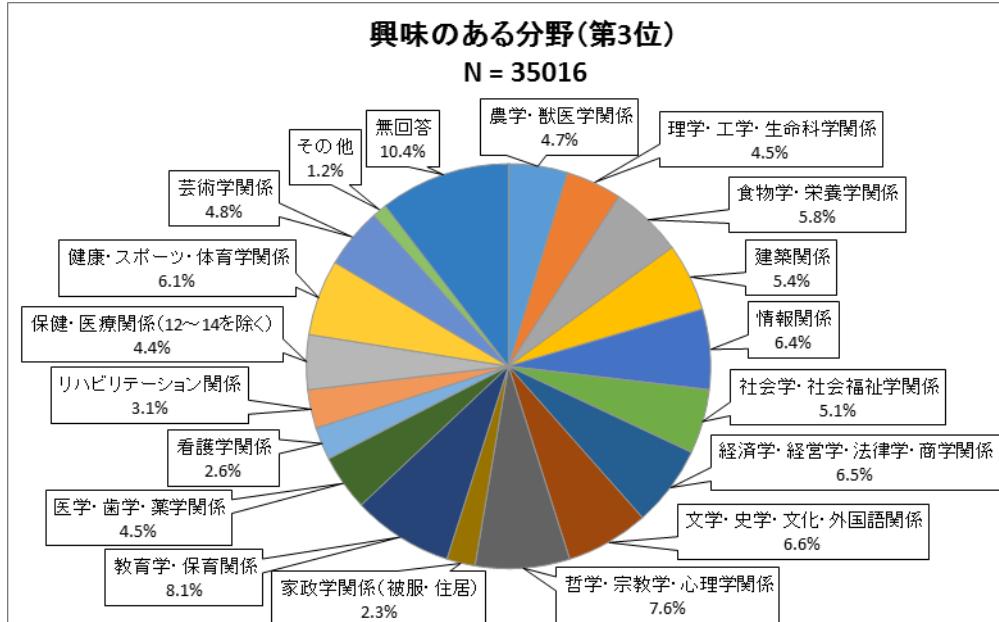
「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する35,016人に、興味のある分野（第3位）について調査した。その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「無回答」が3,655人（10.4%）と最も多く、次いで「教育学・保育関係」が2,822人（8.1%）、「哲学・宗教学・心理学関係」2,644人（7.6%）、「文学・史学・文化・外国語関係」2,325人（6.6%）、「経済学・経営学・法律学・商学関係」2,265人（6.5%）、「情報関係」2,243人（6.4%）、「健康・スポーツ・体育学関係」2,125人（6.1%）、「食物学・栄養学関係」2,040人（5.8%）、「建築関係」1,897人（5.4%）、「社会学・社会福祉学関係」1,803人（5.1%）の順になっている。

興味のある分野(第3位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農学・獣医学関係	1,652	4.7
2	理学・工学・生命科学関係	1,569	4.5
3	食物学・栄養学関係	2,040	5.8
4	建築関係	1,897	5.4
5	情報関係	2,243	6.4
6	社会学・社会福祉学関係	1,803	5.1
7	経済学・経営学・法律学・商学関係	2,265	6.5
8	文学・史学・文化・外国語関係	2,325	6.6
9	哲学・宗教学・心理学関係	2,644	7.6
10	家政学関係(被服・住居)	797	2.3
11	教育学・保育関係	2,822	8.1
12	医学・歯学・薬学関係	1,561	4.5
13	看護学関係	914	2.6
14	リハビリテーション関係	1,081	3.1
15	保健・医療関係(12～14を除く)	1,527	4.4
16	健康・スポーツ・体育学関係	2,125	6.1
17	芸術学関係	1,692	4.8
18	その他	404	1.2
	無回答	3,655	10.4
	N (%ベース)	35,016	100

興味のある分野(第3位)

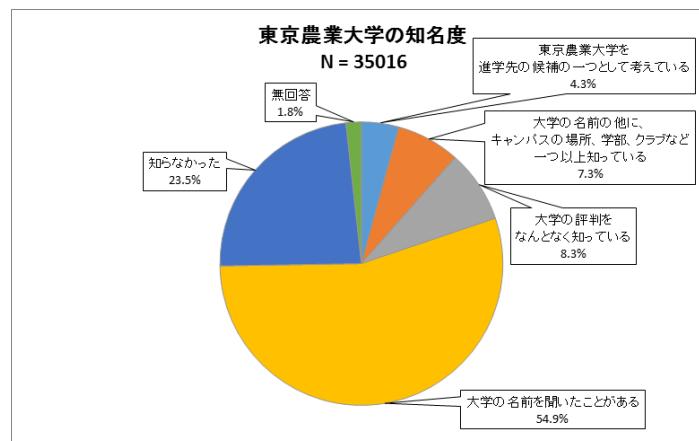
N = 35016



(5) 東京農業大学の知名度について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 35,016 人に、東京農業大学の知名度について調査した。その結果は、「大学の名前を聞いたことがある」が 19,234 人（54.9%）と最も多く、次いで「知らなかった」8,231 人（23.5%）、「大学の評判をなんとなく知っている」2,900 人（8.3%）、「大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている」2,543 人（7.3%）、「東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている」1,495 人（4.3%）、「無回答」613 人（1.8%）の順になっている。

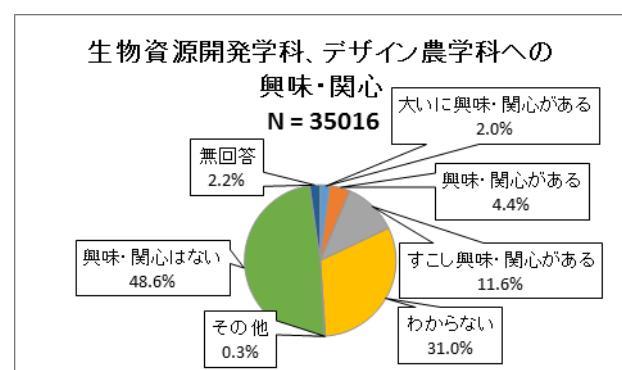
東京農業大学の知名度		件数	(全体)%
No.	カテゴリ		
1	東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている	1,495	4.3
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている	2,543	7.3
3	大学の評判をなんとなく知っている	2,900	8.3
4	大学の名前を聞いたことがある	19,234	54.9
5	知らなかった	8,231	23.5
	無回答	613	1.8
	N (%ベース)	35,016	100



(6) 農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への興味・関心について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 35,016 人のうち、東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 702 人（2.0%）である。また、「興味・関心がある」1,530 人（4.4%）、「すこし興味・関心がある」4,053 人（11.6%）との回答があり、「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」の合計 6,285 人（18.0%）が東京農業大学生物資源開発学科、デザイン農学科に興味を示している。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	702	2.0
2	興味・関心がある	1,530	4.4
3	すこし興味・関心がある	4,053	11.6
4	わからない	10,846	31.0
5	その他	88	0.3
6	興味・関心はない	17,019	48.6
	無回答	778	2.2
	N (%ベース)	35,016	100



(7) 興味・関心の理由について（複数回答）

興味・関心の理由については、「(6) 農学部生物資源開発学科、デザイン農学学科への興味・関心について」にて東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科に興味・関心を示した 6,285 人のうち、「興味・関心のある分野だから」が 4,365 人 (69.5%) と最も多く、次いで「学べる内容やカリキュラムが良さそう」 3,134 人 (49.9%)、「職業や企業への就職に有利そう」 1,487 人 (23.7%)、「学習サポート体制が充実していそう」 1,462 人 (23.3%)、「校舎・施設が充実していそだから」 1,369 人 (21.8%)、「目指す資格を取得できそだ」 875 人 (13.9%)、「大学に伝統と実績があるから」 551 人 (8.8%)、「自宅から通えるから」 438 人 (7.0%)、「クラブ活動が活発そだから」 427 人 (6.8%)、「その他」 181 人 (2.9%)、「学費が適正だから」 135 人 (2.1%)、「無回答」 92 人 (1.5%) の順になっている。

生物資源開発学科、デザイン農学科への興味・関心の理由(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味・関心のある分野だから	4,365	69.5
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	3,134	49.9
3	学習サポート体制が充実していそだ	1,462	23.3
4	目指す資格を取得できそだ	875	13.9
5	職業や企業への就職に有利そだ	1,487	23.7
6	大学に伝統と実績があるから	551	8.8
7	クラブ活動が活発そだから	427	6.8
8	自宅から通えるから	438	7.0
9	学費が適正だから	135	2.1
10	校舎・施設が充実していそだから	1,369	21.8
11	その他	181	2.9
	無回答	92	1.5
	N (%ベース)	6,285	100

生物資源開発学科、デザイン農学科への興味・関心の理由
(複数回答) N = 6285

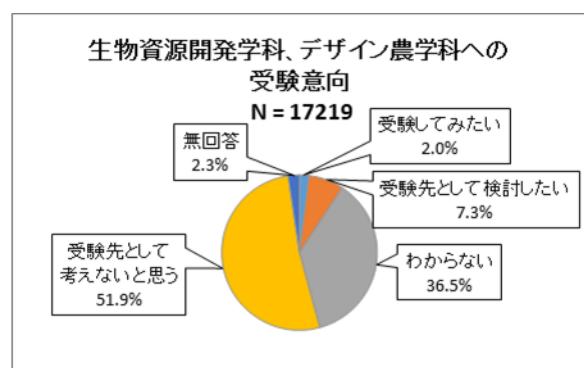


(8) 農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への受験意向について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 35,016 人のうち、「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」、「すこし興味・関心がある」、「わからない」、「その他」と回答した 17,219 人に、東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への受験意向について調査した。

その結果は、「受験してみたい」 341 人 (2.0%)、「受験先として検討したい」 1,257 人 (7.3%)、の合計 1,598 人 (9.3%) が東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への受験意向を示している。

生物資源開発学科、デザイン農学科への受験意向			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験してみたい	341	2.0
2	受験先として検討したい	1,257	7.3
3	わからない	6,284	36.5
4	受験先として考えないと思う	8,934	51.9
	無回答	403	2.3
	N (%ベース)	17,219	100

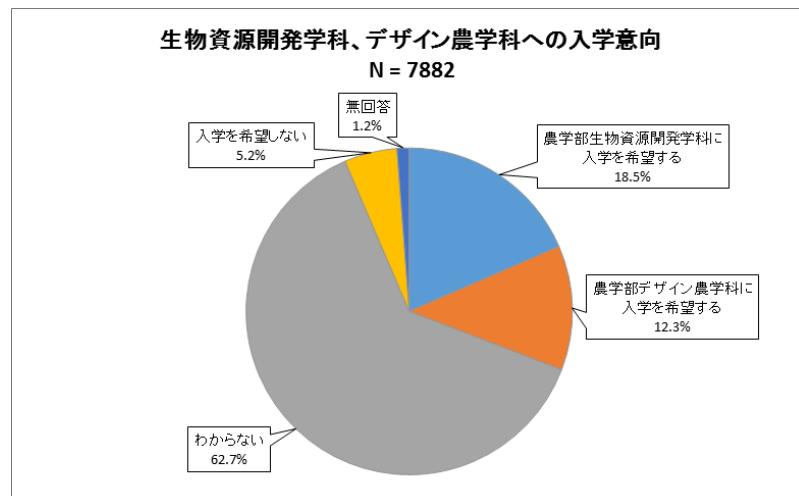


(9) 農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への入学意向について

「(8) 農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への受験意向について」にて、東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への受験意向を示した 1,598 人と、「わからない」と回答した 6,284 人、合計 7,882 人に、東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科を受験し、合格した場合の入学意向について調査した。

その結果は、「農学部生物資源開発学科に入学を希望する」が 1,457 人 (18.5%)、「農学部デザイン農学科に入学を検討する」が 972 人 (12.3%) となり、合計 2,429 人 (30.8%) が東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科への入学意向を示している。

生物資源開発学科、デザイン農学科への入学意向			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農学部生物資源開発学科に入学を希望する	1,457	18.5
2	農学部デザイン農学科に入学を希望する	972	12.3
3	わからない	4,945	62.7
4	入学を希望しない	413	5.2
	無回答	95	1.2
	N (%ベース)	7,882	100



3. 調査結果のまとめ

「(9) 新学科への入学意向について」の調査結果を集計した結果は下表である。

生物資源開発学科、デザイン農学科への入学意向		件数	(全体)%
No.	カテゴリ		
1	農学部生物資源開発学科に入学を希望する	1,457	18.5
2	農学部デザイン農学科に入学を希望する	972	12.3
3	わからない	4,945	62.7
4	入学を希望しない	413	5.2
	無回答	95	1.2
	N (%ベース)	7,882	100

① 農学部生物資源開発学科について

農学部生物資源開発学科に入学を希望すると回答した高校2年生は合計1,457人となり、東京農業大学農学部生物資源開発学科の入学定員125人に対し、約11.65倍の入学意向を示している。

② 農学部デザイン農学科について

農学部デザイン農学科に入学を希望すると回答した高校2年生は合計972人となり、東京農業大学農学部デザイン農学科の入学定員123人に対し、7.9倍の入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外からの高校生の進学も考えられることから、東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものと考える。

調查票等

東京農業大学 農学部 生物資源開発学科(仮称)、デザイン農学科(仮称) 設置に係るアンケート調査

- このアンケート調査は2018年4月に設置を予定している新学科の設置構想の基礎資料とするため、高校2年生のみなさんの卒業後の進路等についてお聞きするものです。ご協力をお願いいたします。
- このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。

回答は、該当する番号を回答欄へ直接記入してください。

[あなたに関することについてお答えください]

【回答欄】

問1 あなたの学年をおたずねします。

1 高校1年生 2 高校2年生

3 高校3年生

問2 あなたの性別についておたずねします。

1 男子 2 女子

問3 あなたのお住まい（現住所）についておたずねします。

1 東京都（23区内）	5 千葉県	9 栃木県	13 長野県
2 東京都（23区外）	6 宮城県	10 群馬県	14 静岡県
3 神奈川県	7 福島県	11 新潟県	15 その他（ ）
4 埼玉県	8 茨城県	12 山梨県	

[卒業後の進路についてお答えください]

問4 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

1 4年制大学進学
2 短期大学進学
3 専門学校進学
4 就職
5 その他（
 ）

1、2、3を選ばれた方は問5へお進みください。
4、5を選ばれた方は本アンケート終了です。

問5 あなたはどのような設置主体の学校に進学したいですか。次の中からあてはまるものを第2希望まで選んでください。

1 国公立
2 私立
3 国公立・私立を問わない

第1希望

第2希望

問6 あなたは進学先（4年制大学、短期大学、専門学校）で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていらっしゃいますか。次の中であてはまるものを第3位まで選んでください。

1 農学・獣医学関係	10 家政学関係（被服・住居）	第1位
2 理学・工学・生命科学関係	11 教育学・保育関係	
3 食物学・栄養学関係	12 医学・歯学・薬学関係	第2位
4 建築関係	13 看護学関係	
5 情報関係	14 リハビリテーション関係	第3位
6 社会学・社会福祉学関係	15 保健・医療関係（12～14を除く）	
7 経済学・経営学・法律学・商学関係	16 健康・スポーツ・体育学関係	
8 文学・史学・文化・外国語関係	17 芸術学関係	
9 哲学・宗教学・心理学関係	18 その他 (具体的に)	

第1位

第2位

第3位

一次の頁へお進みくださいー

ここからは農学部 生物資源開発学科(仮称)、デザイン農学科(仮称)の概要(リーフレット)と、類似する近隣の大学・学部・学科一覧をご覧いただいた上でお答えください。

問 7 あなたは東京農業大学を知っていますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

【回答欄】

- 1 東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている
- 2 大学の名前その他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている
- 3 大学の評判をなんとなく知っている
- 4 大学の名前を聞いたことがある
- 5 知らなかった

問 8 あなたは東京農業大学の農学部 生物資源開発学科(仮称)、デザイン農学科(仮称)について、どのように考えますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 大いに興味・関心がある
- 2 興味・関心がある
- 3 すこし興味・関心がある
- 4 わからない
- 5 その他(具体的に)
- 6 興味・関心はない

)

1、2、3を選ばれた方は問 9へお進み下さい。
4、5を選ばれた方は問 10へお進み下さい。
6を選ばれた方は本アンケート終了です。

問 9 問 8 で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から 3 つまで選んでください。回答後は問 10へお進みください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 興味・関心のある分野だから | 7 クラブ活動が活発そうだから |
| 2 学べる内容やカリキュラムが良さそう | 8 自宅から通えるから |
| 3 学習サポート体制が充実している | 9 学費が適正だから |
| 4 目指す資格を取得できそう | 10 校舎・施設が充実しているから |
| 5 職業や企業への就職に有利そう | 11 その他
(具体的に) |
| 6 大学に伝統と実績があるから | |

問 10 あなたは東京農業大学の農学部 生物資源開発学科(仮称)、デザイン農学科(仮称)を受験したいと思いませんか。次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 受験してみたい
- 2 受験先として検討したい
- 3 わからない
- 4 受験先として考えないと思う

)

1、2、3を選ばれた方は問 11へお進み下さい。
4を選ばれた方は本アンケート終了です。

問 11 東京農業大学の農学部 生物資源開発学科(仮称)、デザイン農学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向について次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 農学部 生物資源開発学科(仮称)に入学を希望する
- 2 農学部 デザイン農学科(仮称)に入学を希望する
- 3 わからない
- 4 入学を希望しない

◆ご協力ありがとうございました

新学科と類似する近隣の大学・学部・学科一覧

東京農業大学 新学科：
農学部：生物資源開発学科（仮称）／デザイン農学科（仮称）

学部所在地	区分	大学名	学部名	学科名	専攻（コース）名	入学定員	入学金	授業料	施設設備費	実験・実習・体育費	教育研究費特別納付金	維持費他	合計
農学部 生物資源開発学科（仮称）													
青森県	私立	北里大学	獣医学部	動物資源科学科		120	250,000	830,000	270,000	0	0	0	1,350,000
青森県	私立	北里大学	獣医学部	生物環境科学科		80	250,000	830,000	270,000	0	0	0	1,350,000
東京都	私立	玉川大学	農学部	生物資源学科		105	250,000	1,032,000	250,000	275,200	0	0	1,807,200
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	応用生物科学科		120	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	1,660,000
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	動物資源科学科		130	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	1,660,000
東京都	私立	法政大学	生命科学部	応用植物科学科		78	180,000	1,111,000	312,000	147,000	0	0	1,750,000
東京都	私立	法政大学	生命科学部	生命機能科学科		72	180,000	1,111,000	312,000	87,000	0	0	1,690,000
神奈川県	私立	明治大学	農学部	農学科		130	200,000	1,129,000	0	80,000	312,000	0	1,721,000
神奈川県	私立	明治大学	農学部	生命科学科		130	200,000	1,129,000	0	80,000	312,000	0	1,721,000
神奈川県	私立	東京農業大学	農学部	生物資源開発学科（仮称）		125	270,000	760,000	230,000	200,000	0	25,600	1,485,600
農学部 デザイン農学科（仮称）													
神奈川県	私立	麻布大学	生命・環境科学部	食品生命科学科		80	250,000	850,000	300,000	200,000	100,000	0	1,700,000
東京都	私立	玉川大学	農学部	生物環境システム学科		70	250,000	1,032,000	250,000	275,200	0	0	1,807,200
群馬県	私立	東洋大学	食環境科学部	食環境科学科	フードサイエンス専攻	70	250,000	970,000	260,000	70,000	0	0	1,550,000
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	くらしの生物学科		80	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	1,660,000
神奈川県	私立	日本大学	生物資源科学部	食品生命学科		130	260,000	1,050,000	200,000	150,000	0	0	1,660,000
神奈川県	私立	明治大学	農学部	食料環境政策学科		130	200,000	1,020,000	0	40,000	307,000	0	1,567,000
神奈川県	私立	東京農業大学	農学部	デザイン農学科（仮称）		123	270,000	760,000	230,000	200,000	0	25,600	1,485,600

注1) 各大学情報については、学生納付金等調査（平成28年度入学生（日本私立大学団体連合））および平成27年度全国大学一覧（公益財団法人教職会）より転載。

注2) 各大学の学費については、諸会費などを含んでいない場合があるため、概算として参考にして下さい。

注3) 東京農業大学の学費及び入学定員は予定であり、変更する場合があります。

お問い合わせ先

東京農業大学 大学改革推進室
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
電話：03-5477-2650 FAX：03-5477-2804

農のこころで社会をデザインする

東京農大 農学部

2018年4月
2学科開設予定

生物資源開発学科 (仮称)

デザイン農学科 (仮称)

東京農業大学

※学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

2018年4月

農学部は4学科体制に。

農学は生物の持つ多様な機能を巧みに利用し、高品質の食料を安定生産するとともに生活の質(QOL: Quality of Life)を向上させ、また、生態系保全と修復にも大きな役割を果たす実践的な価値を追求する学問です。現在、農学に対する社会的ニーズはこれまで以上に高まるとともに多様化してきています。

農学は生命(いのち)に触れ、生き物を育てる生産科学の学問であるばかりでなく、**そこで得られる知識や知恵を利用して、地域レベルから地球規模の環境保全、生活の質の向上やライフスタイルの形成**にまで関わることが、大きく期待されています。このような時代のニーズに対応し農学部は、農学科、動物科学科(仮称)、生物資源開発学科(仮称)、デザイン農学科(仮称)の4学科体制になります。農学の広がりに対応した学科構成・カリキュラムを整え、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

農学部の研究のキーワード 農学2.0

食料生産に特化する形ではじまった農学を「農学1.0」とすれば、現在の農学が網羅する分野は大きく広がり、「農学2.0」として展開を始めています。「農学1.0」の中心課題、食料生産技術関連の研究を完全にふまえた上で、たとえば生物機能開発、農業の多面的機能、生物多様性の確保、食農デザインなど、さまざまな新しい重要な課題に取り組んでいきます。ここでは、**サステナビリティ***、**レジリアンス***、**well-being***がキーワードになっていきます。

農学部の教育のキーワード 農学リテラシー

農学を学ぶうえで、ベースとなる基礎力向上と学びを深めるのに必要な関連分野を見渡す力、さまざまな知識の組合せや連携させる力を養うのが農学リテラシーです。農学リテラシーは、**アカデミックリテラシー・アカデミックスキルズ・農学全体を見わたす講義（農学俯瞰講義）**で構成し、農学部に学ぶすべての学生が、農学部に社会が期待する知識・技術を修得します。

農学部の人間力養成のキーワード 研究室

伝統的に東京農大の学びの中心は研究室です。新しい農学部でも確実に受け継がれます。

ここで培われるのは……

実験計画を立てる
企画力

じっくりと研究を続ける
持続力

研究結果をまとめる
分析力

研究結果を発表する
プレゼン力

論文をまとめる
文章力

仲間と協同で研究を進めるチームワークと
コミュニケーション力

つまり、研究室で**社会を生き抜く力、知的基礎力を身につけることができる**のです。

* サステナビリティ：持続可能性 レジリアンス：復元力 well-being：身体的・精神的・社会的に良好な状態

生物資源開発学科

(仮称)

Department of Bioresource Development (仮称)

生物多様性をキーワードに 持続的社會に貢献する

野生動物調査	植物多様性学 研究室	昆虫学 研究室	野生動物学 研究室	薬用資源学 研究室	遺伝資源利用学 研究室
--------	---------------	------------	--------------	--------------	----------------



生物多様性を保全することは、自然環境の維持や生態系サービスの享受につながり、持続可能な社会構築にもつながります。農業においても、生物多様性への配慮が欠如した農地は、自然環境に著しい負荷をかけていることは明らかです。生物多様性の維持・管理は、人間生活の基盤であり、多面的な生物資源の持続的利用と共に、これから農学に求められている大きなテーマです。

生物資源開発学科は、農業生態系から自然生態系にいたる動植物の多様性の解明と保全を基軸に、新たな生物資源の探索と生物の多様な機能の活用方法を追究していきます。これから社会が求める持続可能な農業・環境・社会づくりに貢献しようという人に相応しい学科です。



予想される進路

大学院、公務員、教員、環境コンサルタント、環境アセスメント、学芸員、自然保護官、農業生産法人、動物園、植物園、博物館、農業および農業関連産業、製薬会社、旅行会社（自然ツアー関連）、出版マスコミ 等

取得資格（予定）

中学校教諭一種免許状（理科）
高等学校教諭一種免許状（理科・農業）
学芸員、図書館司書
環境再生医初級、自然再生士補

予想される研究テーマ例

- 農業生態系と自然生態系における生物相の解明・保全と生物利活用
- 生物多様性管理技術の開発
- 生薬の国産化を目指した栽培体系化と新たな植物資源探索
- 新品種作出を目的とした有用遺伝資源開発
- ゲノム情報活用と新育種技術による次世代型の品種改良
- 農業に有用な昆虫資源・潜在害虫の探索
- 絶滅危惧種の生息域内ならびに生息域外保全
- 野生動物の生態・行動
- 野生動植物との共存を目指した生態系サービスの持続的活用

デザイン農学科

(仮称)

Department of Agricultural Innovation for Sustainable Society (仮称)

食と農の多面的機能の開発を通じ 持続可能な社会・地域・生活をデザインする

生物機能開発学
研究室

食資源利用学
研究室

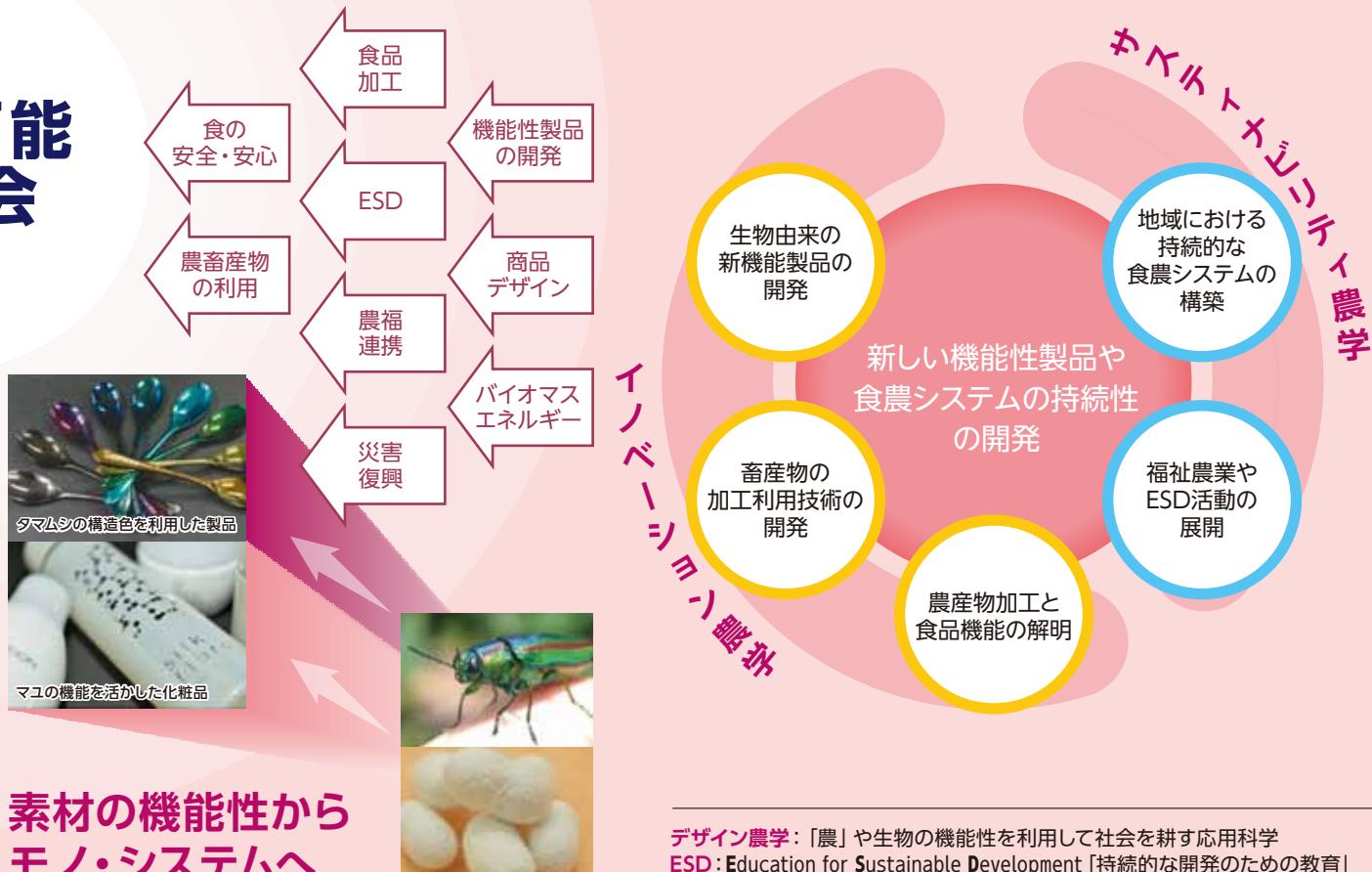
食機能科学
研究室

生活デザイン農学
研究室

社会デザイン農学
研究室

「農」には多面的な機能があります。高品質の食料の安定供給はもちろんのこと、繊維製品、化粧品、健康食品などの「機能性ものづくり」や、都市計画、環境・食農教育、医療福祉などとの「連携・システムづくり」の期待も高まっています。このような多面的機能の開発を通して持続的で豊かな社会を構築し、人類の幸福(well-being)を実現することが農学の最終目標です。

デザイン農学科は、生物や生産物の機能性を解明し、効果的に利活用したり、さまざまな生物や加工および品質評価から、それを利用する消費者の心身の健康までをカバーし、単に生存することに留まらず、食と農との持続的なシステムに基づいた社会、地域、生活をデザインする学科です。新たなライフスタイルを提案し実現したいという意欲あふれる人に相応しい学科です。



デザイン農学：「農」や生物の機能性を利用して社会を耕す応用科学

ESD : Education for Sustainable Development 「持続的な開発のための教育」

予想される進路

大学院、食品関連会社、化粧品関連会社、健康素材関連会社、バイオベンチャー、バイオミミクリー関連会社、農畜産物卸売業、教員、農業協同組合、生活協同組合、社会福祉事業、公務員、コンサルタント、シンクタンク等

■取得資格（予定）

高等学教諭一種免許状（農業）
学芸員
図書館司書

予想される研究テーマ例

- 生物機能の解明とそれを利用した機能性製品の開発
- 農畜産物の加工利用技術の開発
- 生物構造を模倣した（バイオミミクリー）製品の開発
- 食品の安全性の評価
- 農業教育と ESD の展開
- 農業による社会的弱者の支援
- バイオ燃料の環境影響評価
- 災害復興支援システムの構築
- 持続的社会の構築のための政策提案

厚木キャンパス

東京農業大学農学部のある厚木キャンパスは、神奈川県中西部の厚木市的小高い丘の上にあり、キャンパス全域が植物園として登録されています。約500種の自生植物が生育し、四季折々の植物を楽しむことができます。雑木林もあり、アナグマやタヌキなどの野生動物も生息しています。この様な環境の中、“well-being を実現する農学”を追究しています。



伊勢原農場

厚木キャンパスから車で約20分の伊勢原市にあり、果樹・野菜・花などの学生実習や研究に活用されています。

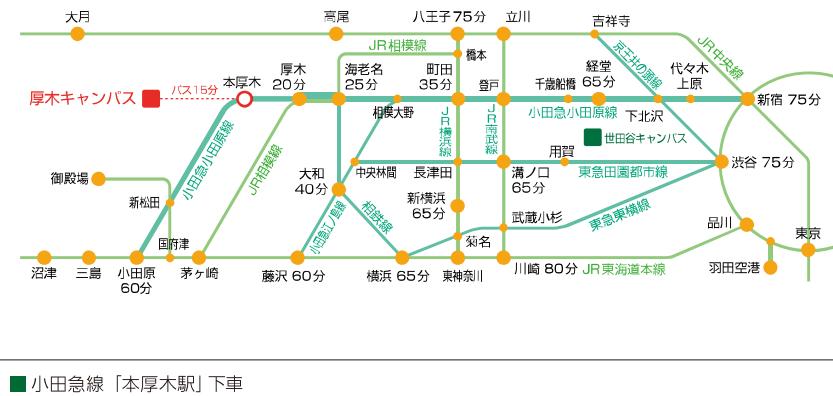


富士農場

静岡県富士宮市にあり、総面積33haのうち牧草地が12ha。乳牛・肉牛・豚・家禽などを飼育しており、動物系の学生実習のほか、植生調査・野生動物の調査などに活用されています。



厚木キャンパスまでの交通機関／所要時間

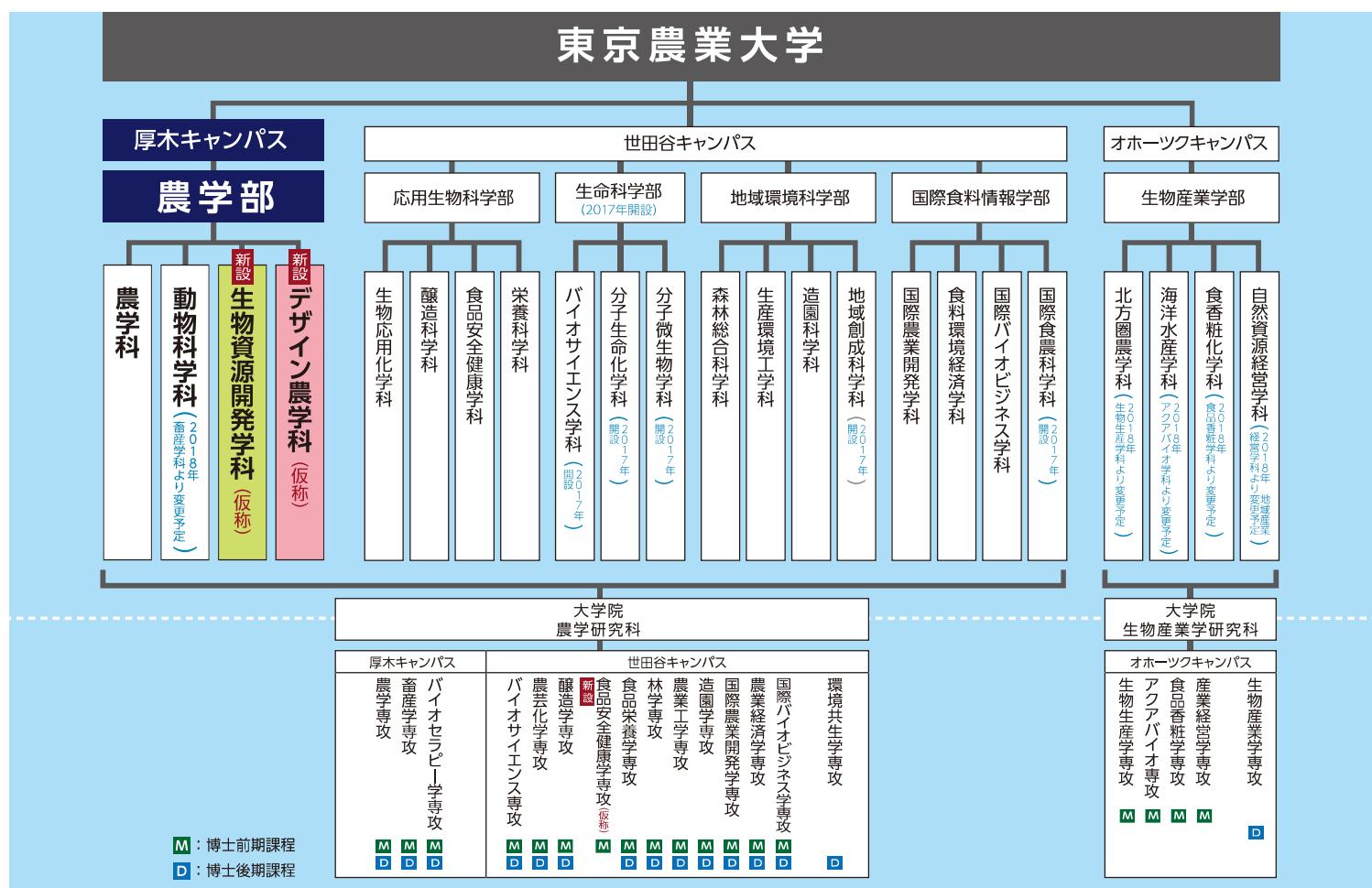
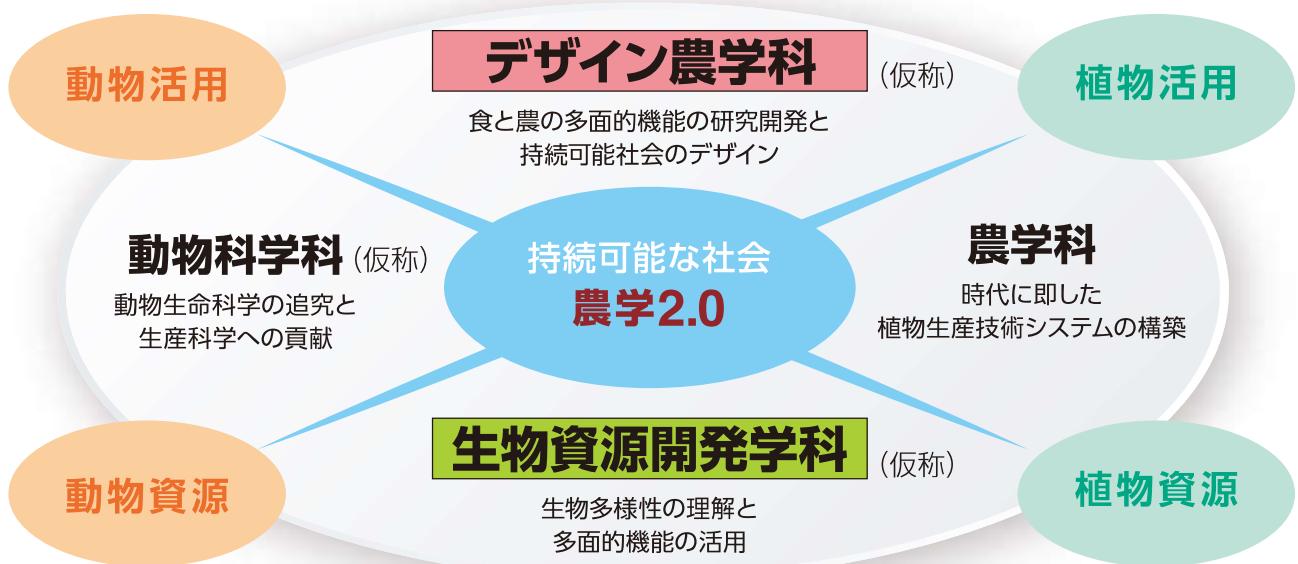


www.nodai.ac.jp

農のこころで、社会をデザインする 新しい農学部

(2018年4月からの新体制)

東京農大125年の歴史は、農学部の歴史。
新しい農学部は、広範な動植物分野を研究・教育対象に持続可能な社会の実現に貢献することがミッションです。

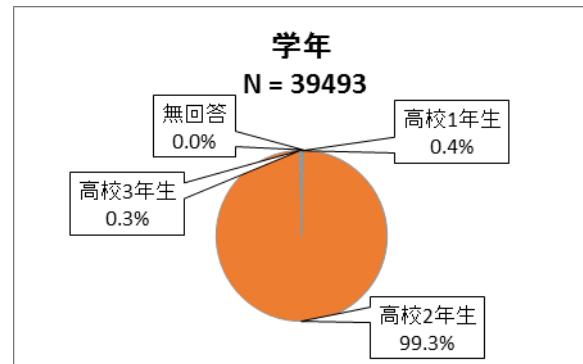


※ 学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

单纯集計表

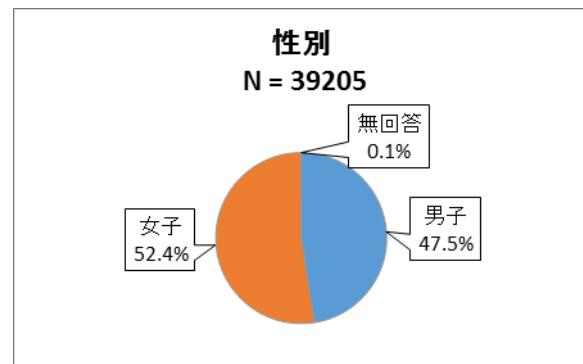
学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高校1年生	146	0.4
2	高校2年生	39,205	99.3
3	高校3年生	134	0.3
	無回答	8	0.0
	N (%ベース)	39,493	100



性別

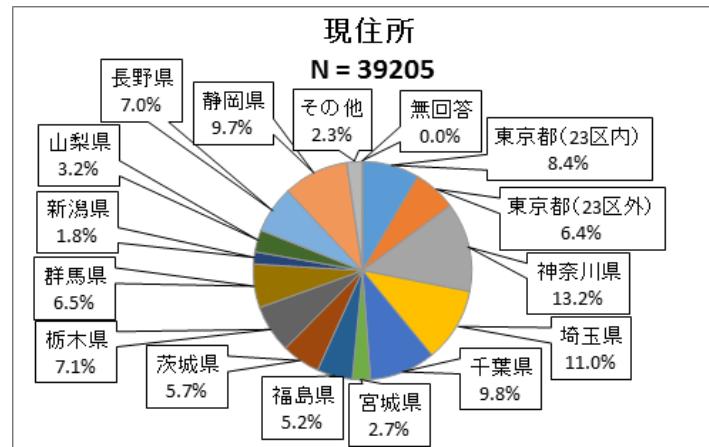
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男子	18,625	47.5
2	女子	20,554	52.4
	無回答	26	0.1
	N (%ベース)	39,205	100



現住所

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	東京都(23区内)	3,308	8.4
2	東京都(23区外)	2,512	6.4
3	神奈川県	5,187	13.2
4	埼玉県	4,309	11.0
5	千葉県	3,827	9.8
6	宮城県	1,050	2.7
7	福島県	2,053	5.2
8	茨城県	2,237	5.7
9	栃木県	2,768	7.1
10	群馬県	2,539	6.5
11	新潟県	706	1.8
12	山梨県	1,274	3.2
13	長野県	2,744	7.0
14	静岡県	3,790	9.7
15	その他	892	2.3
	無回答	9	0.0
	N (%ベース)	39,205	100

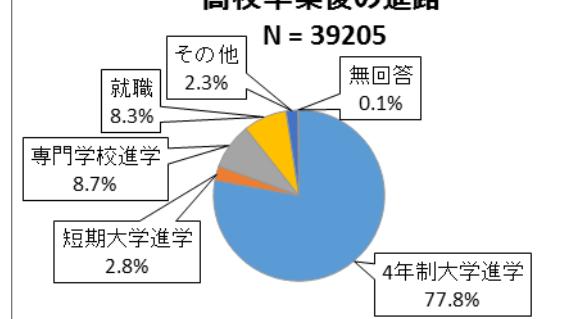
現住所



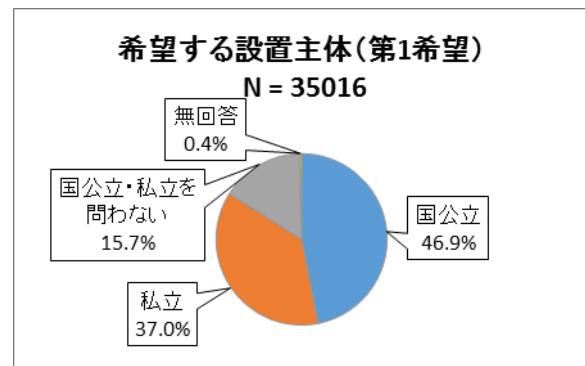
高校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年制大学進学	30,518	77.8
2	短期大学進学	1,079	2.8
3	専門学校進学	3,419	8.7
4	就職	3,242	8.3
5	その他	889	2.3
	無回答	58	0.1
	N (%ベース)	39,205	100

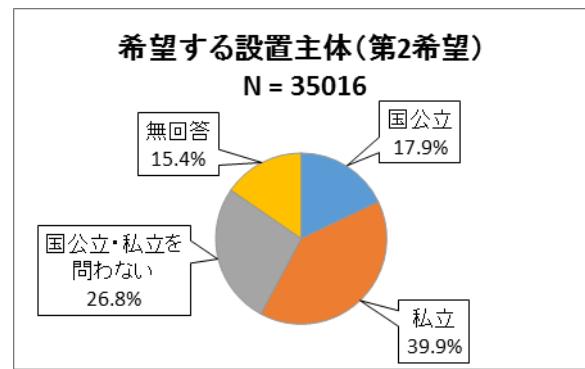
高校卒業後の進路



希望する設置主体(第1希望)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	国公立	16,424	46.9
2	私立	12,973	37.0
3	国公立・私立を問わない	5,485	15.7
	無回答	134	0.4
	N (%ベース)	35,016	100



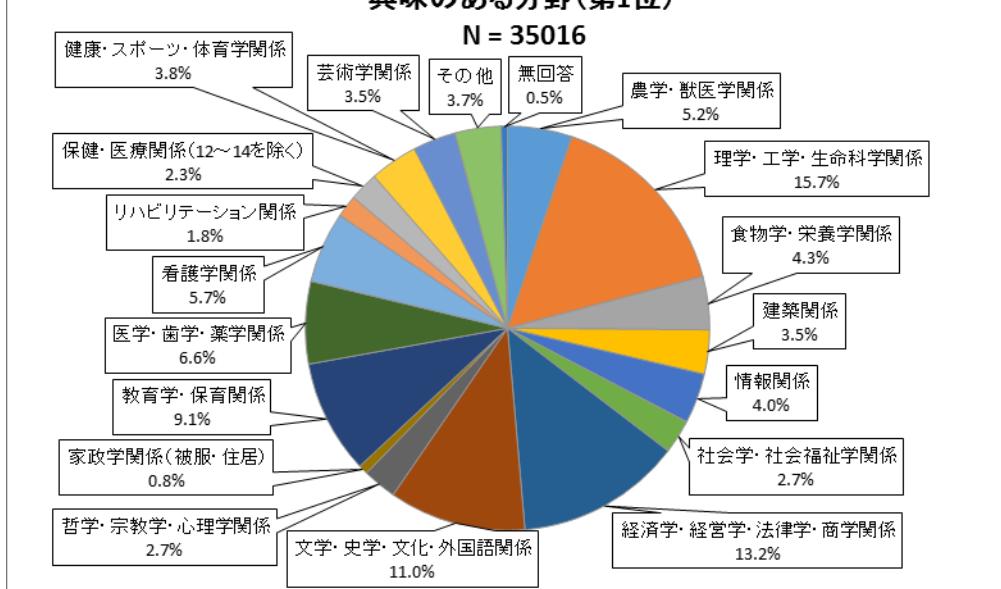
希望する設置主体(第2希望)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	国公立	6,272	17.9
2	私立	13,977	39.9
3	国公立・私立を問わない	9,376	26.8
	無回答	5,391	15.4
	N (%ベース)	35,016	100



興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農学・獣医学関係	1,807	5.2
2	理学・工学・生命科学関係	5,502	15.7
3	食物学・栄養学関係	1,489	4.3
4	建築関係	1,234	3.5
5	情報関係	1,402	4.0
6	社会学・社会福祉学関係	956	2.7
7	経済学・経営学・法律学・商学関係	4,638	13.2
8	文学・史学・文化・外国語関係	3,838	11.0
9	哲学・宗教学・心理学関係	948	2.7
10	家政学関係(被服・住居)	265	0.8
11	教育学・保育関係	3,189	9.1
12	医学・歯学・薬学関係	2,304	6.6
13	看護学関係	1,990	5.7
14	リハビリテーション関係	623	1.8
15	保健・医療関係(12~14を除く)	814	2.3
16	健康・スポーツ・体育学関係	1,346	3.8
17	芸術学関係	1,210	3.5
18	その他	1,286	3.7
	無回答	175	0.5
	N (%ベース)	35,016	100

興味のある分野(第1位)

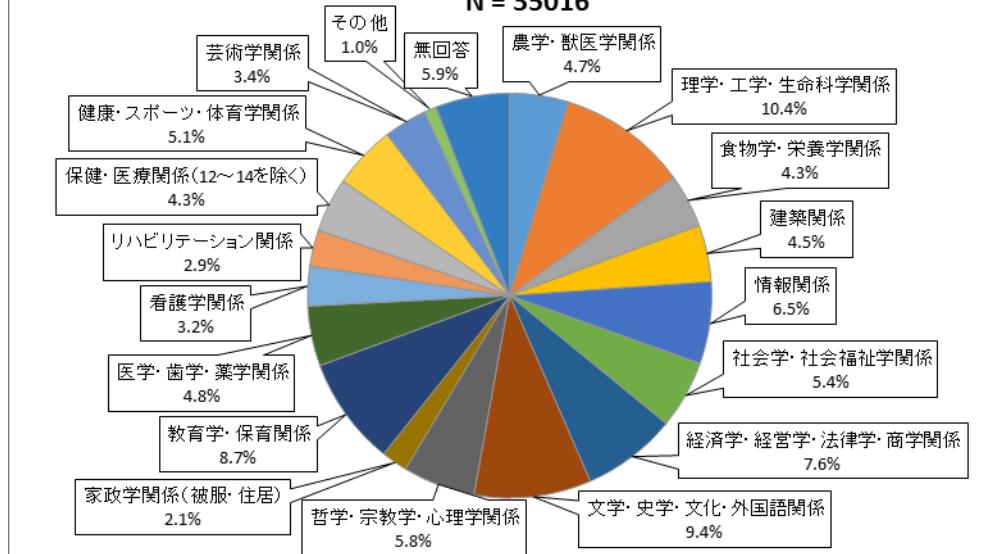


興味のある分野(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農学・獣医学関係	1,642	4.7
2	理学・工学・生命科学関係	3,635	10.4
3	食物学・栄養学関係	1,508	4.3
4	建築関係	1,587	4.5
5	情報関係	2,290	6.5
6	社会学・社会福祉学関係	1,908	5.4
7	経済学・経営学・法律学・商学関係	2,648	7.6
8	文学・史学・文化・外国語関係	3,281	9.4
9	哲学・宗教学・心理学関係	2,028	5.8
10	家政学関係(被服・住居)	732	2.1
11	教育学・保育関係	3,037	8.7
12	医学・歯学・薬学関係	1,678	4.8
13	看護学関係	1,106	3.2
14	リハビリテーション関係	1,013	2.9
15	保健・医療関係(12~14を除く)	1,522	4.3
16	健康・スポーツ・体育学関係	1,773	5.1
17	芸術学関係	1,202	3.4
18	その他	349	1.0
	無回答	2,077	5.9
	N (%ベース)	35,016	100

興味のある分野(第2位)

N = 35016

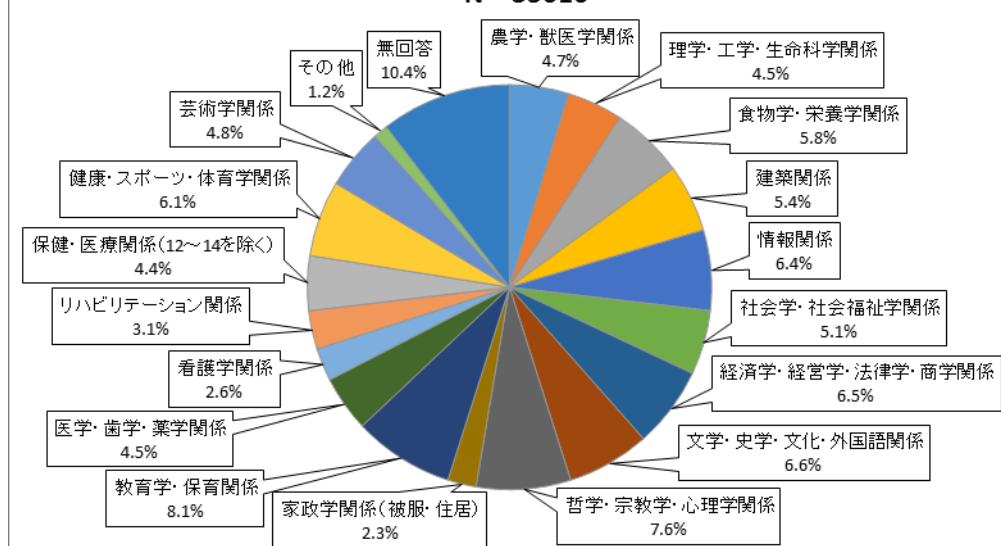


興味のある分野(第3位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農学・獣医学関係	1,652	4.7
2	理学・工学・生命科学関係	1,569	4.5
3	食物学・栄養学関係	2,040	5.8
4	建築関係	1,897	5.4
5	情報関係	2,243	6.4
6	社会学・社会福祉学関係	1,803	5.1
7	経済学・経営学・法律学・商学関係	2,265	6.5
8	文学・史学・文化・外国語関係	2,325	6.6
9	哲学・宗教学・心理学関係	2,644	7.6
10	家政学関係(被服・住居)	797	2.3
11	教育学・保育関係	2,822	8.1
12	医学・歯学・薬学関係	1,561	4.5
13	看護学関係	914	2.6
14	リハビリテーション関係	1,081	3.1
15	保健・医療関係(12~14を除く)	1,527	4.4
16	健康・スポーツ・体育学関係	2,125	6.1
17	芸術学関係	1,692	4.8
18	その他	404	1.2
	無回答	3,655	10.4
	N (%ベース)	35,016	100

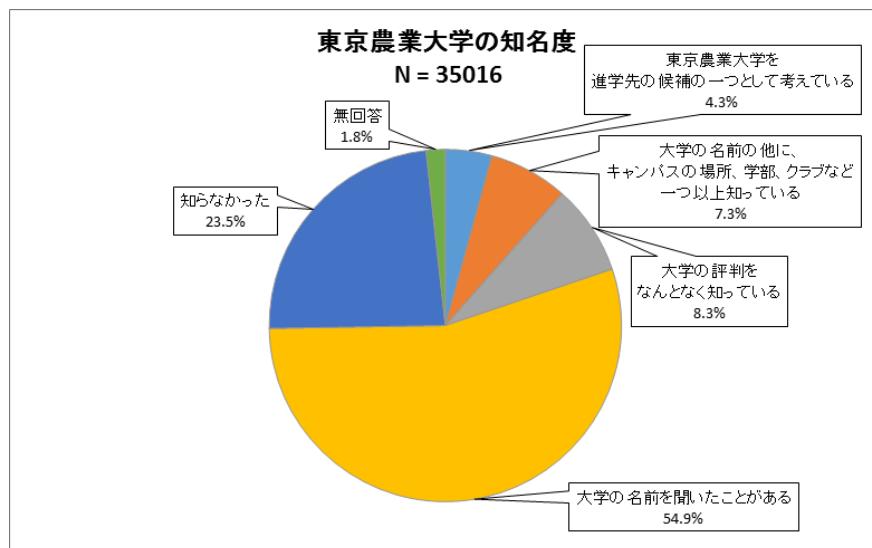
興味のある分野(第3位)

N = 35016



東京農業大学の知名度

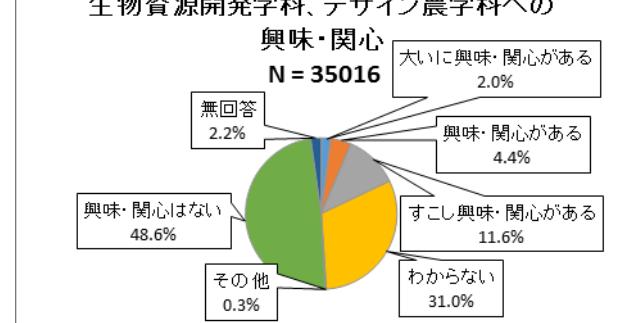
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている	1,495	4.3
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている	2,543	7.3
3	大学の評判をなんとなく知っている	2,900	8.3
4	大学の名前を聞いたことがある	19,234	54.9
5	知らなかった	8,231	23.5
	無回答	613	1.8
	N (%ベース)	35,016	100



生物資源開発学科、デザイン農学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	702	2.0
2	興味・関心がある	1,530	4.4
3	すこし興味・関心がある	4,053	11.6
4	わからない	10,846	31.0
5	その他	88	0.3
6	興味・関心はない	17,019	48.6
	無回答	778	2.2
	N (%ベース)	35,016	100

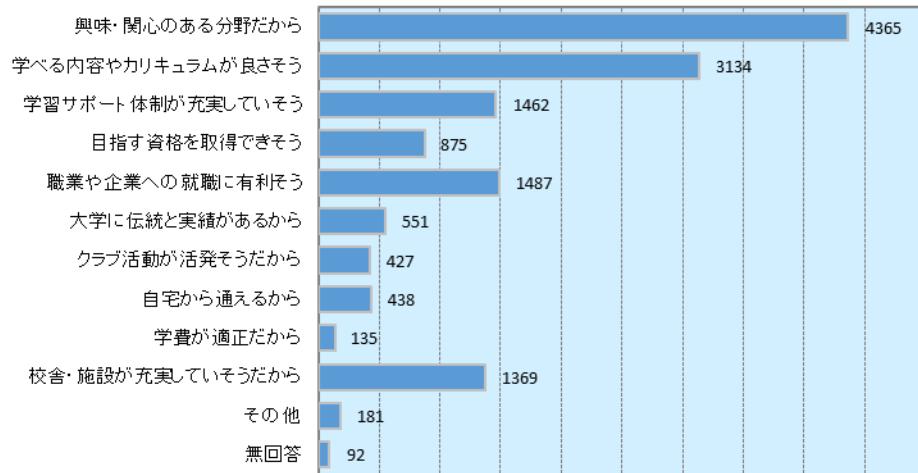
生物資源開発学科、デザイン農学科への興味・関心



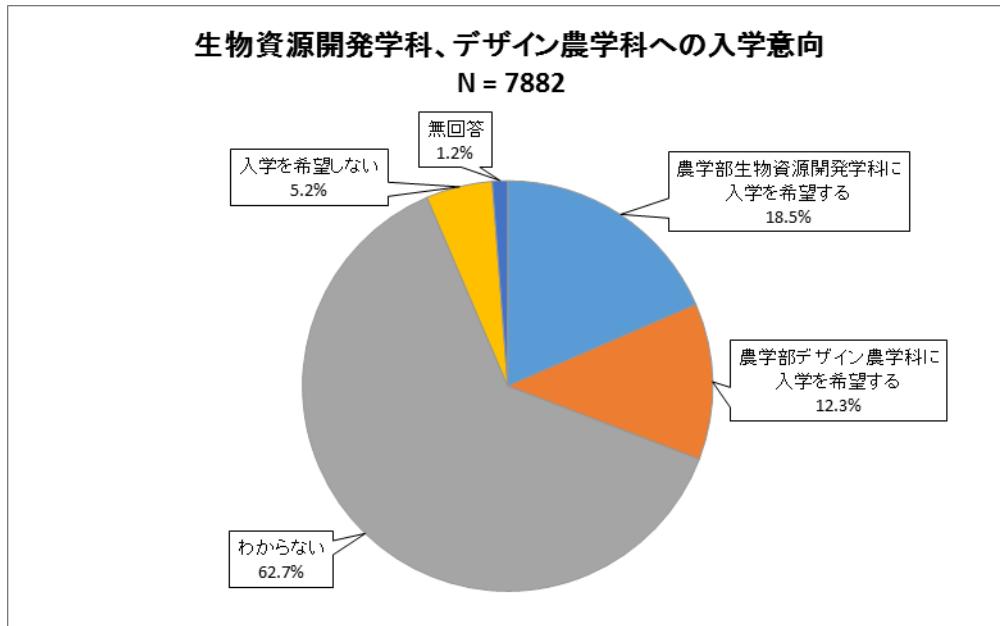
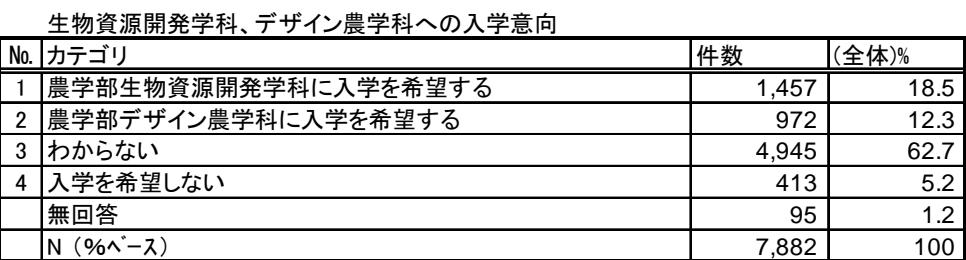
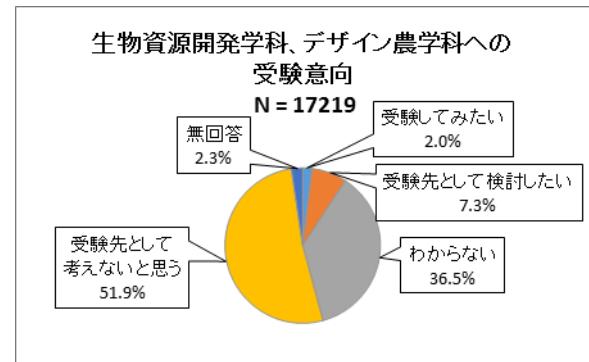
生物資源開発学科、デザイン農学科への興味・関心の理由(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味・関心のある分野だから	4,365	69.5
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	3,134	49.9
3	学習サポート体制が充実していそう	1,462	23.3
4	目指す資格を取得できそう	875	13.9
5	職業や企業への就職に有利そう	1,487	23.7
6	大学に伝統と実績があるから	551	8.8
7	クラブ活動が活発そうだから	427	6.8
8	自宅から通えるから	438	7.0
9	学費が適正だから	135	2.1
10	校舎・施設が充実していそうだから	1,369	21.8
11	その他	181	2.9
	無回答	92	1.5
	N (%ベース)	6,285	100

**生物資源開発学科、デザイン農学科への興味・関心の理由
(複数回答) N=6285**



生物資源開発学科、デザイン農学科への受験意向			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験してみたい	341	2.0
2	受験先として検討したい	1,257	7.3
3	わからない	6,284	36.5
4	受験先として考えないと思う	8,934	51.9
	無回答	403	2.3
	N (%ベース)	17,219	100



希望の“学び”がある大学を見つけ出そう！ 系統・分野別 index

この頁は、日本参加している大学を系統、分野別に紹介しています。自分の興味や得意をかせる学校選びをする事で、より充実したキャンパスライフが送れるはず。学びたい分野の項目に、その学問が学べる大学名、urus号が並んでいるので是非該頁を見てみましょう。

自分にあう高校選ぶためにには、多くの大学についていろんな角度から調べて、比較検討をしてみることが大切です。数学の大学回数を重視するほど、いろんなことが見えてきますよ。

地域をつなぎ、元気にある達人 地域コーディネーターになろう!

今、日本国内には過疎化や少子高齢化あるいは自然災害といった問題を抱え、衰退している地域が少なくありません。そうした地域の問題を解決し、「自然と人との共生」をテーマに持続可能な地域づくりを目指す学科が、来春、東京農業大学地域環境科学部に誕生します。その名は「地域創成科学科」。同学科の目標や学びについて宮林茂幸教授に伺いました。

※2017年4月開設予定

トータルな視点から「地域づくり」を考える

これまで地域環境科学部では、林学・農業工学・造園学という3つの學問分野から、山村・農村・都市部の地域環境や地域資源の保全・利用に関する教育研究を行ってきました。しかし近年、地域が抱える問題は、過疎化や少子高齢化、農業や林業の後継者不足、頻発する自然災害、里山破壊など地域の存続にかかわる総合的な課題が多様化しています。こうした問題を解決し、地域を再生し、持続的に発展させていくためにはどうすればよいのか。それを考えるのが地域創成科学科です。既存の學問分野を横断し、自然科学や政策学など文理を融合させ、トータルな視点から「地域づくり」を学びます」と宮林教授は説明する。

都市部に暮らす人にとって、農山村地域の問題はあまり身近に感じられないかもしれません。だが実際は、食料の生産、水資源の確保、さらに防災という点でも、農山村と都市部は深くつながっているのだ。「例えば、昨年9月の関東・東北豪雨では茨城県内で鬼怒川が氾濫し、多くの被害が出ましたね。でも、上流域の森林の土壌にもっと長い時間雨水をとどめておける保水力があれば、下流域の被害を軽減できたります。日本の河川は諸外国に比べて勾配がきつくて、さらく梅雨や台風があるため、洪水や土砂災害が発生しやすい。農林業を再生し、元気な地域を守ることは、都市部を自然災害から守ることでもあります」

地域創成科学科では、「自然再生」「地域マネジメント」という2つの研究分野を設置。生物多様性や生態系に配慮した土地の利用法・地域の防災力を強化する国土保全・管理技術、農業・林業・畜産を結びつけた新たな農村空間を創出する手法などを学び、安心・安全で、持続可能な地域づくりに貢献できる人材の養成を目指していく。

地域と地域を結び Win-Winな関係を

宮林教授は「地域再生」や「農山村と都市の交流」といったテーマを専門に研究し、地域をつなぐコーディネーターとしてさまざまな取り組みを行っている。その一つが、群馬県川場村と東京都世田谷区の「第二のふるさと」として親しまれています。

地域づくりの知恵はすごい

夏にはひまわり畑に変身。地域の人たちと一緒に川場村を訪れる宮林教授は、利根川の上流域で、世田谷区は利根川の水の恩恵を受ける下流域にある。一つの川を介してつながっている村民と区民と一緒に森林の手入れをするしくみを考え、川場村に世田谷区の里山を作ったのだ。「農山村には昔ながらの暮らしの知恵や、文化、伝統技術が息いているんです。例えば、炊飯器がなければ竹筒でご飯を炊く。鍼を忘れて畑に行ってしまっても、そのあたりに生えている、竹を切って、木を切って、つると石を使ってぱっと鍼を作ってしまう。そんな「自然と共生するための知恵」を村の人々に教えてもらなながら、区民が林業や農業、かやぶき体験などを楽しめるようにし、保全活動につなげていきました」

取り組みは実を結び、交流開始前は年間2~3万人だった川場村の観光客は、今や190万人にのぼる。その多くがリピーターだ。川場村は世田谷区民の「第二のふるさと」として親しまれています。

地域に足を運び 現場で学ぶ

まずは現地に足を運び、現地の人と交流し、ともに汗を流す。その中で地域の課題や資源を掘り起こし、データを集め。そして、そのデータをどのようにアレンジし、地域の活性化や新たなビジネスの創出につなげていくかを考えてデザインしていきます。卒業後の進路は、地方自治体の公務員をはじめ、農物流通業、観光・レクリエーション業、建設業、企業の環境貢献部などを想定しています。地域と地域をつなぎ、元気な地域をつくるコーディネーターとして、ぜひ活躍してほしいですね。

宮林茂幸教授

東京農業大学 地域創成科学科

東京農業大学「2016年度オープンキャンパス」

オホーツクキャンパス 7/30(土) 31日 10:00~16:00 (要予約)	厚木キャンパス 8/6(土) 7日 10:00~17:00 (予約不要)	世田谷キャンパス 8/7(日) 8月 10:00~17:00 (予約不要)
--	--	---

【プログラム】 学部マナビ探検、入試相談、学外バスツアー、在学生トーキング、保護者向け説明会など
連絡先: 0152-48-3814 入試課

【プログラム】 学科別マナビ体験、見学ツアー、模擬講義、キャリアライフ紹介、入試相談、学生生活相談など

【プログラム】 学科別マナビ体験、見学ツアー、模擬講義、入試対策講座、キャリアライフ紹介、学生の取り組みの紹介など

詳細はHPをご覧ください。

食農プロデューサーが 社会を変える

2013年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本の伝統的な食文化に対する注目が高まっています。こうした日本の「食」と「農」の価値を国内外に発信し、日本を元気にすることを目指して、来春、東京農業大学 国際食料情報学部に「国際食農科学科*」が誕生します。

同学科の学びについて上岡美保教授に伺いました。

*2017年4月開設

生産から消費までを
トータルに学ぶ

国際食農科学科では、「農」と「食」、すなわち農産物の「生産」から「消費」までのプロセスをトータルに学ぶ。「1・2年次で農業生産技術、食品の加工・商品開発技術、販売・マーケティング、食農文化・食育の基礎などを一通り学び、その中から興味のある分野を選んで3年次から研究室で研究を深めていきます。座学だけでなく実践を重視し、実験や実習、アーミストイなどを数多く実施。大きな特徴は、農学や食品科学といった自然科学に加えて、経済学や経営学などの社会科学、地域の文化や歴史といった人文科学を融合し、多角的にアプローチすること。非常に学びの幅が広い、欲張りな学科といえるかもしれません」と上岡教授は笑う。

文化や歴史が食と農にどう関わるのか、疑問に思う高校生もいるかもしれないが、実はそれが、農業や地域に新たな価値やビジネスを生み出すカギなのだろう。最近、農作物を使って新たな食品を開発し、地域の活性化につなげようとする取り組みが増えています。でも、単にこの農作物がたくさんとれるから食品にしました、ではうまくいかない場合がある。なぜその農作物がその地で作られ食べられたのか、どんな由来があるのかといった、消費者の心をつかむ「ストーリー」が必要なのです。

例えば、新潟県佐渡市では「朱鷺(とき)と暮らす郷(さと)」と名付けられたコシヒカリが生産されている。トキは国の特別天然記念物。かつて佐渡には野生のトキが生息していたが、環境破壊や乱獲により絶滅してしまった。そこで、トキの野生復帰を目指し、エサとなるさまざまな生物が暮らす生態系の復元に取り組んだ。水田への農薬や化学肥料の使用を抑え、雑草は手で抜く。そうした昔

ながらの農法で栽培されているのが、このお米だ。さらに、収穫が終った冬も水田に水をはり、トキのエサ場を確保。こうした努力が実り、トキは再び佐渡の空によみがえった。生きものを育む農法で作られたお米だから、人間も安心して食べることができる。なお、この取り組みは世界からも高く評価され、2011年、佐渡市は世界農業遺産^{※1}に登録された。

生産の背景を伝え
消費者の意識を変える

このお米は栽培に手間がかかるだけに、価格も少々高い。しかし、大量生産・大量消費の時代が終わり、食の安全・安心への関心が高まる今、農産物の背景にあるこうしたストーリーに価値を見出す消費者が増えているという。ちなみに、このお米の売上の一部はトキの保護基金に寄付されているそうだ。

消費者にとって価値の安さは確かに魅力だ。でも、それだけではない「農のさまざまな価値」を伝えていくことで、消費者の意識や行動を変えられると、上岡教授は言う。こうした消費者に対する「食農教育」が、上岡教授の研究テーマの一つだ。「買う人が増えれば生産者はもっと作ろうと思うはずです。農作物の国内生産、国内消費を喚起することは、食料自給率の向上や日本の農業を守る

ことにつながります。さらに、国産農産物の積極的な生産・消費拡大は、環境問題の解決や、伝統文化の継承、地域経済の活性化などにも寄与します。日本の農業は、後継者不足や安い輸入農作物の増加など厳しい状況に直面していますが、生産者だけに努力を求めるのではなく、消費者自身が変わることで、現状を改善できる可能性は大きいあるのです」

食農の新たな価値を
創る人材を育成

消費者の意識を変えていくためには、農業生産の背景を理解し、正しい情報を発信していくことが不可欠だ。上岡教授の研究室では、生産者が都市部で農産物を直売する「マルシェ」に定期的に足を運び、販売のサポートや消費者ニーズの調査を行っている。

「生産者のものづくりにかける思いと、都市に暮らす消費者が食や農に求めていること。その両方を聞き取り、両者に伝えることで、消費者は自分たちが欲しいと思う農産物を手にできるようになるし、農業・農村も活性化していく。消費者と生産者、都市と農村をつなぐことで、双方にメリットをもたらすWin-Win(双赢)な関係を築くことができるのです」

同学科では、こうした連携を推進するコーディネーター、「食の6次産業化プロデューサー*2」などの食農振興を支援する人材、食農事業や食農教育に携わる人材の育成を目指している。「食農科学は社会を変える大きな力をもつ学問です。この学科で一緒に学び、地域を、日本を元気にしていきましょう！」



上岡
美保
教授

東京農業大学
国際食農科学科
学部

体感! 東京農大/
収穫祭
受験生必見!
進学説明会も開催



谷底張りは学科で
食・農のプロになろう



オホーツクキャンパス …10/9日・10日 予約
進学説明会とキャンパスツアーは10/9のみ実施(10:00~15:00)要申込

世田谷キャンパス ……10/28金～30日 予約不要
進学説明会は10/29・30のみ実施(10:00~16:00)入退場自由

厚木キャンパス ……10/29土・30日 予約不要
進学説明会(10:00~16:00)入退場自由

※1・世界農業遺産：国連糧農業機関(FAO)が2002年より開始。次世代へ継承すべき重要な農法や生物多様性を有する地域を認定するもの。
※2・食の6次産業化プロデューサー：生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、食分野で新たなビジネスを創出する人。

更多…こちらの受験生向けイベントは予約が必要です。なお、オホーツクキャンパスのイベントは旅費の一部補助制度もあります。連絡先は0152-48-3814(オホーツクキャンパス入試課)

IPSC細胞の開発者である山中伸弥先生の功績を始め、21世紀は生命科学の世纪ともいわれます。今生命科学が注目されている理由を教えてください。

IPSC細胞の開発者である山中伸弥先生の功績を始め、21世紀は生命科学の世纪ともいわれます。今生命科学が注目されている理由を教えてください。

IPSC細胞の開発者である山中伸弥先生の功績を始め、21世紀は生命科学の世纪ともいわれます。今生命科学が注目されている理由を教えてください。

IPSC細胞の開発者である山中伸弥先生の功績を始め、21世紀は生命科学の世纪ともいわれます。今生命科学が注目されている理由を教えてください。

IPSC細胞の開発者である山中伸弥先生の功績を始め、21世紀は生命科学の世纪ともいわれます。今生命科学が注目されている理由を教えてください。

IPSC細胞の開発者である山中伸弥先生の功績を始め、21世紀は生命科学の世纪ともいわれます。今生命科学が注目されている理由を教えてください。

IPSC細胞の開発者である山中伸弥先生の功績を始め、21世紀は生命科学の世纪ともいわれます。今生命科学が注目されている理由を教えてください。

農と生命を科学して社会に貢献する人材を育成

21世紀の人類は「食料」「環境」「健康」「資源」エネルギーなどのさまざまな問題に直面している。その解決につながる学問として、世界中で活発に研究が進められているのが生命科学だ。なぜ今、生命科学なのか？そこで2011年4月新たに「生命科学部」を開設する東京農業大学の応用生物科学部バイオサイエンス学科教授・矢嶋俊介先生（2017年4月より生命科学部長就任予定）に、生命科学の魅力と、東京農大ならではの生命科学研究の醍醐味についてお話を伺った。



21世紀の鍵を握る生命科学とは？

ゲノム計画は先進5カ

国が10年を費やして挑んだ国際プロジェクトでした。が、現在の解析装置とコンピューターを使えばわずか1ヶ月ほどで解明できてしまします。

近年の科学技術の進歩によって、IPSC細胞や蛍光タンパク質などのように革新的な発明等が前のことです。クローリングのドリーやヒトゲノム計画が登場した頃で、ちょうど東京農大でも应用生物科学部を設置しバイオサイエンス学

科」を設立した時期となりました。遺伝子研究をきちんとやっていくういう東京農大の取り組みは、当時としては先進的な試みでした。

具体的には「分子生物学」も、「微生物の働きを広く研究する学科」として、「分子生物学」ではバイオプラスチックなどの新しい高分子を創りだすといった研究も視野に入っています。

会人に「生命科学分野の研究を支えているのは、解析技術の進歩なんです。」

たのめで、最初の2年間博士前期課程)についてます。就職に関しても、報科学ではコンピューターを扱います。興味関心をステップにしてプラ

スアルファの力を身につける環境が生命科学部には整っているので、自分

のやりたいこと、知りたいことを持て入学してもらえるといよいよです。

21世紀の人類は「食料」「環境」「健康」「資源」「エネルギー」などのさまざまな問題に直面している。その解決につながる学問として、世界中で活発に研究が進められているのが生命科学だ。なぜ今、生命科学なのか？そこで2011年4月新たに「生命科学部」を開設する東京農業大学の応用生物科学部バイオサイエンス学科教授・矢嶋俊介先生（2017年4月より生命科学部長就任予定）に、生命科学の魅力と、東京農大ならではの生命科学研究の醍醐味についてお話を伺った。

東京農業大学 生命科学部にも、もちろん「実学主義」のお聞かしていませんが、生命科学部では何をどのように学んでいくことになるのでしょうか？

東京農大の理念は「実学重視かつ、実践的であります。しかし、生命科学部では、繰り承ります。その理念は、これまでの実験・演習の豊富さで、例えは「分子生物学」では、1年次から基礎実験が始まります。また、東京農大は北海道から沖縄に至るまで各地に広大な農場を持っています。そこで、さまざまな形で利用できるのも大きなメリットです。そうした環境や演習など、多くのアプローチは、理工系に並ぶカリスマムです。応用生物学部にも「生物応用化学科」がありますが、このらは長い歴史を持ち、食料生産に関わる農芸化学部でも「生物応用化学科」があります。一方「分子生物学」では、バイオプラスチックなどの新しい高分子を創りだすという研究も視野に入っています。

たのめで、最初の2年間博士前期課程)についてます。就職に関しても、報科学ではコンピューターを扱います。興味関心をステップにしてプラ

スアルファの力を身につける環境が生命科学部には整っているので、自分

のやりたいこと、知りたいことを持て入学してもらえるといよいよです。

たのめで、最初の2年間博士前期課程)についてます。就職に関しても、報科学ではコンピューターを扱います。興味関心をステップにしてプラ

スアルファの力を身につける環境が生命科学部には整っているので、自分

生命科学部 各学科の予想される進路

①バイオサイエンス学科

大学院進学(32.2%) 就職(60.8%) 内訳: 食料品製造業(17.0%)、サービス業(13.2%)、情報通信業(9.5%)、卸売業(8.6%)、公務員(8.6%)等。

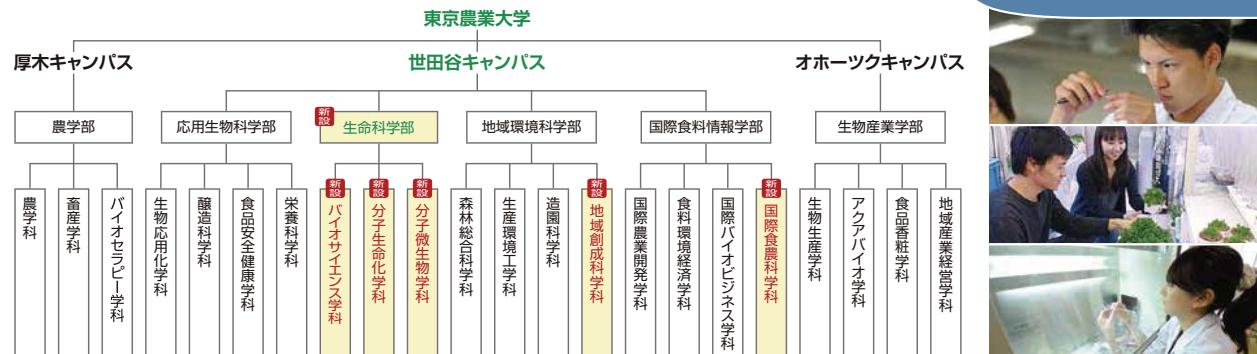
②分子生命科学科(展望)

製薬、化成品、高分子、香料、化粧品、農薬、材料などの化学に関する幅広い業界。その他、企業の総合職、農業分野、公務員、教員。1/3が大学院へ進学(見込)。その後、研究職、開発職へ。

③分子微生物科学科(展望)

医薬品開発、検査、品質管理、食品原料の生産、バイオマス生産、環境浄化等を目的とした企業の企画・商品開発部門、研究機関。情報産業、福祉・看護部門、公務員、教員等。1/3が大学院へ進学(見込)。その後、研究職、開発職へ。

「農のこころ」を育み、「生きる」を支える。



2017年4月の「生命科学部」開設を始め、「生きる」を支える農学の進化に挑戦し続けている東京農業大学。「命」「食料」「環境」「健康」「エネルギー」「地域創成」をキーワードに6学部22学科の多彩な学びの場を提供する同一大学が、今回注目するのは農学を「化学」の視点から探究する「応用生物科学部」。学部長の上原万里子先生に、応用生物科学部の4学科の魅力をお聞きした。

東京農業大学
PRESENT #2
応用生物科学部
特別インタビュー

『生きる』を支える 応用生物科学の力



東京農業大学
応用生物科学部
食品安全健康学科 教授
上原 万里子 先生

1988年 東京農業大学・大学院・農業研究科・農業専攻 博士後期課程修了後(慶應博士) 同大学 農学部栄養学科助手、講師、助教授、フィンランド・ヘルシンキ大学・医学部 博士研究員(遺伝生化研究室)、応用生物学部・栄養学科准教授、教授を経て、平成26年4月より新設の食品安全健康学科に異動し、「食と農」の博物館長を兼務後、平成26年4月より応用生物科学部長。

東京農大の理念は「実験や実習は多いのでしょうか?」
東京農大の理念は「実験や実習は多いのでしょうか?」

豊富な実験・実習で即戦力としてのスキルを磨く

を選択した学生の中には、化学が苦手という人もいるかもしれません。本学では入学直後に基礎化學と基礎生物学の試験を行いますので、そこで基礎点に達していない場合、リメディアル授業を受けることができます。

受けることができます。

実験を行いますね。例えば、

山手線新型車両「E235系」
ADトレイン 実施報告書

2016.11.2

jeki 鋼ジェイアル東日本企画

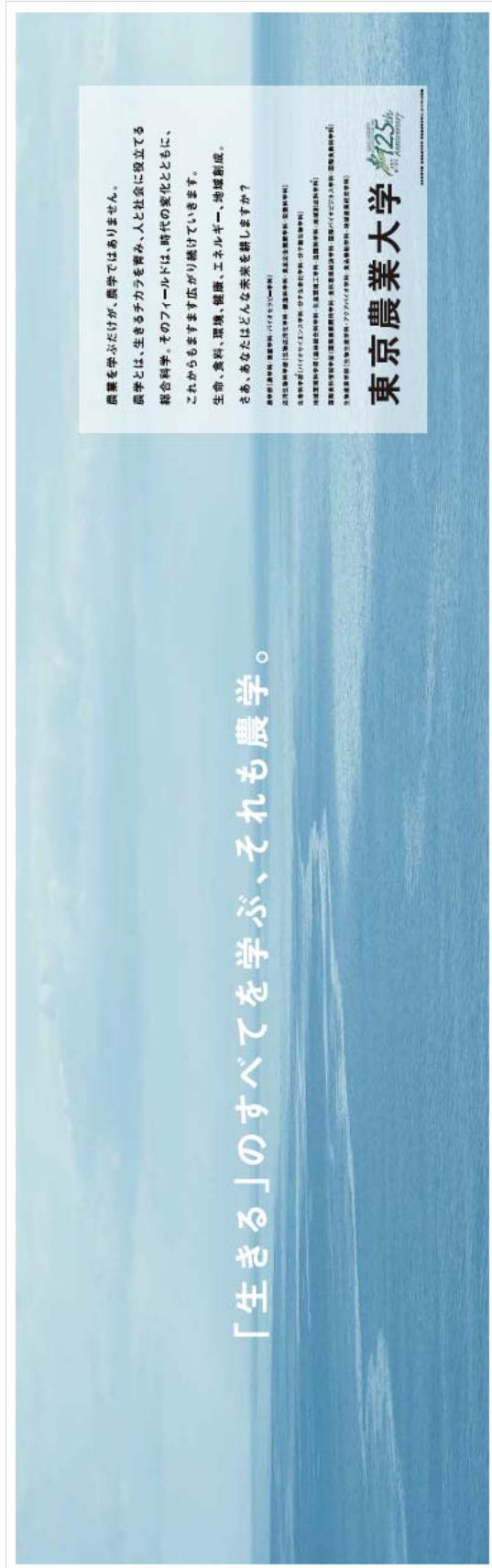
展開概要

- ユニット名 山手線新型車両 E235系ADトレイン
- 日程 2016年10月18日(火)～11月2日(水)
- 広告内容 東京農業大学プランティング 「〇〇を学ぶ、それも農学。」
- 制作物 <ポスター> 中づりワイド 2種類
ドア横新B 6種類
- <ムービー> まど上チャンネル(3画面)
トレインチャンネル・サイドチャンネル(1画面)



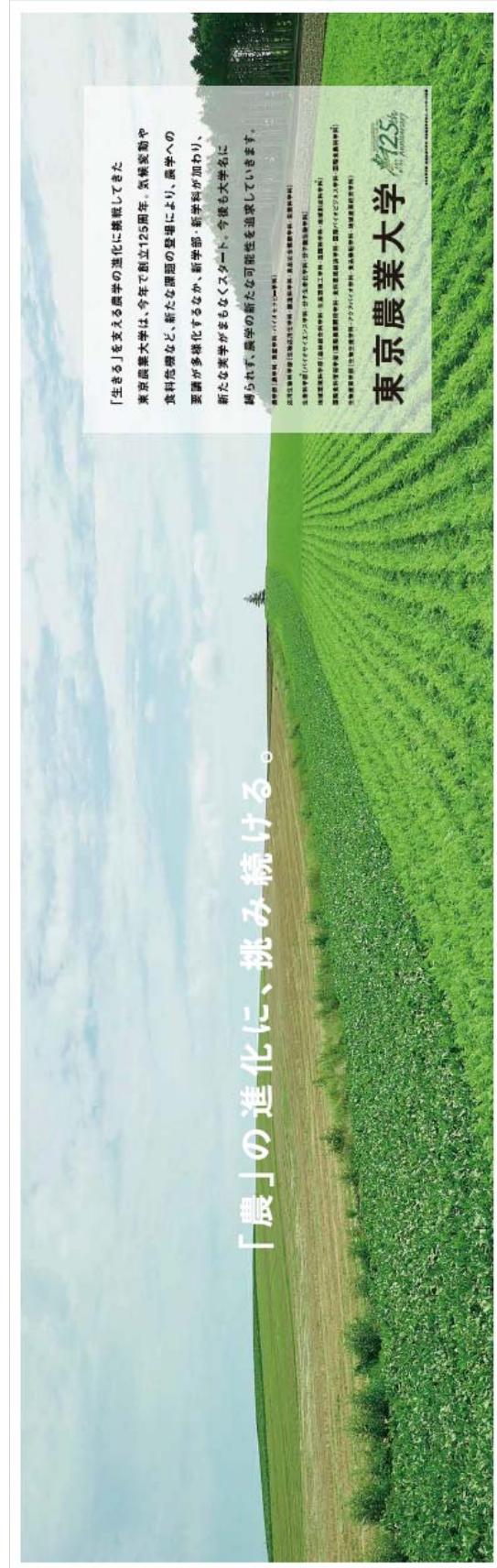
制作物一覧

■中づり　掲出枚数 132枚



農業を学ぶだけが、農学ではありません。
農学とは、生きるチカラを育み、人と社会に役立てる
総合科学。そのフィールドは、時代の変化とともに、
これからもますます広がり続けていきます。
生命・食料・環境・健康・エネルギー・地域創成。
さあ、あなたはどうな農業を耕しますか？

東京農業大学 125th Anniversary



東京農業大学 125th Anniversary

制作物一覧

■ドア横新B 掲出枚数 218枚

農学部

応用生物科学部



玉虫から
生まれた
魔法の色。



世界に
誇る
乳酸菌の
ふるさと。

生命科学部

化学で
生き物の
ことばを翻訳。



空飛ぶ
森の
調査隊。



「風の変化に、読み解ける。
東京農業大学

制作物一覧

■ドア横新B

生物産業学部



国際食料情報学部



■動画 まど上チャンネル(3画面) 3'59" 全180面



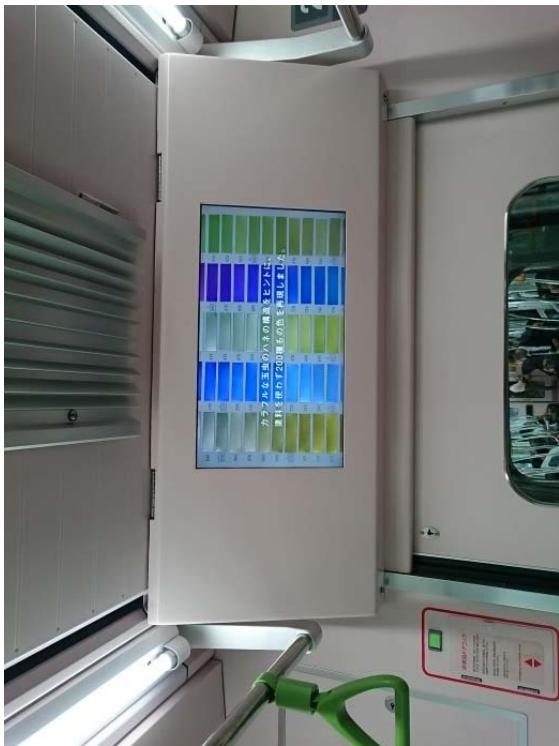
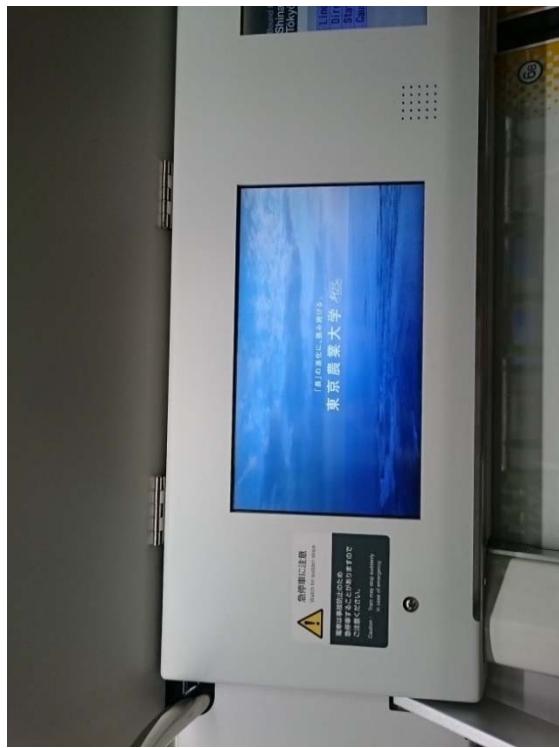
制作物一覧

■動画 トレインチャンネル・サイドチャネル(1画面) 3'13" トレインチャンネル全88面 サイドチャネル全20面





掲出モニター



SNSでの反応

KOGAWA @ichirokogawa 18時間前 私めて山手線のE233系に乗ったんだけど、東京農大の車両に心地よくジャック。攻めてるなあ。でも興味津々で見入ってしまった。

小出教子 @amanojaku66 1日 山手線(=車両だけ?)東京農大に心地よくジャック。攻めてるなあ。でも興味津々で見入ってしまったんだ。
けど、東京農大のセンスのいい広告に感心させられた。

ガヤ @gavayanki 20時間前 山手線の広告が全面農大でビビった。金使ってるなあ

なまなま @namahananan 20時間前 山手線の車両でモニターばかりの車両ある。なんかすごいな!どこにいても動画観れる!農大の広告しか流してないみたいやけど。

Fujio Maruyama @maruyama097 21時間前 山手線の中で偶然見た、三連のスクリーンを使った東京農大のCMが面白かった。すいぶんお金もかかっているのだろうが、いいな、この未来感。大学を強調して、人類にとって価値のある仕事をしようと言っているようだ。

ワタノレ @watanorei 21時間前 山手線新車両乗つたら車両中36個ディスプレイがある!! 色んな文字と写真がゴッチャになつた広告が無くなつてだけでもスッキリなのに、流れてる東京農大の映像も綺麗でいい感じ。このディスプレイが今後誰かがパンコの広告で汚されないといいな。ここまできたら吊り紙広告は外してほしい。

まりむら @Malmiura 3日 山手線の東京農大の広告かっこいい。中身もめっちゃ面白そう。玉虫かわいい。理系に強い人間に生まれたかった。。。。

c.n.raran 3日 山手線乗つたんだけど、抹茶色のつり車・座席に一面まみどりの農大の広告が吊られてて、車内ビジョンでも緑が多い農大ムービーが流れているんとかもうアオムシを連想するレベルで緑

はじち @haslily 1日 新型山手線をジャックしている東京農大の広告がイカク! 3連ビジョンをしっかり効果的に使っていて見入ってしまう。

いがらっちょ @iglumi 1日 山手線1台まるごと農大!しかもセンスいい。つり車が畠だから偶然だと思うけど植物みたいで良い。新聞に高い広告出すくらいならドカンと一発の好例

クラバ @9000_Tc 2日 「農大が山手線の新型車両で広告ジャックをやってる」って話を聞いてびっくりこいでいる。農大すげえな(

yara @scrarian 3日 山手線のつり革が緑色と思つたら車両内が東京農大にジャックされてるw [pic] -

Reviving oppappy 1.11 @yuui1504 6日 今日は山手線の新型車両に乗れた。車両真ん中の荷物置きの上に液晶が3つあって、東京農大の宣伝してたらから、降りるまでずっと見てた。ダメムシの外骨格を応用した、色彩鮮やかな食器欲しいわ。どこで買えるんだろう。

hitomi0927_9 4日 山手線乗つたら広告全部が農大になっている..笑

vodka118 @vodka118 4日 東京農業大学山手線に乗つている。農大、考えたことももあつたなー、高校生のとき。

美樹 @miki0127 vivid 4日 山手線乗つたら広告全部が農大になつてる

● いいね 1106件 c.n.raran 農大が山手線広告ジャックしている電車 昨日乗れた。 #農大 #広告ジャック ... 続きを読む

ponchh1021 #食料不足に立ち向かうやマイモ ponchh1021 流行らせたい笑

● いいね 13件 hitomi0927_9 農大が山手線広告ジャックしている電車 に、このせいで心拍0? www #山手線#広告#農大#東農大#東京農業大学#朝から目

表

キャンパスツアーナー特別講義(世田谷キャンパス)

農学から見るお米

農 Rice 農 Future

2016 6.12 SUN / 6.26 SUN

※一部日程により講義内容が異なります。



1 味の決め手は、精米にあり!
コメ1粒の割り方で、ご飯や清酒の味が変わる。“精米を制するものは、味を制する”

2 “おいしい”的ミツ
あなたが「おいしい」と感じるワケは、実は化学で解明できる。

3 美しいコメの世界
食べるだけのないコメの役割とは…きっとコメの見方が変わるはず。

4 変幻自在なコメ
ご飯とお餅は同じコメからできているのに、状態も食感も異なる。
コメの多様な特徴を探ります!

5 コメも植物です
イネはどのようにコメを作っているのでしょうか。そのヒミツに迫ります。

6 最近、お米食べてますか?
年々減少する米の消費量。現代の日本のお米事情について少し考えてみませんか。

7 コメを醸す
ニッポン伝統の醸造発酵食品の世界をぜひご覧あれ。

8 コメから生まれた栄養学・食品学
ビタミンはコメから見つかったって知ってる?
コメを利用した新しい食品も作られており、まさにコメは研究の宝庫!

東京農業大学
Tokyo University Of Agriculture

東京農業大学 キャンパスツアー 2016

2016年 6月12(日)・6月26日(日) ※両日共に10:00～16:00
※世田谷キャンパスのみ実施

イベント内容

キャンパスツアー

研究室や実験室を学生ナビゲーターがガイドツアー形式でご案内!
3コースの中から自分が興味のあるコースを選んでね。

在学生トークブース

在学生と直接話ができるブースを設置。学生生活や受験勉強のことなど、
実際に経験した先輩だからこそ話せる情報がたくさん!ぜひ生の東京農大生の声を聞きにきてください。

入試ガイダンス

2017年度の最新入試情報をご案内いたします。

特別講義 (各回1時間)

身近な食材である「米」をテーマに、様々な学科が読み解きます!

6月12日(日)

6月26日(日)

10:45 ~ 景観 × 食感	10:45 ~ イネ × 栄養と健康
12:00 ~ 精米機 × ごはん	12:00 ~ 精米機 × 米麹
13:15 ~ 経済 × イネ	13:15 ~ 景観 × 起源
14:30 ~ 起源 × 栄養と健康	14:30 ~ 米消費 × 食感

※日程により講義内容が異なります、詳細はHPにて。

問い合わせ先

東京農業大学 世田谷キャンパス 入試センター

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 TEL:03-5477-2226 / FAX:03-5477-2615

<http://www.nodai.ac.jp/>

東京農大

検索

皆様へ

タイラグラム

文化学術展

模擬店

みこし投票

ステージ企画

体育祭

協賛企業

進学説明会



1号館6階

学科別個人相談会

「あの学科とこの学科の違いは?」「こういう勉強がしたいんだけど、この学科でいいの?」「この学科の研究の楽しさを教えてほしい」そんな質問に各学科の先生たちが答えます。

資料展示

推薦入試用小論文用紙
入試の過去問題・解答用紙の展示など



農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂

入試説明

入学試験を突破するためのポイントは?
「一般入試」「センター試験利用入試」と、目前に迫った「推薦入試」について、入試センターのスタッフが解説します。

オホーツクキャンパス

紹介コーナー

横井講堂前にオホーツクキャンパス(北海道)紹介コーナーを開設し、オホーツクの教職員・在学生が展示・紹介をします。

【お問合せ先】 入試センター（農大アカデミアセンター1階）
TEL：03-5477-2226
FAX：03-5477-2615

333名の大学教授による 学問の講義ライブ



とても面白い！



で分かりやすくあらためた学問講義ライブの一冊を多ナライ化ガイド(<http://universitylive.jp>)から動画版で見ることができるよ。



テーマや希望している学部・学科の講義ライブをどんどん受講すれば、きっと学びが豊かになります！



それでも君は学び人には勝手がわかるよ！



多民族・多文化の可能性を見る



子どもがわかる、尼姑部の男の子が見える



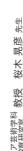
金の財政の裏側、法と法律の裏側



コンピュータの裏側を見せる激しい攻防



英語で世界を学ぶ



コミュニケーションの裏側



ハリボンタの魔法



音楽の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



経済の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



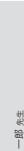
政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



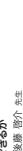
社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側



生物学の裏側



社会の裏側



政治の裏側

生物学の裏側

社会の裏側

政治の裏

夢ナビライブに参加しよう!



夢ナビライブ特設サイトから事前に参加申込みをして、カンタン入場!
当日、参加申込書を記入する必要がないので、スムーズに入場できます。

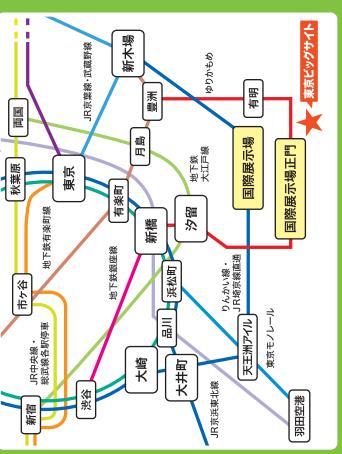
<http://yumenenavi.tokyo> 夢ナビライ 参加大学や講義ライフ、またびステーションなどの詳しい情報に加え、

当日の直接参加もOK!

参 加 大 学 や 講 壇 ライブ、まなび

*イベントバփフレットは一部の高年学年や予備校なども配付し

ACCESS 東京ビッグサイト 東3・4・5・6ホール



テレメールカスタマーセンター 萬能ナビライブ係 050-8601-0102 (受付時間 9:30~18:00)
※イベント当日の駐車料金は整備料金が予め支払われる事で、さらなる料金は不要です。あくまでも交通規制をご利用ください。

大学説明会		各大学の担当者が各自の特徴を 3分間でわかりやすく説明します。	
時限	講義タイトル	大学名	概要説明
1時間目	講義タイプI	大阪府立大学	農業・工芸の力で世界の問題を解決しよう! 東京農業大学 未来を構築する、筑波大学の今日と明日。[明日]
2時間目	講義タイプII	東邦大学	東邦大学 大学案内入試説明会 東邦大学で学びたいへん 世界を知り、日本で鍛錬・よくくつこーせ! 海外個別大学紹介会 NRI(国際情報大学)
3時間目	講義タイプIII	京都府立大学	千葉工業大学 電気通信大学 新潟大・附属大・専門大(併設)「2017年開校決定」での新しい学びの紹介 ICU(イビズ)が運営
4時間目	講義タイプIV	千葉工業大学	千葉工業大学 電気通信大学 新潟大・附属大・専門大(併設)「2017年開校決定」での新しい学びの紹介 新潟大学 HUC(ハーバード・ウエスト・カレッジ)
5時間目	講義タイプV	首都师范大学東京 世耕アート101による初代大学案内&東京農業大学の教育改革などへ話題	海外留学、どう選択? 将来につながる英語力の留学とは? 英語の力をどう活かせるか? O/A/E/G... 英語の力で何ができるか? 中央大学 大学案内 東洋英和文理大学 大学案内 入試説明会
6時間目	講義タイプVI	東洋大・東洋文理大	英語の力で何ができるか? 中央大学 大学案内 東洋英和文理大学 大学案内 入試説明会
7時間目	講義タイプVII	立教大学	難易度で学ぶ! がんばれ! これがわかる学習法 大学入試改革の今とこれから 大学案内
8時間目	講義タイプVIII	立教大学	保護者に向けて知っておきたい大学入試の基本的な仕組みなどを、専門性豊富な講師が解説している担当者が運営チャーターします。
時限	講義タイプI	大学名	概要説明
1時間目	講義タイプII	立教大学	難易度で学ぶ! がんばれ! これがわかる学習法 大学入試改革の今とこれから 大学案内
2時間目	講義タイプIII	立教大学	難易度で学ぶ! がんばれ! これがわかる学習法 大学入試改革の今とこれから 大学案内

	各講義とも満席となる場合がありますので、確実に着席して受講したい講義は事前に申し込んでおくと安心です。	http://yumenavi.tokyo
	各講義とも満席となる場合がありますので、確実に着席して受講したい講義は事前に申し込んでおくと安心です。	http://yumenavi.tokyo
	各講義とも満席となる場合がありますので、確実に着席して受講したい講義は事前に申し込んでおくと安心です。	http://yumenavi.tokyo

歩き方ガイド

とき：2016年6月18日（土）13時～18時30分 ところ：東京ビックサイト・西3

IN TOKYO BIG SIGHT
2016
BRIGHT FUTURE

キーワードから、自分の知りたいことを探してみよう！
それぞれのキーワードに沿って、大学のゼミ・研究室を体験することができます！



みんながアクションの流れ



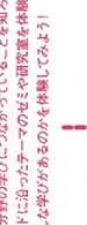
気になるキーワードを選ぼう。

10個のキーワードは、きっと身近に感じるキーワードばかり。
キーワードの好きなことや興味のあるものを選んでみよう！



キーワードから興味のある
ゼミ・研究室を選ぼう！

一つのキーワードは、
いろんな分野の学びにつながっていることを知ろう！
キーワードに沿ったテーマのゼミや研究室を複数。
どんな卒業研究のかを体験してみよう！



いろんな体験を通して、
学びの広がりを知ろう！

一日でいろんな学びができるチャンス！
これまででなかったキーワードの中でも自分の興味があるかもしない。
興味のある学びがあるかもしない。
いろんな体験を通して、
道筋選びのヒントを見つめよう！

ゼミ体験型

各ブースごとに
タイムマープルがあり、
実際の授業のようにゼミを
体験することができます。
これまででなかったキーワードの中でも自分の興味があるかもしない。
興味のある学びがあるかもしない。
いろんな体験を通して、
道筋選びのヒントを見つめよう！

出展校名

セミ・研究室テーマ

キーワード

① 亞細亞大学

② 上野学園大学

③ 神奈川大学

④ 国立音楽大学

⑤ 首都大学東京

⑥ 戸田女子短期大学

⑦ 東洋大学

⑧ 東洋英和女学院大学

⑨ 武蔵野美術大学

⑩ 芝浦工業大学

⑪ 芝浦工業大学

⑫ 駒澤女子大学

⑬ 東京家政学院大学

⑭ 東京工科大学

⑮ 日本工業大学

⑯ 路見学園女子大学

⑰ 春季大学短期大学部

⑲ 墓

⑳ 文理学院大学

㉑ 法政大学

㉒ 麻布大学

㉓ 東京有明医療大学

㉔ 日本薬科大学

㉕ 共立女子大学、

㉖ 清池大学

㉗ 東京農業大学

㉘ 洗足学園音楽大学

㉙ 帝京科学大学

㉚ 城西大学

㉛ ブリ

㉜ リカナル

㉝ 2020年 招社

㉞ て NIPPON を喜びよう！

㉟ 田の力

INDEX

ゆめみらいワークの会場で出会える
企業や職種、学校をみてみよう。

キーワード	ページ
交通・運輸	34
まちづくり	34
病院・介護・福祉	35
お金・ファクシミー ショッピング	36
たべもの	36
公務員	36
企業	36
学校	36
職種(学校名)	37
学校	37
企業	37
学校	37
職種(学校名)	37
学校	38
企業	38
学校	38
職種(学校名)	39
学校	39
企業	39
学校	40
企業	40
学校	40
職種(学校名)	41
学校	42
企業	42
学校	42
企業	43
学校	43
職種(学校名)	44
学校	44
企業	44
学校	45
企業	45
学校	46
企業	47
学校	47
職種(学校名)	47
学校	48
企業	48
学校	49
企業	49
学校	50
職種(学校名)	50
学校	51
企業	51
学校	51
職種(学校名)	52
学校	53
企業	53
学校	54
職種(学校名)	54
学校	54
企業	55
学校	55
職種(学校名)	56
学校	56
企業	57
学校	57
職種(学校名)	58
学校	58
企業	59

出展企業紹介

出展企業紹介 | Keyword 公務員




Keyword

五感で学ぼう！！楽しい食事

テーマ

出版内容 みなさんは食事をする時に“楽しい”を感じていますか？
 善戦の食事についてあまり考えたことがないという人もいると思います。誰もが楽しいと感じる食事って、どのような食事でしょうか？今回、みなさんの五感（視覚・味覚・嗅覚・触覚）をフル活用して、楽しい食事について考えてみましょう！（8月26日（金）出版）



生命 食料 環境 健康 地域創成 “生きる”を支える

テーマ

出版内容 東京農業大学は、125年の中で「生命・食料・健康・地域創成」など人類の生存に関わる幅広い領域を研究対象に国内外の課題解決に取り組んでいます。創立当初からの教育研究理念「実学主義」は継承され今日に至りました。今回は「食」と「香り」について参加者に体験して頂きます。

出展学問・研究紹介

出展企業紹介

ものづくり

機械工学

交通・運輸

情報・福祉・介護

たべもの

公務員

海上保安庁（第七管区海上保安本部）

〒801-8507 福岡県北九州市門司区西海岸 1-3-10
 tel. 093-321-2931
<http://www.kaihomilit.go.jp/07kanku>

DATA

プロフィール

イベント出展内容

海上保安庁では、452隻の船艇と74機の航空機を保有しており、海上の安全・治安の確保に努めています。仕事内容はさまざままで、船艇を運転する航海士や航空機を運用するパイロット、潜水士や在外公館での勤務など、世界の海を舞台に活躍することができます。

のある方は、ぜひお越しください。

ものづくり

機械工学

交通・運輸

情報・福祉・介護

たべもの

公務員

ものづくり

機械工学

交通・運輸

情報・福祉・介護

たべもの

公務員

北九州市消防局

〒803-8509 福岡県北九州市小倉北区大手町1-9
 tel. 093-582-3805
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shoubou/shoubou.html>

DATA

プロフィール

イベント出展内容

消防の制服・防火服の試着ができます。
 災害現場で使用する装備品・道具を準備しているので、実際に手にとって触れてみて下さい。
 実際に手で消防業務のビデオを放映しています。消防士ブースでは消防業務の質問して消防のイメージを掴んで頂きたいと思います。

DATA

イベント出展内容

北九州市役所

〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区城内1番1号
 tel. 093-582-2203
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

DATA

プロフィール

イベント出展内容

北九州市では、基本構想・基本計画である「元気発進！北九州」プランに基づき、「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」の実現に向けて、市民と一緒にとなり、新たなまちづくりを進めています。また「環境」と「アジア」をキーワードとした様の成長戦略に取り組み、経済・雇用対策の成功モデルを発信しています。

東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、
デザイン農学科（仮称）の卒業生に
対する企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

平成28年11月

一般財団法人 日本開発構想研究所

東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、
デザイン農学科（仮称）の卒業生に対する
企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

平成 30 年 4 月に予定している東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）の開設に向けて、東京農業大学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる、45 都道府県（奈良県、長崎県を除く都道府県）の企業等の採用担当者にアンケートを実施し、東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）の卒業生に対する企業等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

東京農業大学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる企業等 3,262 社の採用担当者にアンケートを実施し、627 件の有効回答があった。

(3) 調査方法

東京農業大学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる企業等 3,262 社の採用担当者にアンケート用紙及び東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答については第三者機関へ企業等から直接郵送。

集計結果より、東京農業大学農学部生物資源開発学科（仮称）、デザイン農学科（仮称）の卒業生に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 28 年 9 月～平成 28 年 11 月

(5) 有効回収率等

配布数 : 3,262 社

有効回答数 : 627 件

有効回収率 : 約 19.2%

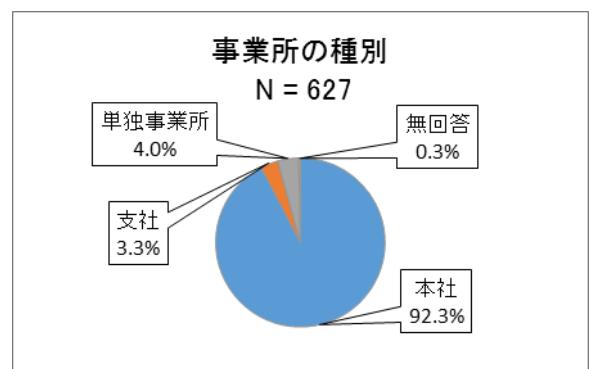
※東京農業大学にて設置を構想している農学部生物資源開発学科、デザイン農学科は仮称であるが、その旨の表示を本文中では省略した。

2. 調査結果

(1) 事業所の種別について

事業所の種別について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「本社」が 579 件（92.3%）と最も多く、次いで「単独事業所」25 件（4.0%）、「支社」21 件（3.3%）、「無回答」2 件（0.3%）の順になっている。

事業所の種別			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	本社	579	92.3
2	支社	21	3.3
3	単独事業所	25	4.0
	無回答	2	0.3
	N (%ベース)	627	100

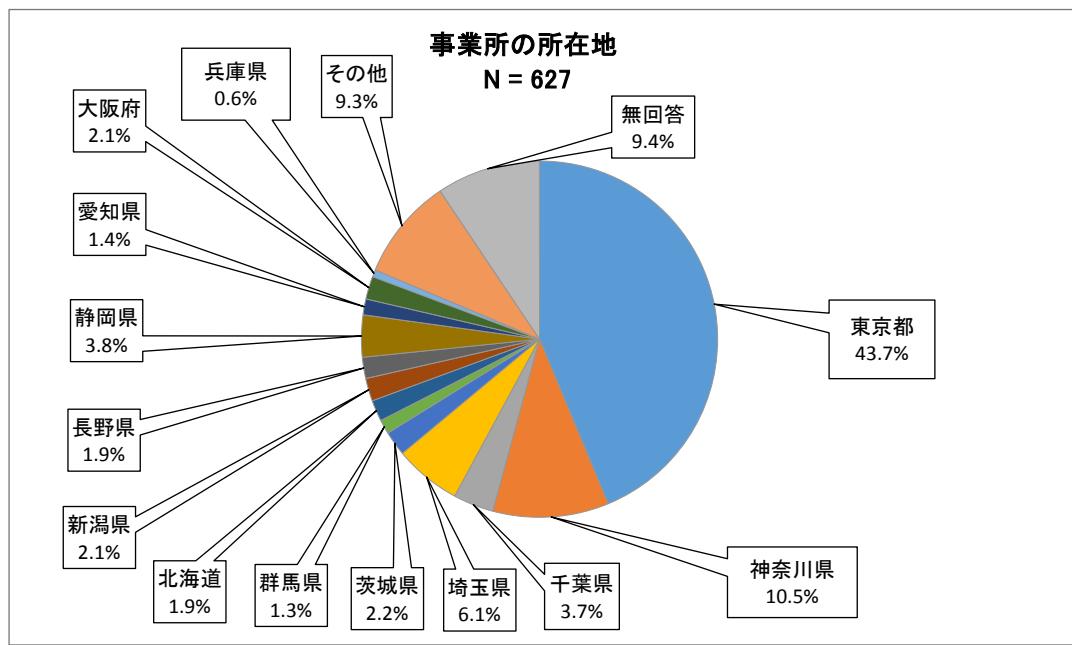


(2) 事業所の所在地について

事業所の所在地について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「東京都」が 274 件 (43.7%) と最も多く、次いで「神奈川県」66 件 (10.5%)、「無回答」59 件 (9.4%)、「その他」58 件 (9.3%)、「埼玉県」38 件 (6.1%)、「静岡県」24 件 (3.8%)、「千葉県」23 件 (3.7%)、「茨城県」14 件 (2.2%)、「新潟県」13 件 (2.1%)、「大阪府」13 件 (2.1%)、「北海道」12 件 (1.9%)、「長野県」12 件 (1.9%)、「愛知県」9 件 (1.4%)、「群馬県」8 件 (1.3%)、「兵庫県」4 件 (0.6%) の順になっている。

事業所の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	東京都	274	43.7
2	神奈川県	66	10.5
3	千葉県	23	3.7
4	埼玉県	38	6.1
5	茨城県	14	2.2
6	群馬県	8	1.3
7	北海道	12	1.9
8	新潟県	13	2.1
9	長野県	12	1.9
10	静岡県	24	3.8
11	愛知県	9	1.4
12	大阪府	13	2.1
13	兵庫県	4	0.6
14	その他	58	9.3
	無回答	59	9.4
	N (%ベース)	627	100

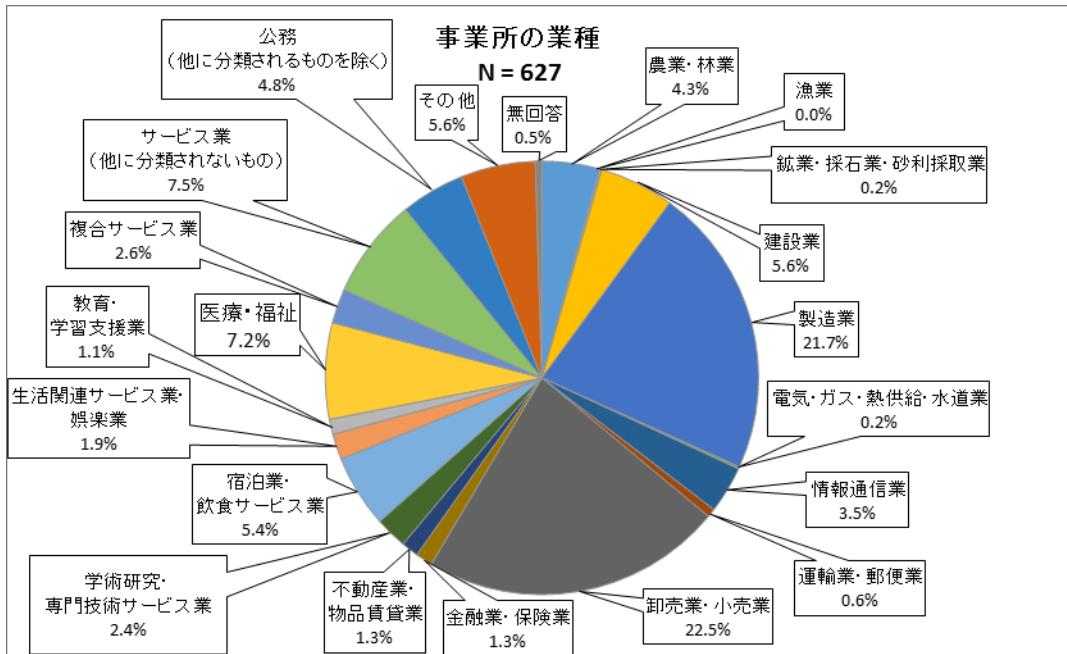


(3) 事業所の業種について

事業所の業種について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、4%以上の割合を占めたものを挙げると、「卸売業・小売業」が 141 件 (22.5%) と最も多く、次いで「製造業」136 件 (21.7%)、「サービス業（他に分類されないもの）」47 件 (7.5%)、「医療・福祉」45 件 (7.2%)、「建設業」35 件 (5.6%)、「その他」35 件 (5.6%)、「宿泊業・飲食サービス業」34 件 (5.4%)、「公務（他に分類されるものを除く）」30 件 (4.8%)、「農業・林業」27 件 (4.3%) の順になっている。

事業所の業種

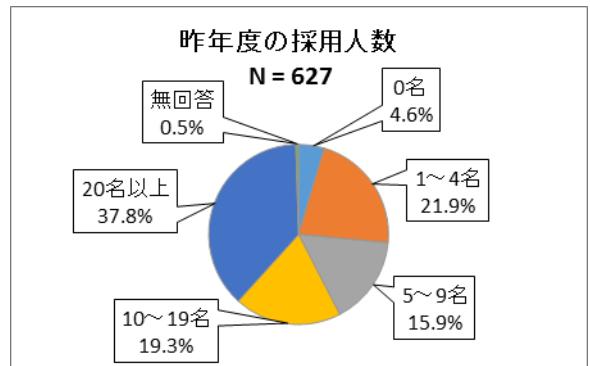
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業・林業	27	4.3
2	漁業	0	0.0
3	鉱業・採石業・砂利採取業	1	0.2
4	建設業	35	5.6
5	製造業	136	21.7
6	電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.2
7	情報通信業	22	3.5
8	運輸業・郵便業	4	0.6
9	卸売業・小売業	141	22.5
10	金融業・保険業	8	1.3
11	不動産業・物品賃貸業	8	1.3
12	学術研究・専門技術サービス業	15	2.4
13	宿泊業・飲食サービス業	34	5.4
14	生活関連サービス業・娯楽業	12	1.9
15	教育・学習支援業	7	1.1
16	医療・福祉	45	7.2
17	複合サービス業	16	2.6
18	サービス業（他に分類されないもの）	47	7.5
19	公務（他に分類されるものを除く）	30	4.8
20	その他	35	5.6
	無回答	3	0.5
	N (%ベース)	627	100



(4) 昨年度の採用人数について

昨年度の採用人数について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「20 名以上」が 237 件 (37.8%) と最も多く、次いで「1~4 名」 137 件 (21.9%)、「10~19 名」 121 件 (19.3%)、「5~9 名」 100 件 (15.9%)、「0 名」 29 件 (4.6%)、「無回答」 3 件 (0.5%) の順になっている。

昨年度の採用人数			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0名	29	4.6
2	1~4名	137	21.9
3	5~9名	100	15.9
4	10~19名	121	19.3
5	20名以上	237	37.8
	無回答	3	0.5
	N (%ベース)	627	100

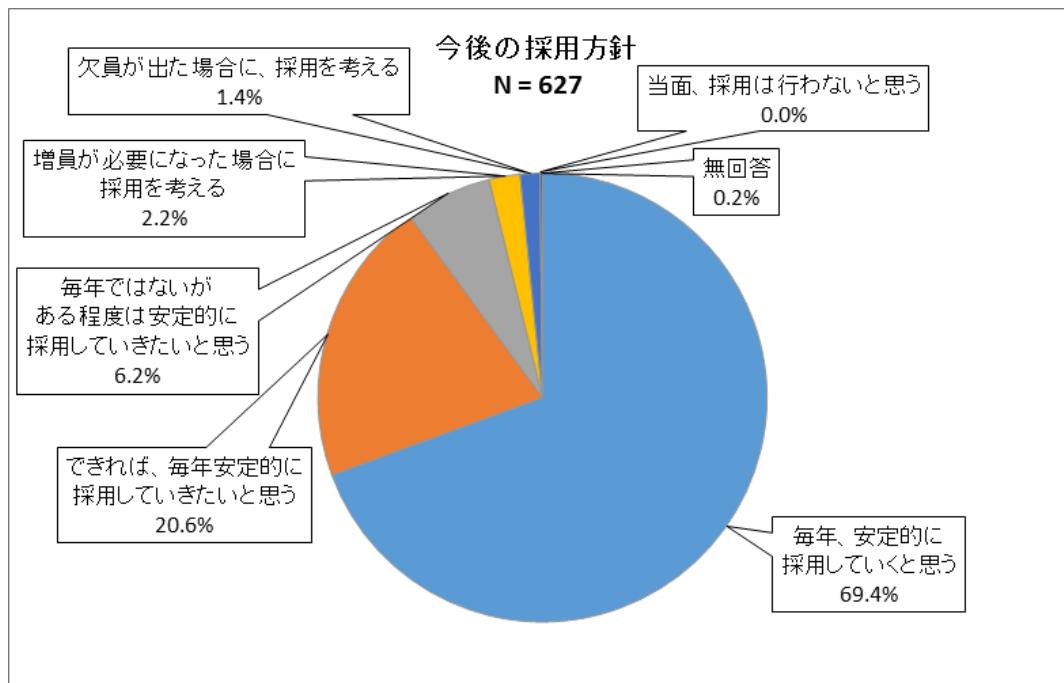


(5) 今後の採用方針について

今後の採用方針について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「毎年、安定的に採用していくと思う」が 435 件 (69.4%) と最も多く、次いで「できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う」 129 件 (20.6%)、「毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う」 39 件 (6.2%)、「増員が必要になった場合に、採用を考える」 14 件 (2.2%)、「欠員が出た場合に、採用を考える」 9 件 (1.4%)、「無回答」 1 件 (0.2%) の順になっている。

今後の採用方針

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	435	69.4
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	129	20.6
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	39	6.2
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	14	2.2
5	欠員が出た場合に、採用を考える	9	1.4
6	当面、採用は行わないと思う	0	0.0
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	627	100

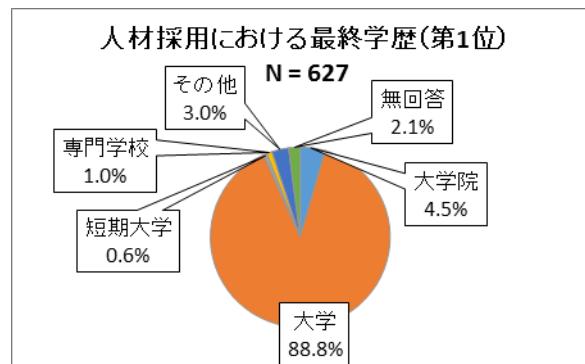


(6) 人材採用における最終学歴について

6-1 人材採用における最終学歴（第1位）について

人材採用における最終学歴（第1位）について調査したところ、回答のあった企業等627件のうち、「大学」が557件（88.8%）と最も多く、次いで「大学院」28件（4.5%）、「その他」19件（3.0%）、「無回答」13件（2.1%）、「専門学校」6件（1.0%）、「短期大学」4件（0.6%）の順になっている。

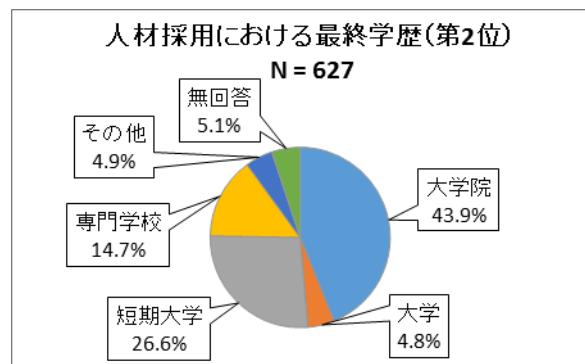
人材採用における最終学歴(第1位)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	28	4.5
2	大学	557	88.8
3	短期大学	4	0.6
4	専門学校	6	1.0
5	その他	19	3.0
	無回答	13	2.1
	N (%ベース)	627	100



6-2 人材採用における最終学歴（第2位）について

人材採用における最終学歴（第2位）について調査したところ、回答のあった企業等627件のうち、「大学院」が275件（43.9%）と最も多く、次いで「短期大学」167件（26.6%）、「専門学校」92件（14.7%）、「無回答」32件（5.1%）、「その他」31件（4.9%）、「大学」30件（4.8%）の順になっている。

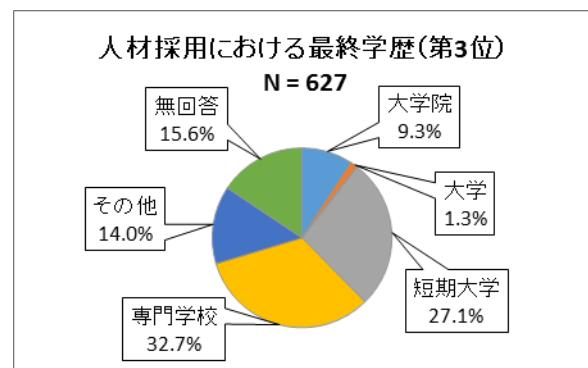
人材採用における最終学歴(第2位)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	275	43.9
2	大学	30	4.8
3	短期大学	167	26.6
4	専門学校	92	14.7
5	その他	31	4.9
	無回答	32	5.1
	N (%ベース)	627	100



6-3 人材採用における最終学歴（第3位）について

人材採用における最終学歴（第3位）について調査したところ、回答のあった企業等627件のうち、「専門学校」が205件（32.7%）と最も多く、次いで「短期大学」170件（27.1%）、「無回答」98件（15.6%）、「その他」88件（14.0%）、「大学院」58件（9.3%）、「大学」8件（1.3%）の順になっている。

人材採用における最終学歴(第3位)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	58	9.3
2	大学	8	1.3
3	短期大学	170	27.1
4	専門学校	205	32.7
5	その他	88	14.0
	無回答	98	15.6
	N (%ベース)	627	100



(7) 新設学科の社会的必要性について

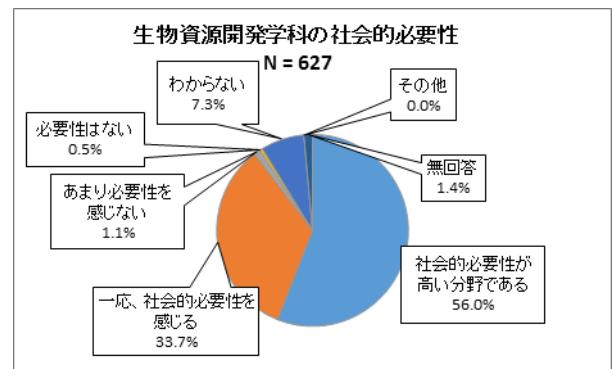
7-1 農学部生物資源開発学科の社会的必要性について

東京農業大学農学部生物資源開発学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 351 件（56.0%）と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」211 件（33.7%）、「わからない」46 件（7.3%）、「無回答」9 件（1.4%）、「あまり必要性を感じない」7 件（1.1%）、「必要性はない」3 件（0.5%）の順になっている。

なお、東京農業大学農学部生物資源開発学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、562 件（89.7%）となっている。

生物資源開発学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	351	56.0
2	一応、社会的必要性を感じる	211	33.7
3	あまり必要性を感じない	7	1.1
4	必要性はない	3	0.5
5	わからない	46	7.3
6	その他	0	0.0
	無回答	9	1.4
	N (%ベース)	627	100



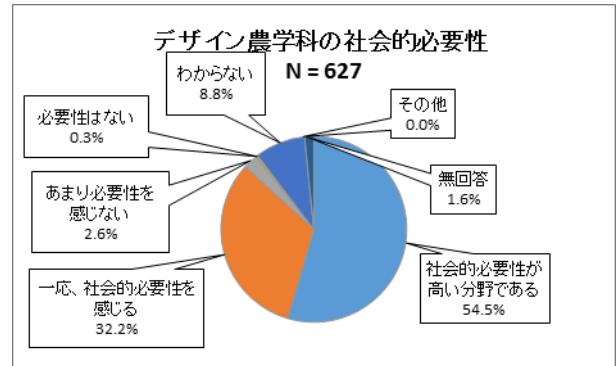
7-2 農学部デザイン農学科の社会的必要性について

東京農業大学農学部デザイン農学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 342 件（54.5%）と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」202 件（32.2%）、「わからない」55 件（8.8%）、「あまり必要性を感じない」16 件（2.6%）、「無回答」10 件（1.6%）、「必要性はない」2 件（0.3%）の順になっている。

なお、東京農業大学農学部デザイン農学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、544 件（86.7%）となっている。

デザイン農学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	342	54.5
2	一応、社会的必要性を感じる	202	32.2
3	あまり必要性を感じない	16	2.6
4	必要性はない	2	0.3
5	わからない	55	8.8
6	その他	0	0.0
	無回答	10	1.6
	N (%ベース)	627	100



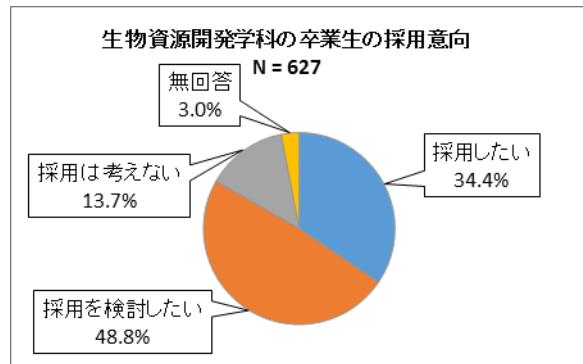
(8) 新設学科の卒業生の採用意向について

8-1 農学部生物資源開発学科の卒業生の採用意向について

東京農業大学農学部生物資源開発学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「採用を検討したい」が 306 件 (48.8%) と最も多く、次いで「採用したい」 216 件 (34.4%)、「採用は考えない」 86 件 (13.7%)、「無回答」 19 件 (3.0%) の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、522 件 (83.2%) となっている。

生物資源開発学科の卒業生の採用意向			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	216	34.4
2	採用を検討したい	306	48.8
3	採用は考えない	86	13.7
	無回答	19	3.0
	N (%ベース)	627	100

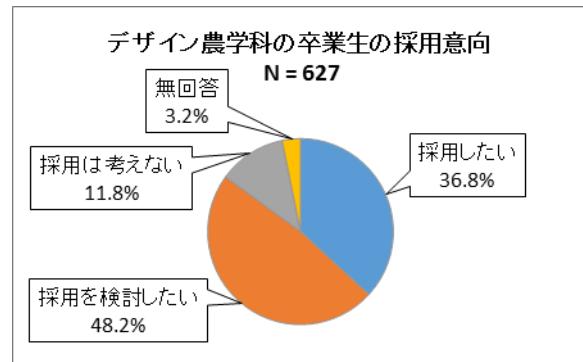


8-2 農学部デザイン農学科の卒業生の採用意向について

東京農業大学農学部デザイン農学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 627 件のうち、「採用を検討したい」が 302 件 (48.2%) と最も多く、次いで「採用したい」 231 件 (36.8%)、「採用は考えない」 74 件 (11.8%)、「無回答」 20 件 (3.2%) の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、533 件 (85.0%) となっている。

デザイン農学科の卒業生の採用意向			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	231	36.8
2	採用を検討したい	302	48.2
3	採用は考えない	74	11.8
	無回答	20	3.2
	N (%ベース)	627	100

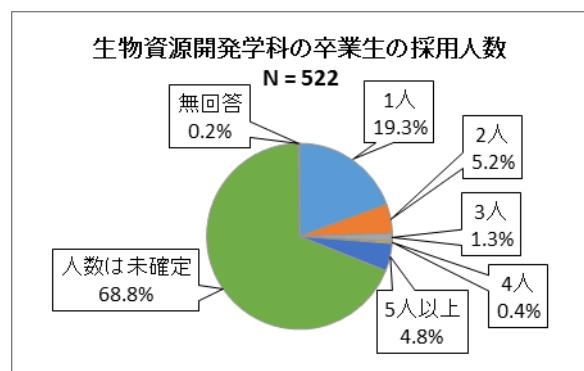


(9) 新設学科の卒業生の採用人数について

9-1 農学部生物資源開発学科の卒業生の採用人数について

「(8) 8-1 農学部生物資源開発学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 522 件に対して、東京農業大学農学部生物資源開発学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 359 件 (68.8%) と最も多く、次いで「1 人」101 件 (19.3%)、「2 人」27 件 (5.2%)、「5 人以上」25 件 (4.8%)、「3 人」7 件 (1.3%)、「4 人」2 件 (0.4%)、「無回答」1 件 (0.2%) の順になっている。

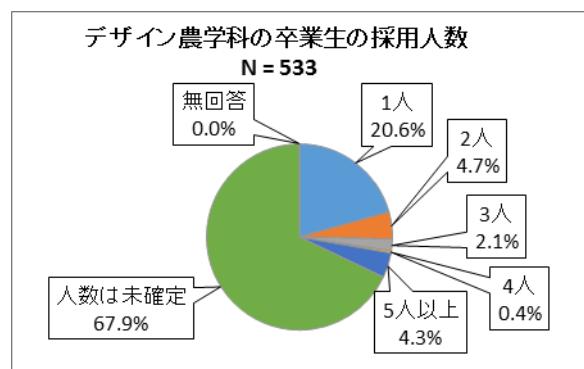
生物資源開発学科の卒業生の採用人数			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	101	19.3
2	2人	27	5.2
3	3人	7	1.3
4	4人	2	0.4
5	5人以上	25	4.8
6	人数は未確定	359	68.8
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	522	100



9-2 農学部デザイン農学科の卒業生の採用人数について

「(8) 8-2 農学部デザイン農学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 533 件に対して、東京農業大学農学部デザイン農学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 362 件 (67.9%) と最も多く、次いで「1 人」110 件 (20.6%)、「2 人」25 件 (4.7%)、「5 人以上」23 件 (4.3%)、「3 人」11 件 (2.1%)、「4 人」2 件 (0.4%) の順になっている。

デザイン農学科の卒業生の採用人数			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	110	20.6
2	2人	25	4.7
3	3人	11	2.1
4	4人	2	0.4
5	5人以上	23	4.3
6	人数は未確定	362	67.9
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	533	100



3. 調査結果のまとめ

東京農業大学 農学部生物資源開発学科、デザイン農学科の卒業生に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(8) 新設学科の卒業生の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(9) 新設学科の卒業生の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定（※）」）を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「(8) 新設学科の卒業生の採用意向について」にて、「採用したい」「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

農学部生物資源開発学科

下記の表より、東京農業大学農学部生物資源開発学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、345 人分となる。入学定員は 125 人であるため、2.76 倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は 668 人となり、これは、入学定員 125 人に対して、約 5.34 倍となる。

農学部生物資源開発学科

回答数(件) 人数(人)	「採用したい」 のみ	合計
1人(A)	38 (a)	(A) × (a) 38
2人(B)	23 (b)	(B) × (b) 46
3人(C)	4 (c)	(C) × (c) 12
4人(D)	2 (d)	(D) × (d) 8
5人以上(E)	23 (e)	(E) × (e) 115
人数は未確定(F)	126 (f)	(F) × (f) 126
無回答	-	

合計採用意向 345 人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

回答数(件) 人数(人)	「採用したい」 「採用を検討した い」の合計	合計
1人(A)	101 (a)	(A) × (a) 101
2人(B)	27 (b)	(B) × (b) 54
3人(C)	7 (c)	(C) × (c) 21
4人(D)	2 (d)	(D) × (d) 8
5人以上(E)	25 (e)	(E) × (e) 125
人数は未確定(F)	359 (f)	(F) × (f) 359
無回答	1	

合計採用意向 668 人

農学部デザイン農学科

下記の表より、東京農業大学農学部デザイン農学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、357 人分となる。入学定員は 123 人であるため、約 2.90 倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は 678 人となり、これは、入学定員 123 人に対して、約 5.51 倍となる。

農学部デザイン農学科

回答数(件) 人数(人)	「採用したい」 のみ	合計
1人(A)	42 (a)	(A) × (a) 42
2人(B)	18 (b)	(B) × (b) 36
3人(C)	7 (c)	(C) × (c) 21
4人(D)	2 (d)	(D) × (d) 8
5人以上(E)	22 (e)	(E) × (e) 110
人数は未確定(F)	140 (f)	(F) × (f) 140
無回答	-	

合計採用意向 357 人

回答数(件) 人数(人)	「採用したい」 「採用を検討した い」の合計	合計
1人(A)	110 (a)	(A) × (a) 110
2人(B)	25 (b)	(B) × (b) 50
3人(C)	11 (c)	(C) × (c) 33
4人(D)	2 (d)	(D) × (d) 8
5人以上(E)	23 (e)	(E) × (e) 115
人数は未確定(F)	362 (f)	(F) × (f) 362
無回答	-	

合計採用意向 678 人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、東京農業大学農学部生物資源開発学科、デザイン農学科の卒業生の進路は十分に確保できるものと考える。

調查票等

東京農業大学 農学部生物資源開発学科(仮称)、農学部デザイン農学科(仮称)
設置に係るアンケート調査

- このアンケート調査は2018年4月に設置を予定している新学科の設置構想の基礎資料とするため、貴社の採用状況・意向についてお聞きするものです。
- このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- 回答は、該当する番号を回答欄へ直接記入してください。
- 政府関係諸機関、経済団体、労働団体、学術文化団体等も「貴社」と表記させていただいております。

★調査回答締め切りのお願い

2016年10月14日(金)までに、同封の返信用封筒にてご投函いただきますようお願いいたします。

【 貴社についてお聞きします 】

【回答欄】

- Q1. 本社・支社・事業所等についてお聞きします。
次の中から該当する番号を1つお選びください。
1. 本社 2. 支社 3. 単独事業所

- Q2. 所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。
※Q1の【企業】で「1. 本社」以外を選択された場合は、その所在地をお答えください。

1. 東京都 2. 神奈川県 3. 千葉県 4. 埼玉県
5. 茨城県 6. 群馬県 7. 北海道 8. 新潟県
9. 長野県 10. 静岡県 11. 愛知県 12. 大阪府
13. 兵庫県 14. その他 ()

- Q3. 業種についてお聞きします。次の中から最も当てはまる番号を1つお選びください。

1. 農業・林業 2. 漁業
3. 鉱業・採石業・砂利採取業 4. 建設業
5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業 8. 運輸業・郵便業
9. 卸売業・小売業 10. 金融業・保険業
11. 不動産業・物品販貸業 12. 学術研究・専門技術サービス業
13. 宿泊業・飲食サービス業 14. 生活関連サービス業・娯楽業
15. 教育・学習支援業 16. 医療・福祉
17. 複合サービス業 18. サービス業(他に分類されないもの)
19. 公務(他に分類されるものを除く) 20. その他(具体的に)

- Q4. 昨年度に採用された人数について、該当する番号を1つお選びください。

(支社または単独事業所でお答えいただいている場合は、そちらでの採用数をお願いします)

1. 0名 2. 1~4名 3. 5~9名 4. 10~19名 5. 20名以上

- Q5. 今後の人材採用について、どのようにお考えですか。お考えに近い番号を1つお選びください。

1. 毎年、安定的に採用していくと思う
2. できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う
3. 每年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う
4. 増員が必要になった場合に、採用を考える
5. 欠員が出た場合に、採用を考える
6. 当面、採用は行わないと思う

- Q6. 今後、人材の採用にあたり、どのような出身学歴(最終学歴)の方の採用をお考えですか。

「採用対象となる」と思われる番号を第3位までお選びください。

1. 大学院
2. 大学
3. 短期大学
4. 専門学校
5. その他()

a: 第1位

b: 第2位

c: 第3位

— 裏面へお進みください → —

【 ここからは、同封の「農学部生物資源開発学科(仮称)、
農学部デザイン農学科(仮称)の概要」をご覧になりながらお答えください 】

Q7. 東京農業大学が構想している新学科の社会的必要性についてどのようにお考えになりますか。
学科ごとに次のなかから該当する番号を1つお選びください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 社会的必要性が高い分野である | 2. 一応、社会的必要性を感じる |
| 3. あまり必要性を感じない | 4. 必要性はない |
| 5. わからない | 6. その他（具体的に） |

a : 農学部生物資源開発学科(仮称) →

b : 農学部デザイン農学科(仮称) →

Q8. 東京農業大学が構想している新学科卒業生の採用意向についておたずねします。
学科ごとに次のなかから該当する番号を1つお選びください。

- | | | |
|-------------|-------|---------------------------|
| 1. 採用したい | ----- | 1つでも1、2を選ばれた方はQ9へお進みください。 |
| 2. 採用を検討したい | ----- | 全て3を選ばれた方はQ10へお進みください。 |
| 3. 採用は考えない | ----- | |

a : 農学部生物資源開発学科(仮称) →

b : 農学部デザイン農学科(仮称) →

Q9. 東京農業大学が構想している新学科の卒業生を何人程度採用したいと考えますか。Q8にて「採用したい」「採用を検討したい」を選択した学科について、次のなかから該当する番号を1つお選びください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上 6. 人数は未確定

a : 農学部生物資源開発学科(仮称) →

b : 農学部デザイン農学科(仮称) →

Q10. 東京農業大学が構想している新学科の設置構想にあたり、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等について、ご意見等ございましたら、あわせてご記入ください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

農のこころで社会をデザインする

東京農大 農学部

2018年4月
2学科開設予定

生物資源開発学科 (仮称)

デザイン農学科 (仮称)

東京農業大学

※学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

2018年4月

農学部は4学科体制に。

農学は生物の持つ多様な機能を巧みに利用し、高品質の食料を安定生産するとともに生活の質(QOL: Quality of Life)を向上させ、また、生態系保全と修復にも大きな役割を果たす実践的な価値を追求する学問です。現在、農学に対する社会的ニーズはこれまで以上に高まるとともに多様化してきています。

農学は生命(いのち)に触れ、生き物を育てる生産科学の学問であるばかりでなく、**そこで得られる知識や知恵を利用して、地域レベルから地球規模の環境保全、生活の質の向上やライフスタイルの形成**にまで関わることが、大きく期待されています。このような時代のニーズに対応し農学部は、農学科、動物科学科(仮称)、生物資源開発学科(仮称)、デザイン農学科(仮称)の4学科体制になります。農学の広がりに対応した学科構成・カリキュラムを整え、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

農学部の研究のキーワード 農学2.0

食料生産に特化する形ではじまった農学を「農学1.0」とすれば、現在の農学が網羅する分野は大きく広がり、「農学2.0」として展開を始めています。「農学1.0」の中心課題、食料生産技術関連の研究を完全にふまえた上で、たとえば生物機能開発、農業の多面的機能、生物多様性の確保、食農デザインなど、さまざまな新しい重要な課題に取り組んでいきます。ここでは、**サステナビリティ***、**レジリアンス***、**well-being***がキーワードになっていきます。

農学部の教育のキーワード 農学リテラシー

農学を学ぶうえで、ベースとなる基礎力向上と学びを深めるのに必要な関連分野を見渡す力、さまざまな知識の組合せや連携させる力を養うのが農学リテラシーです。農学リテラシーは、**アカデミックリテラシー・アカデミックスキルズ・農学全体を見わたす講義（農学俯瞰講義）**で構成し、農学部に学ぶすべての学生が、農学部に社会が期待する知識・技術を修得します。

農学部の人間力養成のキーワード 研究室

伝統的に東京農大の学びの中心は研究室です。新しい農学部でも確実に受け継がれます。

ここで培われるのは……

実験計画を立てる
企画力

じっくりと研究を続ける
持続力

研究結果をまとめる
分析力

研究結果を発表する
プレゼン力

論文をまとめる
文章力

仲間と協同で研究を進めるチームワークと
コミュニケーション力

つまり、研究室で**社会を生き抜く力、知的基礎力を身につけることができる**のです。

* サステナビリティ：持続可能性 レジリアンス：復元力 well-being：身体的・精神的・社会的に良好な状態

生物資源開発学科

(仮称)

Department of Bioresource Development (仮称)

生物多様性をキーワードに 持続的社會に貢献する

野生動物調査



植物多様性学
研究室

昆虫学
研究室

野生動物学
研究室

薬用資源学
研究室

遺伝資源利用学
研究室

生物多様性を保全することは、自然環境の維持や生態系サービスの享受につながり、持続可能な社会構築にもつながります。農業においても、生物多様性への配慮が欠如した農地は、自然環境に著しい負荷をかけていることは明らかです。生物多様性の維持・管理は、人間生活の基盤であり、多面的な生物資源の持続的利用と共に、これから農学に求められている大きなテーマです。

生物資源開発学科は、農業生態系から自然生態系にいたる動植物の多様性の解明と保全を基軸に、新たな生物資源の探索と生物の多様な機能の活用方法を追究していきます。これから社会が求める持続可能な農業・環境・社会づくりに貢献しようという人に相応しい学科です。



昆虫調査（フォギング）

予想される進路

大学院、公務員、教員、環境コンサルタント、環境アセスメント、学芸員、自然保護官、農業生産法人、動物園、植物園、博物館、農業および農業関連産業、製薬会社、旅行会社（自然ツアー関連）、出版マスコミ 等

取得資格（予定）

中学校教諭一種免許状（理科）
高等学校教諭一種免許状（理科・農業）
学芸員、図書館司書
環境再生医初級、自然再生士補

予想される研究テーマ例

- 農業生態系と自然生態系における生物相の解明・保全と生物利活用
- 生物多様性管理技術の開発
- 生葉の国産化を目指した栽培体系化と新たな植物資源探索
- 新品種作出を目的とした有用遺伝資源開発
- ゲノム情報活用と新育種技術による次世代型の品種改良
- 農業に有用な昆虫資源・潜在害虫の探索
- 絶滅危惧種の生息域内ならびに生息域外保全
- 野生動物の生態・行動
- 野生動植物との共存を目指した生態系サービスの持続的活用

デザイン農学科

(仮称)

Department of Agricultural Innovation for Sustainable Society (仮称)

食と農の多面的機能の開発を通じ 持続可能な社会・地域・生活をデザインする

生物機能開発学
研究室

食資源利用学
研究室

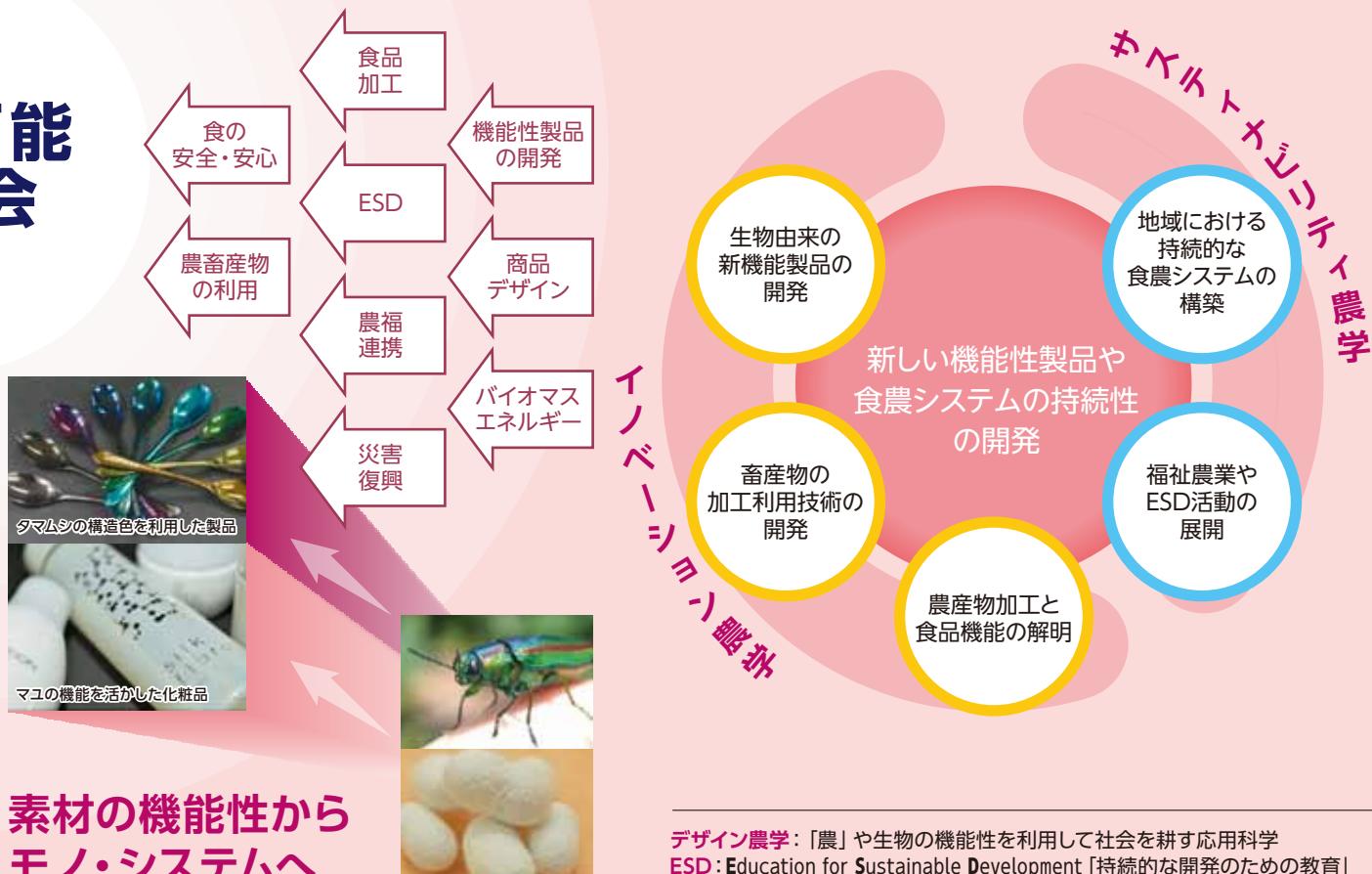
食機能科学
研究室

生活デザイン農学
研究室

社会デザイン農学
研究室

「農」には多面的な機能があります。高品質の食料の安定供給はもちろんのこと、繊維製品、化粧品、健康食品などの「機能性ものづくり」や、都市計画、環境・食農教育、医療福祉などとの「連携・システムづくり」の期待も高まっています。このような多面的機能の開発を通して持続的で豊かな社会を構築し、人類の幸福(well-being)を実現することが農学の最終目標です。

デザイン農学科は、生物や生産物の機能性を解明し、効果的に利活用したり、さまざまな生物や加工および品質評価から、それを利用する消費者の心身の健康までをカバーし、単に生存することに留まらず、食と農との持続的なシステムに基づいた社会、地域、生活をデザインする学科です。新たなライフスタイルを提案し実現したいという意欲あふれる人に相応しい学科です。



デザイン農学：「農」や生物の機能性を利用して社会を耕す応用科学

ESD : Education for Sustainable Development 「持続的な開発のための教育」

予想される進路

大学院、食品関連会社、化粧品関連会社、健康素材関連会社、バイオベンチャー、バイオミミクリー関連会社、農畜産物卸売業、教員、農業協同組合、生活協同組合、社会福祉事業、公務員、コンサルタント、シンクタンク等

■ 取得資格（予定）

高等学教諭一種免許状（農業）
学芸員
図書館司書

予想される研究テーマ例

- 生物機能の解明とそれを利用した機能性製品の開発
- 農畜産物の加工利用技術の開発
- 生物構造を模倣した（バイオミミクリー）製品の開発
- 食品の安全性の評価
- 農業教育と ESD の展開
- 農業による社会的弱者の支援
- バイオ燃料の環境影響評価
- 災害復興支援システムの構築
- 持続的社会の構築のための政策提案

厚木キャンパス

東京農業大学農学部のある厚木キャンパスは、神奈川県中西部の厚木市的小高い丘の上にあり、キャンパス全域が植物園として登録されています。約500種の自生植物が生育し、四季折々の植物を楽しむことができます。雑木林もあり、アナグマやタヌキなどの野生動物も生息しています。この様な環境の中、“well-being”を実現する農学”を追究しています。



伊勢原農場

厚木キャンパスから車で約20分の伊勢原市にあり、果樹・野菜・花などの学生実習や研究に活用されています。



富士農場

静岡県富士宮市にあり、総面積33haのうち牧草地が12ha。乳牛・肉牛・豚・家禽などを飼育しており、動物系の学生実習のほか、植生調査・野生動物の調査などに活用されています。



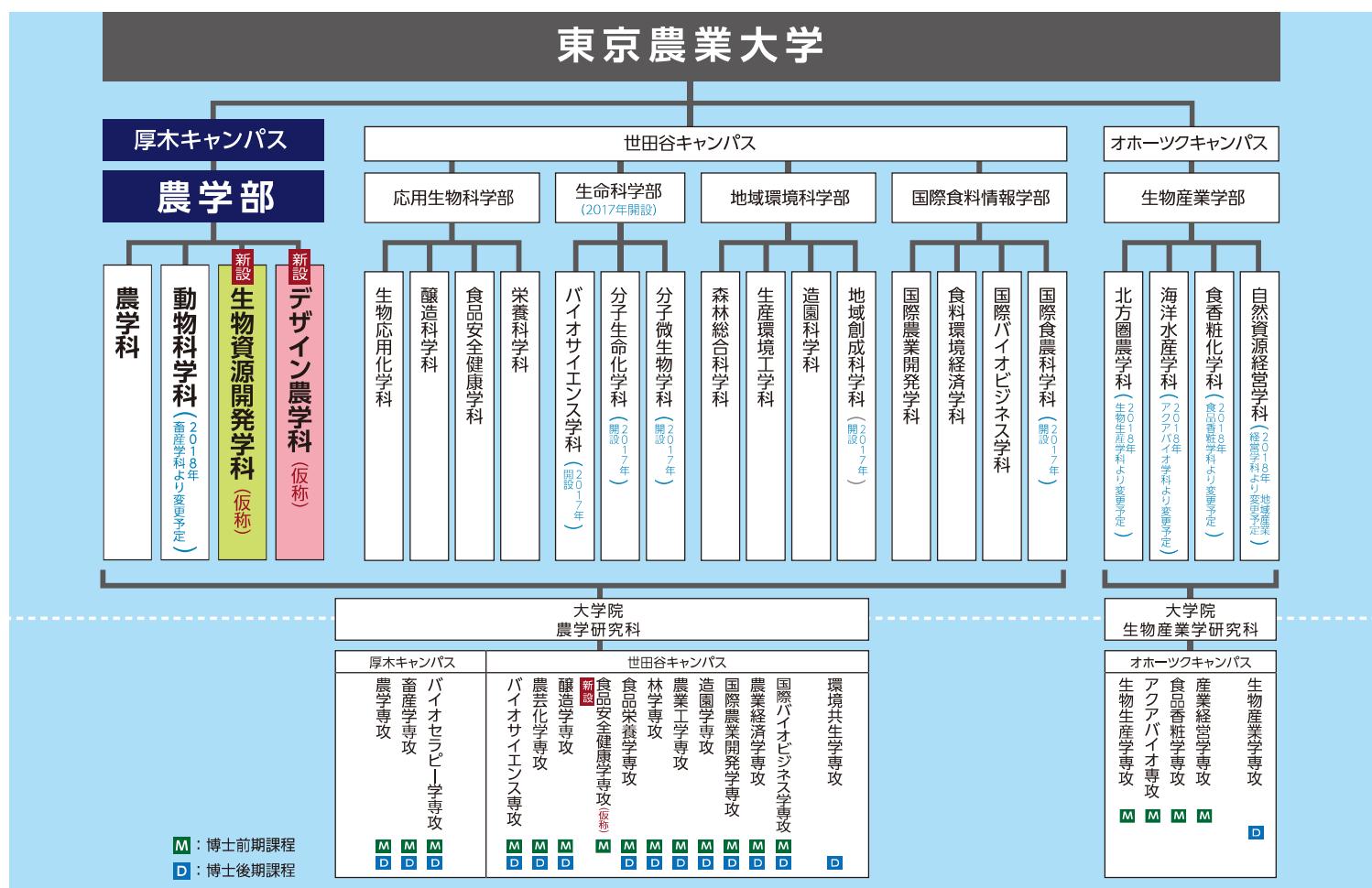
厚木キャンパスまでの交通機関／所要時間



農のこころで、社会をデザインする 新しい農学部

(2018年4月からの新体制)

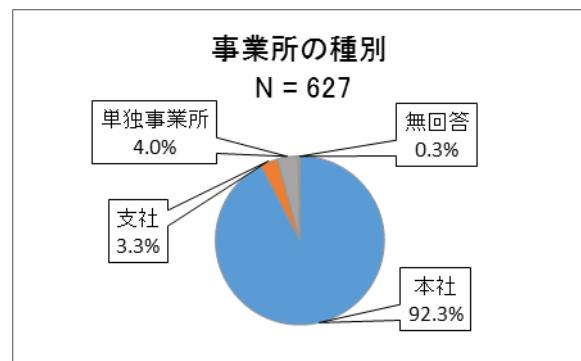
東京農大125年の歴史は、農学部の歴史。
新しい農学部は、広範な動植物分野を研究・教育対象に持続可能な社会の実現に貢献することがミッションです。



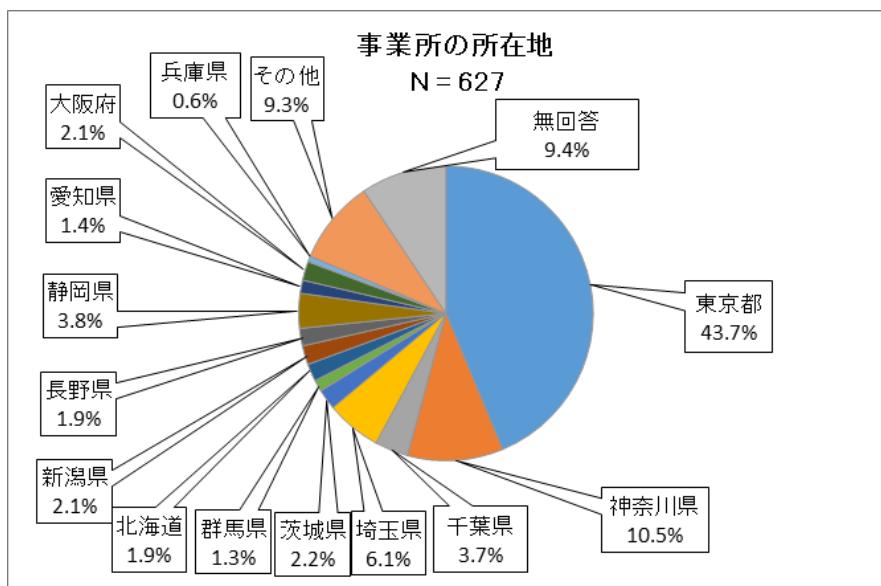
※ 学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

单纯集計表

事業所の種別			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	本社	579	92.3
2	支社	21	3.3
3	単独事業所	25	4.0
	無回答	2	0.3
	N (%ベース)	627	100

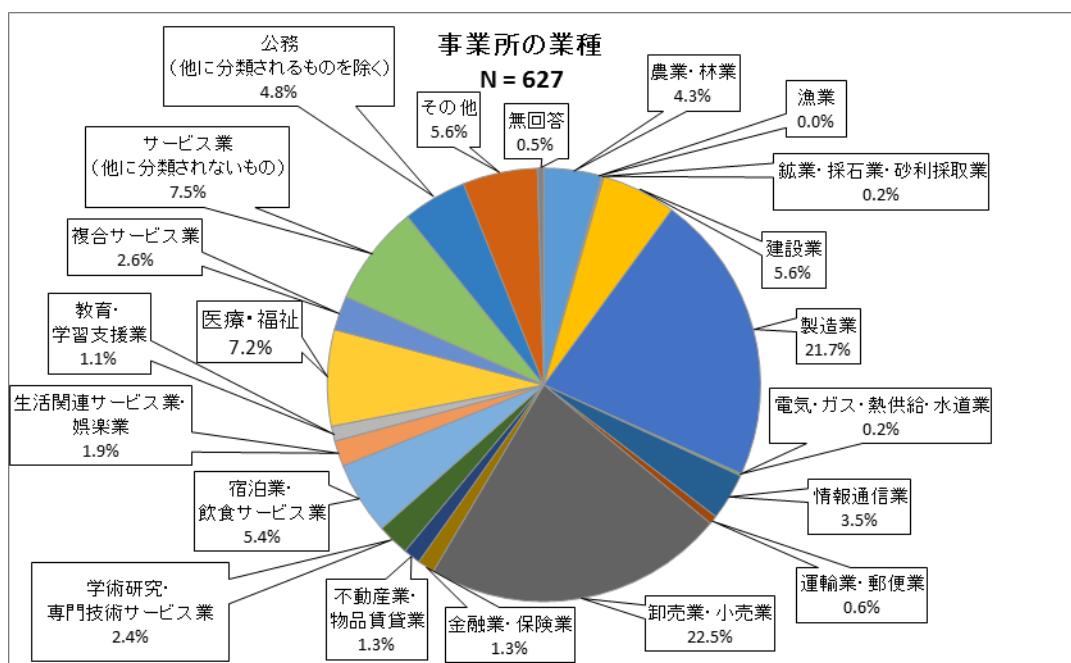


事業所の所在地			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	東京都	274	43.7
2	神奈川県	66	10.5
3	千葉県	23	3.7
4	埼玉県	38	6.1
5	茨城県	14	2.2
6	群馬県	8	1.3
7	北海道	12	1.9
8	新潟県	13	2.1
9	長野県	12	1.9
10	静岡県	24	3.8
11	愛知県	9	1.4
12	大阪府	13	2.1
13	兵庫県	4	0.6
14	その他	58	9.3
	無回答	59	9.4
	N (%ベース)	627	100



事業所の業種

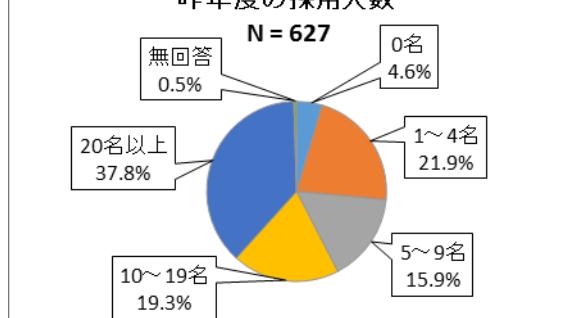
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業・林業	27	4.3
2	漁業	0	0.0
3	鉱業・採石業・砂利採取業	1	0.2
4	建設業	35	5.6
5	製造業	136	21.7
6	電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.2
7	情報通信業	22	3.5
8	運輸業・郵便業	4	0.6
9	卸売業・小売業	141	22.5
10	金融業・保険業	8	1.3
11	不動産業・物品販貸業	8	1.3
12	学術研究・専門技術サービス業	15	2.4
13	宿泊業・飲食サービス業	34	5.4
14	生活関連サービス業・娯楽業	12	1.9
15	教育・学習支援業	7	1.1
16	医療・福祉	45	7.2
17	複合サービス業	16	2.6
18	サービス業(他に分類されないもの)	47	7.5
19	公務(他に分類されるものを除く)	30	4.8
20	その他	35	5.6
	無回答	3	0.5
	N (%ベース)	627	100



昨年度の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0名	29	4.6
2	1~4名	137	21.9
3	5~9名	100	15.9
4	10~19名	121	19.3
5	20名以上	237	37.8
	無回答	3	0.5
	N (%ベース)	627	100

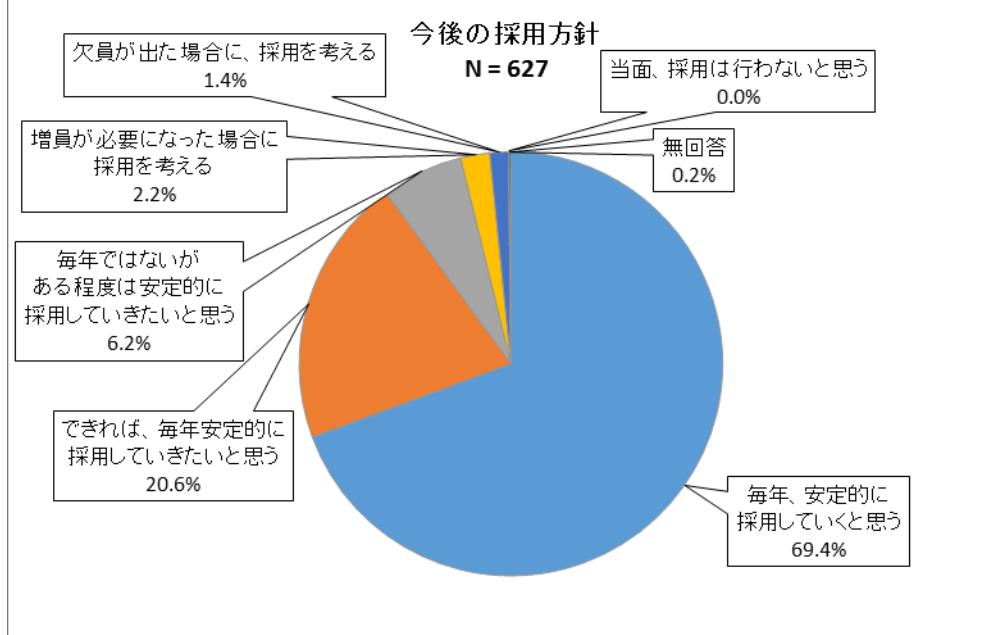
昨年度の採用人数



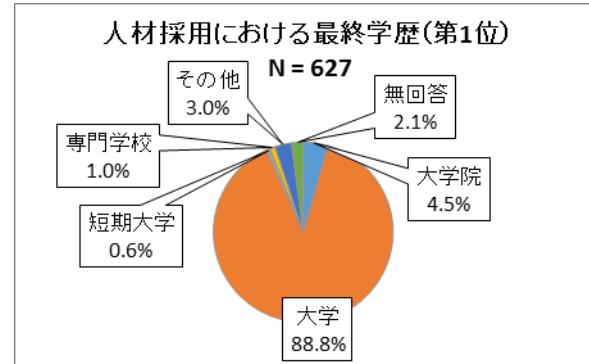
今後の採用方針

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	435	69.4
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	129	20.6
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	39	6.2
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	14	2.2
5	欠員が出た場合に、採用を考える	9	1.4
6	当面、採用は行わないと思う	0	0.0
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	627	100

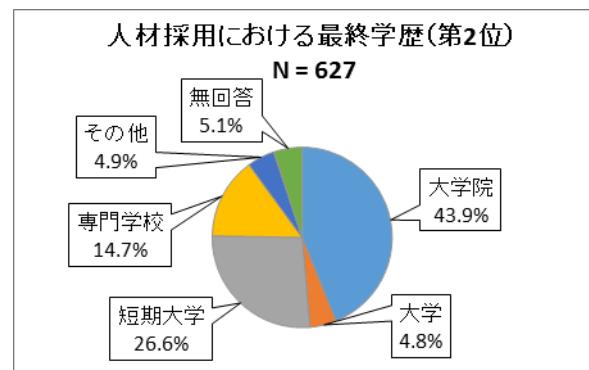
今後の採用方針



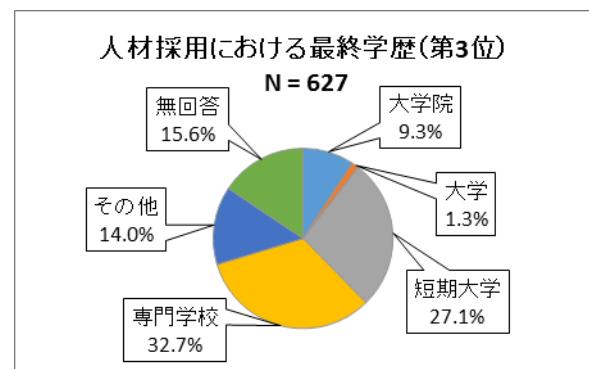
人材採用における最終学歴(第1位)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	28	4.5
2	大学	557	88.8
3	短期大学	4	0.6
4	専門学校	6	1.0
5	その他	19	3.0
	無回答	13	2.1
	N (%ベース)	627	100



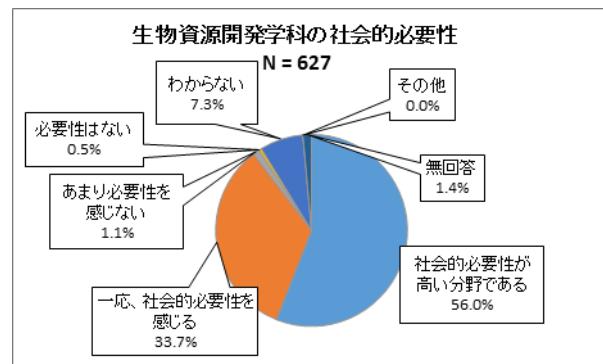
人材採用における最終学歴(第2位)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	275	43.9
2	大学	30	4.8
3	短期大学	167	26.6
4	専門学校	92	14.7
5	その他	31	4.9
	無回答	32	5.1
	N (%ベース)	627	100



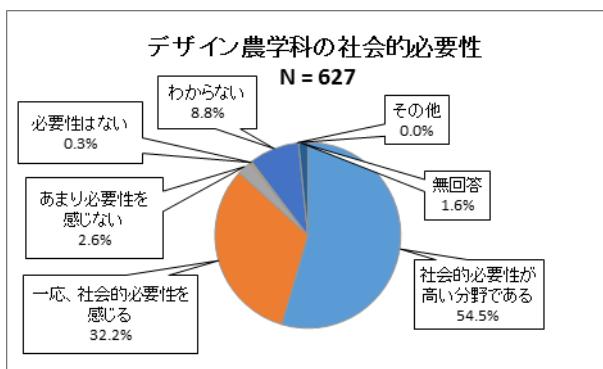
人材採用における最終学歴(第3位)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	58	9.3
2	大学	8	1.3
3	短期大学	170	27.1
4	専門学校	205	32.7
5	その他	88	14.0
	無回答	98	15.6
	N (%ベース)	627	100



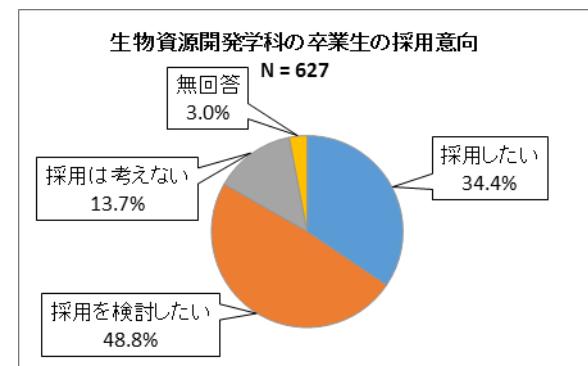
生物資源開発学科の社会的必要性			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	351	56.0
2	一応、社会的必要性を感じる	211	33.7
3	あまり必要性を感じない	7	1.1
4	必要性はない	3	0.5
5	わからない	46	7.3
6	その他	0	0.0
	無回答	9	1.4
N (%ベース)		627	100



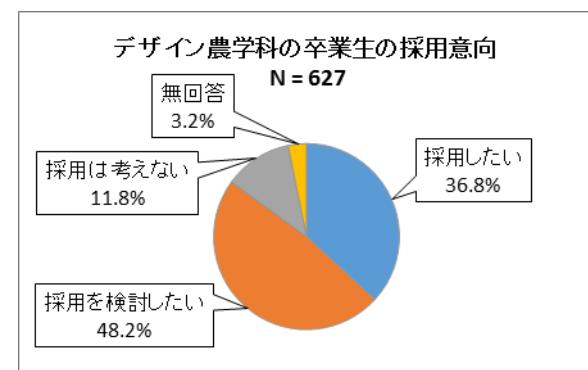
デザイン農学科の社会的必要性			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	342	54.5
2	一応、社会的必要性を感じる	202	32.2
3	あまり必要性を感じない	16	2.6
4	必要性はない	2	0.3
5	わからない	55	8.8
6	その他	0	0.0
	無回答	10	1.6
N (%ベース)		627	100



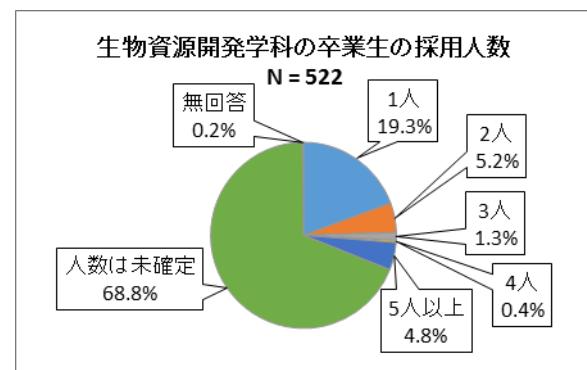
生物資源開発学科の卒業生の採用意向			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	216	34.4
2	採用を検討したい	306	48.8
3	採用は考えない	86	13.7
	無回答	19	3.0
	N (%ベース)	627	100



デザイン農学科の卒業生の採用意向			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	231	36.8
2	採用を検討したい	302	48.2
3	採用は考えない	74	11.8
	無回答	20	3.2
	N (%ベース)	627	100



生物資源開発学科の卒業生の採用人数			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	101	19.3
2	2人	27	5.2
3	3人	7	1.3
4	4人	2	0.4
5	5人以上	25	4.8
6	人数は未確定	359	68.8
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	522	100



デザイン農学科の卒業生の採用人数			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	110	20.6
2	2人	25	4.7
3	3人	11	2.1
4	4人	2	0.4
5	5人以上	23	4.3
6	人数は未確定	362	67.9
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	533	100

